津市愛宕会館外部階段設置その他工事

			図面リスト		
	建築	と工事			電気設備工事
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A- 01	特記仕様書-1	A- 16	外部階段2·7ルミ手摺詳細図-1 外部階段2平面図·断面図·詳細図	E- 01	電気設備工事特記仕様書-1
A- 02	特記仕様書-2	A- 17	外部階段2・7ルミ手摺詳細図-2 外部階段2片開き扉詳細図	E- 02	電気設備工事特記仕様書-2
A- 03	特記仕様書-3	A- 18	外部階段2·アルミ手摺詳細図-3 2Fベランダ平面図・アルミ手摺姿図	E- 03	電気設備工事特記仕様書-3
A- 04	特記仕様書-4	A- 19	外部階段2・7ルミ手摺詳細図-4 屋上平面図	E- 04	電灯·拡声設備 平面図
A- 05	特記仕様書-5	A- 20	外部階段2・アルミ手摺詳細図-5 屋上アルミ手摺姿図		
A- 06	特記仕様書-6	A- 21	外部階段2·アルミ手摺詳細図-6 2Fベランダアルミ手摺詳細図		
A- 07	特記仕様書-7	A- 22	外部階段2・アルミ手摺詳細図-7 屋上アルミ手摺詳細図		
A- 08	付近見取図 面積表 配置図(改修位置図) 外部門扉取替詳細図	A- 23	外部仮設計画図(参考)		
A- 09	平面図(改修位置図) 仕上表				
A- 10	平面図(現況)				
A- 11	平面図(改修)				
A- 12	立面図(現況)				
A- 13	立面図(改修)				
A- 14	断面図(現況)				
A- 15	断面図(改修)				

工 事 特 記 仕 様 書 (改 修) 津市愛宕会館外部階段設置その他工事 I. 工事名称 Ⅱ.工事概要 津市 愛宕町 地内 1 工事場所 2 敷地面積 3 工事内容 506. 40 m² 棟名称 愛宕会館 鉄筋コンクリート造 152.75 ㎡ 228.04 ㎡ 構造 建築面積 延べ面積工事項目 Ⅲ. 建築改修工事仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書」及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版 (以下「改修標準仕様書」という。)による。 2 特記仕様 (1) 項目は、番号に〇印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、〇印の付いたものを適用する。 (3) 項目欄に記載の() 内表示番号は改標仕の該当項目等を示す。 章 項目 特記事項 1 ① 適用基準等 1) 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(平成28年版) 2) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(平成28年版) 般

(2) 施工条件(3) 事項	 経工方法及び検査に関する事項 《工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 《工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規 制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。 ※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。 ※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 ※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 ※ 工事車両のび工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ※ 工事期間中、工事に起因し既存施設破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 ※ 工事着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等があれば、市監員立合いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて、既設施設に破損等を与えた場合は、請負者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。 ※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 ※ 武事十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	
③ 発生材の処理等 (1.3.12)	本工事は、その施工に特定健設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関す 5法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準 3人の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講 ることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。 分別解体等の方法 工程 作業の有無 分別解体等の方法 造成等 有 無 手作業 ・手作業、機械作業の併用 上部構造部分・外装 有 無 手作業 ・手作業、機械作業の併用 と部構造部分・外装 有 無 手作業 ・手作業、機械作業の併用 建築設備・内装等 ① 有 ・無 手作業 ・手作業、機械作業の併用 ・手作業 ・手作業、機械作業の併用 ・手作業 ・手作業、機械作業の併用 ・ 手作業 ・ 手作業 ・	

	建設副産物情報 交換システムの 利用	再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負代金額が1億円以上の工事については 工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」及び「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出 すること。 また、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実新 報告を行うこと。
5	三重県産業廃棄 物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
		なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。
6	電気保安技術者 (1.3.3)	適用する
7	技能士 (1.6.2)	職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。
8	施工数量調査 (1.5.2)	調査範囲及び調査方法・工種別の特記による
	調査のための 破壊部分の補修 (1.5.3)	補修方法・図示(図面番号:)・()
0	建築材料等	1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。3) 図面に挙げるメーカー仕様品番等については同等品以上とすることが出来る。
	化学物質の濃 度測定	測定対象化学物質 (●で示したものとする。) 適用 施設用途 ホルムアルデヒド トルエン キシレン エチルベンゼン スチレン パラジクロペンゼン
	(1. 6. 9)	学校, 教育施設 ● ● ● 住宅 ● ● ●
		## 2
$\overline{}$	特別な材料の	報告書提出部数 2部 改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
3	騒音・振動の	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。
) J	防止 工事写真	営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部(平成28年版))に従い撮影する。
3	完成図	提出部数 1部 用紙は上質紙とする。 作成する (① 完成図 ・ 保全に関する資料 ・())
	(1. 8. 2)	完成図作図範囲(設計図を訂正) 完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)にかかる 使用権は発注者に移譲するものとする。また、製本2部(原図サイズ)により提出すること。
Os	完成写真	 デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。 (A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多大になる場合には、監督員と協議すること。 写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。
\sim	設備工事との 取合い	施工範囲
		施工図 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。
(3)	既存部分等へ (1.3.13)	工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補 修する。
()	事故報告	工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督 員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。
2 0	消防提出書類	1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ・本工事(・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事) ・ 別途工事
		2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。
_	労働安全衛生 法に基づく労働 災害防止措置	労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。
\sim	不正軽油の使 用の禁止	1) 一般事項 市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材等の搬出入車両を含む。)並びに建設機械等 の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用し てはならない。 2) 調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等
		に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。 3) 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等
2)8	屋外広告物	3) 是正措置

2 仮	1	足場	設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安 心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の
1) X			作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
設		(2. 2. 1) (表2. 2. 1)	内部足場の種別 ① 脚立 ・ 足場板 ・ ()
エ			防護シート等による養生 ・ 適用する ・ 適用しない
事	2	既存部分の養生 (2.3.1)	既存部分の養生 ① 図示(図面番号:)
		(2. 0. 1)	養生方法(
			保管場所 ・ 構内既存施設内 固定された備品、机、ロッカーの移動
			・ 行う ・ 行わない
	3	仮設間仕切り (2.3.2)	屋内の仮設間仕切り ・ A種 ・ B種 ・ C種 合板 厚さ ・ 9mm ・()
		(表2.3.2)	せっこ う ボード 厚さ ・9.5mm ・ ()
			合板又は石こうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない 仮設扉 設置箇所 ・ 図示(図面番号:)
			種別 · A種 · B種 · C種
	4	監督員事務所	・構内建物内の一部を使用する。
		(2. 4. 1)	・ 設置する ・ ・ 設置しない 監督員事務所の規模(単位: m²)
			適用
			規模 10程度 20程度 35程度 65程度 100程度 監督員事務所の仕上げ
			部位等 仕上げ
			床 合板張り又はビニール床シート張り 内壁・天井 合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
			屋根 装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り
	1	監督員事務所の 備品等	種類 机・いす 書棚 黒板・白板 掛時計 温度計 数量 組 台 個 個
		(2. 4. 1) (b)	種類 長靴 雨合羽 保護帽 懐中電灯 衣類ロッカー
			種類 消火器 掃除具 受注者加入電話 冷暖房機器 インターネット
			数量 個 個 台 台
	6	仮設便所	構内既存の施設 ・ 利用できる ・ 利用できない
	7	工事用水	構内既存の施設
		工市田南土	
	8	工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる(・ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない
			有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。
	9	交通誘導警備員	配置 (·) 図示(図面番号: A-23)

				作図年月日	T = 48차	図面番号	
- 級建築士事務所 アートテックエンジニアー級建築士事務所					津市愛宕会館外部階段設置その他工事 	A-01	
				縮尺	図面名称	A-UI	1
〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 一級建築士登録第195780号 TEL(059)222-0534 FAX(059)222-0544 三重県登録第1-1283号 笹原 寛					特記仕様書−1	(原図A2)	

```
3
      アスファルト防
                    エ 法
・ P1B
                                     種別
                                                        施工箇所
防
                                 • B-1 • B-2 • B-3
          (3.1.4)

    P1E

                                • E-1 • E-2
水
          (3, 3, 3)

    P2E

        (表3.3.3)~
改
         (表3.3.10)
修
                 改質アスファルトルーフィングシート
                  種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ ( )
エ
                  厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ ( )
事
                 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
                  種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ ( )
                  厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ ( )
          (3.3.2) 断熱工法の断熱材 (P1BI, P2AI, T1BI, P0DI, M3DI, M4DI)
                  材質 • ( )
                     A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b(スキンあり)
                     A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号
                     A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種2号
                  厚さ・( )
                  ルーフドレン回り及び立上がり部周辺断熱材の張りじまい位置・ 図示 (図面番号:
       (3.3.3)(b)(2) 脱気装置 (M3D, POD, PODI, M3DI, M4DI)
        (3.3.3) (C)
                 ・ 設ける(設置数量 ・ 図示(図面番号:
                                            )、材質(
                 設けない

    仕上塗料 種類 ( ) 使用量 ( )

                保護コンクリートの厚さ こて仕上げ · 水下80mm以上 · (
                               床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・(
                         ・ 設ける・ 設けない
                 保護層
                 屋上排水溝の適用 ・ 適用する
                 立上り保護 ・ 乾式保護材 (
                           れんが(材種 ・ JIS R1250)
   2 改質アスファル
                改質アスファルトシート
     トシート防水
                  種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ (
          (3. 4. 2)
                厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ (
                 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート
                  種類・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による・(
                  厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ (
                 断熱工法の断熱材 (M3ASI, M4ASI, P0ASI)
                  材質、厚さ(
                  図示 • (
                                                施工箇所
                                                              仕上塗料
                              • AS-T1 • AS-T2
        (表3.4.1)~

    M4AS

         (表3.4.3)

    AS-J2

                  ・ 設ける(設置数量 ・ 図示(図面番号:
                                               )、材質(   ))
                 ・ 設けない
    3 合成高分子系
                 ルーフィングシート
                  種類・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による・(
    ルーフィング
                  厚さ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による・ ( )
     シート防水
                 絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート
          (3. 5. 2)
                 固定金具の材質及び寸法形状・図示()
                 断熱工法の断熱材 (POSI, S4SI, S3SI, M4SI)
                  材質、厚さ(
                    図示(
                    工法
                                                 種別
                                                              仕上塗料
        (表3.5.1)~
                   • S3S

    S-F1 (SI-F1)

                                • S-F2 (SI-F2)

    S3SI

         (表3.5.3)
          (3.5.3) 脱気装置
                 ・ 設ける(設置数量 ・ 図示(図面番号:
                                               ) 、材質 ( ) )
                  設けない
                既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合
          (3. 5. 4)
                  目地処理 • 図示(図面番号:
                  増張り ・ 図示(図面番号:
                 保護層の施工・ 図示 (図面番号:
   ④ 塗膜防水
                     工法
                                   種別
                                                施工箇所
          (3.6.3)
                                            玄関庇·屋上
ベランダ

    X-1 ⊙ X-2

    L4X

         (表3.6.1)
        (3. 6. 3) (a)
                 ① 設ける(設置数量 2 図示(図面番号:
                                              ) 、材質 ステンレス)
                    ※2Fベランダ 現況脱気筒を撤去、別位置に新設する。
         (3. 6. 3) (b)
                     工法
                                   種別
                                                施工箇所
                    P1YP2Y
                                · Y-2 ·
                 保護層 • 図示(図面番号: )
                 (M4AS, M4ASI, M4C, M4DI) ・ 行う ・ 行わない
    5 既存防水層表面
     の仕上塗装の除
                 (L4X)
                              ・ 行う ・ 行わない
     去
(3. 2. 6) (c) (2)
      (3. 2. 6) (c) (6)
```

```
6 シーリング
(3.7.2)
              材料
                               材種
                                           施工箇所
        (表3.7.1)

    SR-1

                              シリコーン系
                  • SR-2
                              シリコーン系
                            変成シリコーン系

    PS-2

                            ポリサルファイド系

    PU-2

                            ポリウレタン系
       (3.7.4~7) 工法
                シーリング充填工法
                シーリング再充填工法
                拡幅シーリング再充填工法
                ・ ブリッジエ法
                  (ボンドブレーカー幅 mm、エッジング材幅 mm)
         (3.7.8) シーリング材の試験
                ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない
               材種・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー)・ 配管用鋼管 (白管)
   7 とい
         (3. 8. 2)
        (表3.8.1)
               工法 • 図示(図面番号:
               改修用ドレン 銅製 100φ用 アルミ製ドレンキャップ
               工法 • 図示(図面番号:
   ⑧ アルミニウム製
               部材の種類
                押出し250形・ 押出し225形 規格品 /ンシーリング アルミ笠木W225
       (3. 9. 2) (c)
               ・ 押出し300形
                                                防水押I金物L型
        (表3.9.1)
                ・ 押出し350形
                板材折曲げ形(本体幅( )mm、板厚 ・ 2.0mm ・( ))
       (3.9.3)(b) 固定金具の間隔( 1,200mm 以下 )
               固定方法・・( アンカープラグビス )
               表面処理 ・ ( JIS H 8602 2010 A1種 )
        (3. 9. 2) (d)
         (3. 9. 3)
               工法 既存笠木等の撤去

    図示(図面番号:

                     下地補修の工法

    図示(図面番号:

                     板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示(図面番号:
                    笠木固定金具の工法

    図示(図面番号:

   ⑨ 防水保護シート
               加硫ゴムシート t 2.0
               行う ・ 行わない
     施工数量調査
                 調査範囲・全面・()
外
                 調査項目 · ひび割れ部 (・ 幅0.2mm · 0.2mm~1.0mm · 1.0mm以上)
                      はがれ及びはく落部分
壁
                      浮き部
改
                 調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 ( ・ 足場 ・ ゴンドラ)
                 報告書 2部(立面図等に記載、必要に応じて写真添付)
修
   2 改修工法の種類
                   外壁
                                                  改修工法
I
                                          樹脂注入工法
         (4.1.4)
                                         ・ Uカットシール材充填工法
         (4. 1. 5)
                コンリート打放し
                               ひび割れ部
事
                 仕上げ外壁
                                          シールエ法
                               欠損部

    充填工法

                                          樹脂注入工法
                               ひび割れ部
                                         Uカットシール材充填工法
                                         シールエ法
                                          充填工法
                               欠損部
                                          モルタル塗替え工法
                                         アンカーピンニング
                                          ・ 部分エポキシ樹脂注入工法
                モルタル塗り仕上
                                          ・ 全面エポキシ樹脂注入工法
                 げ外壁
                                          全面ポリマーセメントスラリー注入工法
                                         注入口付アンカーピンニング
                               浮き部
                                          ・ 部分エポキシ樹脂注入工法
                                          ・ 全面エポキシ樹脂注入工法
                                         ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
                                          充填工法
                                         モルタル塗替え工法
                                         樹脂注入工法
                              ひび割れ部
                                         Uカットシール材充填工法
                                         タイル部分張替え工法
                               欠損部
                                         タイル張替え工法
                                         アンカーピンニング
                                          ・ 部分エポキシ樹脂注入工法
                                          ・ 全面エポキシ樹脂注入工法
                                         ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
                ・ タイル張り仕上げ
                                         ・ 注入口付アンカーピンニング
                 外壁
                               浮き部
                                         ・ 部分エポキシ樹脂注入工法
                                          全面エポキシ樹脂注入工法
                                          ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
                                         ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法
                                         タイル部分張替え工法
                                         ・タイル張替え工法
                                         目地ひび割れ部改修工法
                                目地
                                         伸縮目地改修工法
                                         薄付け仕上塗材塗り
                                         厚付け仕上塗材塗り
                                         複層仕上塗材塗り
                塗り仕上げ外壁
                               新規仕上げ
                                         可とう形改修用仕上塗材塗り
                                         各種塗料塗り
                                         マスチック塗材塗り
```

(4. 2. 2) (a)	樹脂注入工法種類 ・ 自動式低	氐圧エポキシ樹脂注入エ	法					
(4. 3. 4) (4. 4. 5)	注入	し量()注入 □ プロストライン)注入 □ ポキシ樹脂注入工法)				
(4. 5. 5)	注入量	- ハ・・ 周加ユハエム 量()注入口 □ポキシ樹脂注入工法	間隔()				
	注入量	計()注入口) .+±+ ПЬ\				
	• 低粘度形	旨JIS A6024(建築補修用 彡 ・ 中粘度形		加 相)				
	・ 抜取り個							
	・ 抜取り部	那分補修方法()					
(4. 2. 2) (b) (4. 3. 5)	・ Uカットシール材充 材料 ・ シーリン							
(4. 4. 6) (4. 5. 6)		Jー1 ・ PUー2 性エポキシ樹脂充填	• ())				
		こポリマーセメントモル ・ 行わない	タル充填					
(4, 2, 2) (c)	シール工法							
(4. 3. 6) (4. 4. 7)	材料 ・ パテ状エ ・ 可とう性	Cポキシ樹脂 生エポキシ樹脂						
(4. 2. 2) (d)	・ 充填工法							
(4. 3. 7) (4. 4. 8)	材料 ・ エポキシ	ン樹脂モルタル -セメントモルタル						
(4. 2. 2) (g)	・ モルタル 塗替え 工法							
(4. 4. 9)		目地材の適用及び形状()					
(4. 2. 2) (e)	・ アンカーピンニング							
(4.4.10) (図4.4.1)		数 ・ 標準 ・(レス鋼(SUS304))				
(4. 2. 2) (e)	・ アンカーピンニング							
(4.4.11) (図4.4.2)		牧び注入口の数 ・ 標 レス鋼(SUS304)						
(4. 2. 2) (e)	・ アンカーピンニング							
(4. 4. 12) (図4. 4. 2)		改び注入口の数 ・ 標 レス鋼(SUS304)	-					
(4. 2. 2) (f)	・ 注入口付アンカービ							
(4.4.13) (図4.4.3)	材料 ・ ステンレ	ピンの本数 ・ 標準 レス鋼(SUS304))				
	呼び径 ・ 6 mm	• ()						
(4. 2. 2) (f) (4. 4. 14)	注入口付アンカービ 注入口付アンカービ	ピンニング全面エポキシ ピンの本数及び注入口の)			
(図4.4.4)		レス鋼(SUS304) ・ ()	• ()				
(4. 2. 2) (f)	・ 注入口付アンカービ	ピンニング全面ポリマー	セメントスラ	リー注入工法				
(4. 4. 15)		ピンの本数及び注入口の	配置 • 標		``			
(図4.4.4)	材料 ・ ポリマ	マーセメントスラリー()		,			
	材料 ・ ポリマ ・ 注入ロ)		,	())	
(図4.4.4) (4.2.2) (h)	材料 ・ ポリマ ・ 注入ロ	マーセメントスラリー(コ付アンカーピン(・ ・())		,	())	
(図4.4.4)	材料 ・ ポリマ ・ 注入口 呼び径 ・ 6mm ・ タイル部分張替えエ	マーセメントスラリー(コ付アンカーピン(・ ・())		,	())	
(図4.4.4) (4.2.2) (h)	材料 ・ポリマ ・注入口呼び径 ・6mm ・タイル部分張替えエオ料 ・ポリマ ・変成シリコーン樹脂	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (・ () C法 マーセメントモルタル 指、エポキシ樹脂、ポリ	・ ステンレス ウレタン樹脂	鋼(SUS3	04)))	耐凍害
(図4.4.4) (4.2.2) (h)	材料 ・ ポリマ ・ 注入口 呼び径 ・ 6 mm ・ タイル部分張替えエ 材料 ・ ポリマ	マーセメントスラリー(コ付アンカーピン(・ ・ () に法 マーセメントモルタル 旨、エポキシ樹脂、ポリ	・ ステンレス ウレタン樹脂	鋼(SUS3	04)	役物		耐凍害性有無
(図4.4.4) (4.2.2) (h)	材料 ・ポリマ ・注入口呼び径 ・6mm ・タイル部分張替えエオ料 ・ポリマ ・変成シリコーン樹脂	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (・ ・ ()) に法 マーセメントモルタル 旨、エポキシ樹脂、ポリ 」 T注 用途によ	・ ステンレス ウレタン樹脂	鋼(SUS3	04)		標準・	
(図4.4.4) (4.2.2) (h)	材料 ・ポリマ ・注入口呼び径 ・6mm ・タイル部分張替えエオ料 ・ポリマ ・変成シリコーン樹脂	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (・ () に法 マーセメントモルタル 皆、エポキシ樹脂、ポリ エ法 用途による区分	・ ステンレス ウレタン樹脂	鋼(SUS3	04)		標準・	
(図4.4.4) (4.2.2) (h)	材料 ・ ポリマ・ 注入口呼び径 ・ 6 mm ・ タイル部分張替えエオ材料 ・ ポリマ・ 変成シリコーン樹脂 施工箇所 形状寸法	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (・ () に法 マーセメントモルタル 皆、エポキシ樹脂、ポリ エ法 用途による区分	・ ステンレス ウレタン樹脂	鋼(SUS3	04)		標準・	
(図4.4.4) (4.2.2) (h)	材料 ・ポリマン ・注入口呼び径 ・6mm ・タイル部分張替えエオ材料 ・ポリマン ・変成シリコーン樹脂 ・変成シリコーン樹脂 施工箇所 形状寸法 ・役物(・一体成分) ・行う	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (・ () に法 マーセメントモルタル 皆、エポキシ樹脂、ポリ エ法 用途による区分	・ ステンレス ウレタン樹脂	鋼(SUS3	04)		標準・	
(至4. 4. 4) (4. 2. 2) (h) (4. 5. 7)	材料 ・ ポリマ・ 注入口呼び径 ・ 6 mm ・ タイル部分張替えエ材料 ・ ポリマ・ 変成シリコーン樹脂 施工箇所 形状寸法 ・ 役物 (・ 一体成う・ 見本焼き ・ 行う	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (・ () に法 マーセメントモルタル 皆、エポキシ樹脂、ポリ エ法 用途による区分	ウレタン樹脂 I 類(磁器)	鋼(SUS3	(04)・工類(陶器)工法		標準・	性有無
(4. 2. 2) (h) (4. 5. 7)	材料 ・ポリマント ・タイル部分張替えエオ材料 ・水リコーン樹脂 ・変成シリコーン樹脂 形状寸法 ・変成・リコーン樹脂 ・水・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (・ () に法 マーセメントモルタル 皆、エポキシ樹脂、ポリ エ法 用途によ る区分	ウレタン樹脂 I類(磁器)	図分 II類(せっ器) ・ 密が ・ 改!	■ 五類(陶器)■ 五類(陶器)■ 素張り■ 養養み上げ張り	役物	標準・特注色	mm) 5~8 4~7
(4. 2. 2) (h) (4. 5. 7)	材料 ・ ポリマー ポリマン イル部分張替えエマ イル部分張替えエマ オ料 ・ 変成シリコーン樹脂 形状寸法 ・ 変成シリコーン 大法 ・ で	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (・ () に法 マーセメントモルタル 指、エポキシ樹脂、ポリ エ法 用途による区分	ウレタン樹脂 I類(磁器)	区分 II類(せつ器) ・ 密が ・ 改!	回類(陶器) 工法 情張り	役物	標準・ 特注色 塗り厚(mm) 5~8 4~7 4~6
(4. 2. 2) (h) (4. 5. 7)	材料 ・ポリマー ・ 注入口呼び径 ・ 6 mm ・ タイル部分張替えエマー ・ 水料 ・ 変成シリコーン樹脂 ・ 形状寸法 ・ 変成シリコーン対態 ・ 形状寸法 ・ 変成シリコーン対態 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (・ () に法 マーセメントモルタル 指、エポキシ樹脂、ポリ エ法	ウレタン樹脂 I類(磁器)	区分 II類(せっ器) ・ 密が ・ 改! ・ マン	□類(陶器) □類(陶器) □数(陶器) 直接り は対している。	役物	標準・ 特注色 塗り厚(下地側	mm) 5~8 4~7 4~6 3~4
(4. 2. 2) (h) (4. 5. 7)	材料 ・ ポリマー ポリマー ボタイル部分張替ポリコーン オ材料 ・ 水状 カイル ボボ ボボ ボボ ボボ ボボ ボボ ボボ	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (・ () に法 マーセメントモルタル 皆、エポキシ樹脂、ポリ エ法 用途による区分	ウレタン 対 フステンレス ウレタン が 「類(磁器) 「 大きさ 下 コ未満 ネイル を 注入タイル を	区分 II類(せっ器) ・ 改! ・ マン	T法 情張り 良積み上げ張り反圧着張りスク張り	役物	標準・ 特注色 塗り厚(下地側	mm) 5~8 4~7 4~6 3~4 3~4
(4. 2. 2) (h) (4. 2. 2) (h) (4. 5. 7) (4. 5. 8) (表 4. 5. 4)	材料 ・ ポリマー ポリマー ボシー ボシー ボタイル部分 ボタイル ボタボ ボボット ボ	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (・ () に法 マーセメントモルタル 指、エポキシ樹脂、ポリ エ法	ウレタン 対 フステンレス ウレタン が 「類(磁器) 「 大きさ 下 コ未満 ネイル を 注入タイル を	区分 II類(せっ器) ・ 改! ・ マン	T法 情張り 良積み上げ張り反圧着張りスク張り	役物	標準・ 特注色 塗り厚(下地側	mm) 5~8 4~7 4~6 3~4 3~4
(4. 2. 2) (h) (4. 5. 7) (4. 5. 8) (4. 5. 4)	材料 ・ ポリスロ 呼び径 ・ 6 mm パシロ 呼び径 ・ 7 が	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (・ () に法 マーセメントモルタル 指、エポキシ樹脂、ポリ エ法 用途分	ウレタン樹脂 I 類 (磁器) I 表 イル 注入 タイル 注入 1 本)	区分 II類(せっ器) ・ 改! ・ マン	T法 情張り 良積み上げ張り反圧着張りスク張り	役物	標準・ 特注色 塗り厚(下地側	mm) 5~8 4~7 4~6 3~4 3~4
(4. 2. 2) (h) (4. 2. 2) (h) (4. 5. 7) (4. 5. 8) (表 4. 5. 4)	***	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (こ法マーセメントモルタル	・	図分 II類(せっ器) ・ 改! ・ 改! ・ モ+	T法 情張り 良積み上げ張り反圧着張りスク張り	役物	標準・ 特注色 塗り厚(下地側	mm) 5~8 4~7 4~6 3~4 3~4
(4. 2. 2) (h) (4. 2. 2) (h) (4. 5. 7) (4. 5. 8) (表 4. 5. 4)	***	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (ン は アーセメントモルタル	・	図分 II類(せっ器) ・ 改! ・ 改! ・ モ+	T法 情張り 良積み上げ張り反圧着張りスク張り	役物	標準・ 特注色 塗り厚(下地側	mm) 5~8 4~7 4~6 3~4 3~4
(4. 2. 2) (h) (4. 5. 7) (4. 5. 8) (表 4. 5. 4) (4. 5. 15)	***	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (こ法マーセメントモルタル	・	図分 II類(せっ器) ・ 改! ・ 改! ・ モ+	T法 情張り 良積み上げ張り反圧着張りスク張り	役物	標準・ 特注色 塗り厚(下地側	mm) 5~8 4~7 4~6 3~4 3~4
(4. 2. 2) (h) (4. 5. 7) (4. 5. 8) (表 4. 5. 4) (4. 5. 15)	***	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (こ法マーセメントモルタル	・	図分 II類(せっ器) ・ 改! ・ 改! ・ モ+	T法 情張り 良積み上げ張り反圧着張りスク張り	役物	標準・ 特注色 塗り厚(下地側	mm) 5~8 4~7 4~6 3~4 3~4
(4. 2. 2) (h) (4. 5. 7) (4. 5. 8) (表 4. 5. 4) (4. 5. 15)	***	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (こ法マーセメントモルタル	・	図分 II類(せっ器) ・ 改! ・ 改! ・ モ+	T法 情張り 良積み上げ張り反圧着張りスク張り	役物	標準・ 特注色 塗り厚(下地側	mm) 5~8 4~7 4~6 3~4 3~4
(4. 2. 2) (h) (4. 5. 7) (4. 5. 8) (表4. 5. 4) (4. 5. 15)	***	マーセメントスラリー (コ付アンカーピン (こ法マーセメントモルタル	・	図分 II類(せっ器) ・ 改! ・ 改! ・ モ+	T法 情張り 良積み上げ張り反圧着張りスク張り	役物	標準・ 特注色 塗り厚(下地側	mm) 5~8 4~7 4~6 3~4 3~4

			作図年月日		図面番号	1
- 級建築士事務所 アートテックエンジニアー級建築士事務所				津市愛宕会館外部階段設置その他工事	A 00	1
			縮尺	図面名称	A-02	ı
〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 一級建築士登録第195780号 TFL (059) 222-0534 FAX (059) 222-0544 三重県登録第1-1283号 笹原 實				特記仕様書−2	(原図A2)	1

```
④ 塗り仕上げ
                 種類
                             呼び名
                                         仕上げ形状
                                                    工法
       (4. 2. 2) (j
                                         砂壁状
                                                 吹付け
     (表4.2.4(その1)
                                         ゆず肌状
        (その2))
                                         平たん状
                                         凹凸状
              薄付け仕上塗材

◆ 外装薄塗材 E

                                       ゆず肌状
                                                 ローラー
                                        さざ波状
                                                   吹付け
                                        • 着色骨材砂壁状
                                                   こて
                                         吹放し
                                                 吹付け
                                         凸部処理
                          外装厚塗材 C
                                         凹凸状
                                                  こて
                                         ひき起し
                                         掻き落とし
              厚付け仕上塗材
                                                 吹付け
                                         凸部処理
                          外装厚塗材Si
                                         平たん状
                          外装厚塗材 E
                                         凹凸状
                                         ひき起し
                                         ゆず肌状
                                                 | ローラー
                          複層塗材RE
                                         凸部処理
              複層仕上塗材
                          防水形複層塗材E
                                                  吹付け
                                         凹凸模様
                          防水形複層塗材RE
                           可とう形改修塗材E
                                                 ローラー
              可とう形改修用
                          可とう形改修塗材RE
                                        さざ波状
                                      ゆず肌状
                          __可とう形改修塗材CE
                                                 吹付け
              仕上塗材
               外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合
                材所要量( kg/m2)
               ・ マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種
        (表4.7.1)
                           仕上材塗り(
               複層仕上塗材の上<u>塗材の種類</u>
        (表4.2.5)
                樹脂種類
                                         艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
                アクリル系

    弱溶剤系

                                         艶有・ 艶無
                                        • 艶有 • 艶無
                         水系
               ・ シリカ系
                         水系

    溶剤系

                                       ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
                ポリウレタン系 ・ 弱溶剤系
                                       艶有・ 艶無
                         水系

    溶剤系

                                       ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
                                        艶有 ・ 艶無

    弱溶剤系

                シリコン系

    溶剤系

                                       ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
               ふっ素系

    弱溶剤系

                                       ・ 艶有 ・ 艶無
                                      • 艶右 • 艶無
                         水系
              (注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。
         (4.6.3) 既存塗膜等の除去及び下地処理
               工法
・ サンダー工法

    高圧水洗工法

               塗膜はく離剤工法
                水洗い工法
                デッキブラシ
               高圧ポンプ
        (4.6.4)
               • C-1 • C-2 • CM-2 • E • ( )
5
   ① 改修工法
               ・ かぶせ工法
        (5. 1. 3)
               カバー工法・ 持出し工法・ ノンシール工法

    撤去工法

具
                ・ はつり工法 ・ 引抜き工法
               現況アルミドア 改修 2F会議室1:片開きドア
改
                        取替:ドアノブ・シリンダー錠(外部:シリンダー 内部:サムターン)・ドアクローザー・丁番 建具の建付調整
   2 防火戸
               例示仕様個別認定(認定番号:
エ
               自動閉鎖機構図示(図面番号:
        (5. 1. 4)
  3 見本の製作
               製作する製作しない
        (5. 1. 5)
   4 防犯建物部品

    図示(図面番号:

       (5, 1, 7)
   5 ブラインドボッ
               再使用する再使用しない
    クス等
       (5.1.6) (c)
   │ 6 アルミニウム製 │ 性能等級等 · A種 · B種 · C種
     建具
        (5. 2. 2)
               ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級
              断熱ドアセット、断熱サッシ(等級
        (5, 2, 4)
              耐震ドアセット(等級)
        (表5.2.1)
               結露水の処理方法・ 図示(図面番号: )
              アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別
               外部に面する建具
                • B-1 • B-2 • ( )
               内部に面する建具
                · C-1 · C-2 · ( )
```

```
7 網戸
            · 可動式 · 固定式
    (5. 2. 3) (e)
           防虫網の材質
            ・ 合成樹脂製・ ガラス繊維入り合成樹脂製・ ステンレス (SUS316) 製
            ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ
8 樹脂製建具
            性能等級等
            · A種 · B種 · C種
(5. 3. 2) ~ (5. 3. 5)
           ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級
            断熱ドアセット、断熱サッシ(等級
            ガラス ・ 複層ガラス ・(
            建具枠見込寸法 • 図示(図面番号:
            水切り ・ 図示(図面番号:
            ぜん板 ・ 図示 (図面番号:
            丁番 改修標準仕様書(表5.7.3)による 図示(図面番号:
9 鋼製建具
            鋼製建具の性能等級
            簡易気密性ドアセット
     (5. 4. 2)
             外部に面する建具の耐風圧
               • S-4 • S-5 • S-6
            防音ドアセット、防音サッシ(等級
            断熱ドアセット、断熱サッシ(等級
            耐震ドアセット(等級
           ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 ・ ( )
      (5.4.3)
                     JIS G 3317 • Y08 • ( )
      (5.4.4)
            H>2400又はW>950の建具
              鋼板類の厚さ・ 図示(図面番号:
10 鋼製軽量建具
           鋼製軽量建具の性能等級
      (5. 5. 2)
             簡易気密性ドアセット
      (5.5.5)
              防音ドアセット、防音サッシ(等級
            断熱ドアセット、断熱サッシ(等級
    (5. 2. 2) (b)
            耐震ドアセット(等級
      (5.5.3)

    H>2400又はW>950の建具

      (5.5.4)
              鋼板類の厚さ・ 図示(図面番号:
    (5.7.3) (a)
    (5. 2. 3) (a)
            表面仕上げ
             ビニル被覆鋼板
             カラー鋼板
             ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)
11 ステンレス製 ステンレス製建具の性能等級
  建具
             ・ 簡易気密性ドアセット
            外部に面する建具の耐風圧
      (5.4.2)
               • S-4 • S-5 • S-6
            ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級
            ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級
            ・ 耐震ドアセット(等級
           材料 · SUS304 · ( )
      (5.6.3)
      (5.6.4)
            表面仕上げ ・ 肚仕上げ ・ ( )
      (5.6.5)
            曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ
12 建具用金物
            金物の見え掛かり部等の材質等
      (5. 7. 2)
             • 改修標準仕様書(表5.7.1)による

    図示(図面番号:

            マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない
      (5.7.4)
            引渡用鍵箱 ・ 必要 ・ 不要
13 自動ドア開閉
            開閉装置の性能値

    図示(図面番号:

 装置
     (5. 8. 2)
      (5. 8. 3)
            センサーの種類

    図示(図面番号:

    (表5.8.3)
    (5.8.3) (f)
           凍結防止措置 ・ あり ・ なし
14 自閉式上吊り
            自閉式上吊り引戸装置の性能値
             ・ 改修標準仕様書(表5.9.1)による ・ ( )
 引戸装置
     (5.9.3)
15 重量シャッタ
             ・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター
            屋内用防火シャッター防煙シャッター
    (5. 10. 2)
            耐風圧強度 (Pa以上)
   (5, 10, 2) (c)
            開閉機能
            上部電動式(手動併用)上部手動式
    (表5.10.1)
   (5. 10. 2) (f)
           一般重量シャッターのシャッターケース
            ・ 設ける ・ 設けない
     (5. 10. 3)
            めっき付着量・ Z12・ F12・ ( )
16 軽量シャッタ
            上部電動式(手動併用)手動式
    (5. 11. 2)
    (表5.11.1) 耐風圧強度 (Pa以上)
           スラットの材質及び形状
             インターロッキング形オーバーラッピング形
            ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ ( )
JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ( )
```

	17 オーバーヘッ ドドア	型式及び機構 セクション材料								
	(5. 12. 2)	・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ								
		耐風圧強度(Pa以上)								
		開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式								
		収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形								
	(5. 12. 3)	ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板								
	18 板ガラス (5.13.2)(a) (5.13.4)	・ 図示(図面番号:)								
	19 ガラス留め材 (5.13.2)(b)	・ シーリング ・ ガスケット ()								
	20 ガラス溝の寸 法、形状等 (5.13.3)	 図示(図面番号:) 改修標準仕様書(表5.13.1) による 								
	2 1 ガラスブロッ ク積み (5.13.5)	ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示(図面番号:) 金属枠、補強材 ・ 図示(図面番号:)								
		化粧カパー ・ 図示(図面番号:) 工法 ・ 図示(図面番号:) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。								
6	① 一般事項 (6.1.3)(b)	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 改修部分 改修 範 囲								
内		・ 天井 ・ 図示(図面番号:) ・ 壁 ・ 図示(図面番号:) ・ 床 ・ 図示(図面番号:)								
装改	(6. 1. 3) (c)	天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ・ 図示(図面番号:) ・ ()								
修 エ	(6. 1. 3) (f)	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・ 図示(図面番号:) ・ ()								
事		和室天井改修 (雨漏り跡) 1F和室: 現況天井材撤去 450x3600 1枚張替 下地残し 野縁等調整 ラワン合板t5.5捨張 目スカシ底化粧材 杉中杢合板(特寸品) 突板合板(現況杢目に合わせる)								
	2 既存床撤去、下 地補修 (6.2.2)(a)(1)	既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ・ 行わない								
	(6. 2. 2) (a) (2)	合成樹脂塗り床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法								
	(6. 2. 2) (c)	改修後の床の清掃範囲 ・ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ・ (
	3 既存壁撤去、下 地補修 (6.3.2)	既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ ()								
	4 木下地等 (6.5.1)(c)	表面仕上げ ・ A種 ・ B種 ・ C種								
	(表6. 5. 1) (6. 5. 2) (a) (2)	木材の含水率(工事現場搬入時、質量比) 部材名称 種 別								
	(表6.5.2)	下地材 ・ A種 ・ B種 造作材 ・ A種 ・ B種								
	(6. 5. 2) (b) (1)	製材 「製材の日本農林規格」による製材 部位 樹種・寸法・形状 等級 含水率								
		下地用 ・ 図示 針葉樹製材 (図面番号:)								
		造作用 ・ 図示 ・ () ・ () ・ () 針葉樹製材 (図面番号:)								
		広葉樹製材 ・ 図示 ・ () ・ () ・ ()								
	(6. 5. 2) (b) (2) (6. 5. 2) (b) (3) (表6. 5. 3)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率 ・ 図示(図面番号:) 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ () 樹種								
		部 位 樹 種 県 産 材								
	(6. 5. 2) (b) (3)	代用樹種の使用 ・ 禁止する ・ 禁止しない								
	(6. 5. 2) (c) (i)	造作用集成材								
		「集成材の日本農林規格」による造作用集成材								
		造作用集成材 ・ 図示 (図面番号:)								
		化粧ばり造作用 ・ 図示 ・ (図面番号:) ・ (図面本の面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面								
		化粧ばり構造用 ・ 図示 ・ () 造作用集成柱 (図面番号:)								
	<u> </u>									

- 級建築士事務所 アートテックエンジニアー級建築士事務所

- 級建築士事務所 アートテックエンジニアー級建築士事務所

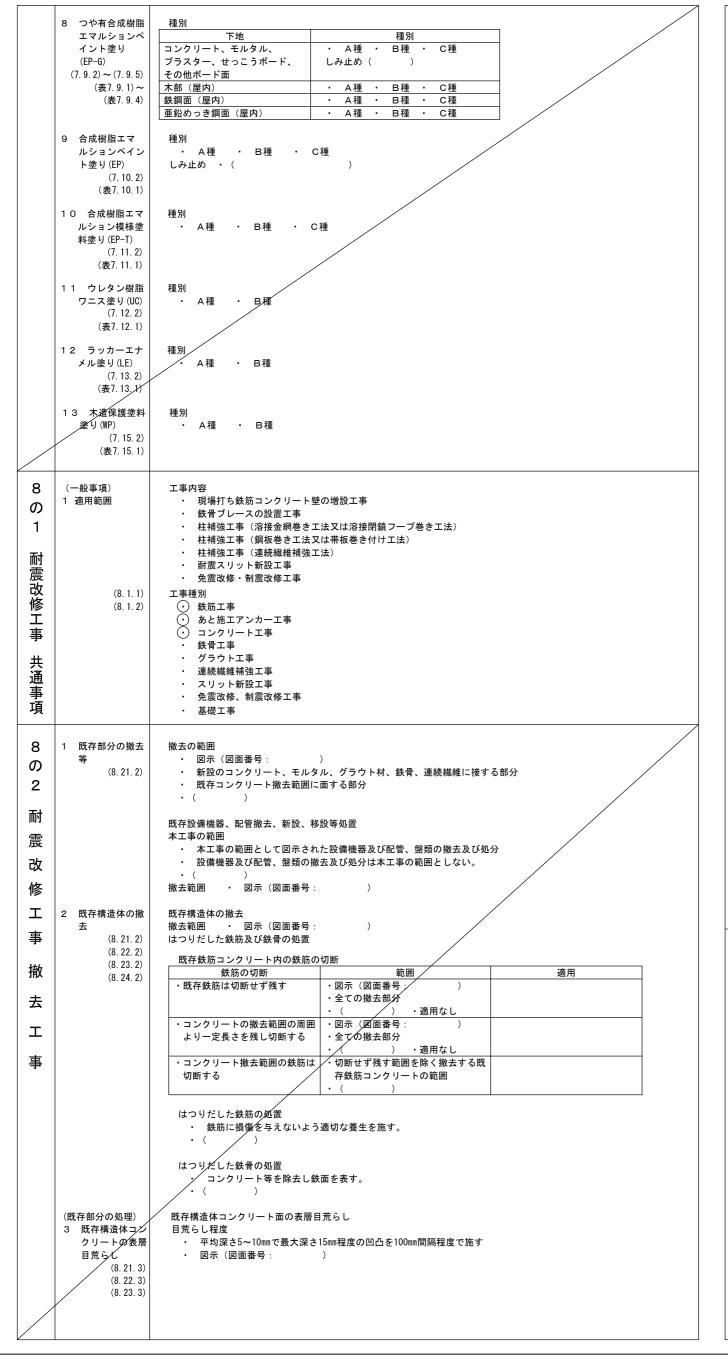
〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 - 級建築士登録第195780号 TEL (059) 222-0534 FAX (059) 222-0544 三重県登録第1-1283号 笹原 寛

			林規格」による造作用単		あの口懸	Pt +h hn Im	
		造作用単板積層材	厚さ ・ 図示 (図面番号:)		面の品質)	<u>防虫処理</u> ・()	
(6	5. 5. 2) (d) (ii)	厚さ、表面の品質、防	林規格」以外の造作用単 虫処理 ・ 図示(図面 下 ・ (番号:)		
	(6. 5. 2) (e)	・ 床張り用合板等 部材名称 樹種	名 接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ
	(6. 5. 5) (a)	保存処理性能区分 薬剤の塗布等の処	理方法())			
	(6. 5. 5) (b)	防虫処理図示(図面番号:)				
5 軽 地	量鉄骨天井下 (6. 6. 2) (表6. 6. 1)	野縁等の種類 ・ 屋内 ・ 19 ・ 屋外 ・ 25	形 • () 形 • ()				
	(6. 6. 3)	・ 耐震天井 ・ ふところ≧1.5m	・ 図示(図面番号・ 図示(図面番号・ 改修標準仕様書・ 図示(図面番号	: (6. 6. 4) (h)) 図示(図面番号:)
	(6. 6. 4)		使用しない ト、あと施エアンカーの 面番号:))				
6 軽	量鉄骨壁下地 (6.7.3)	スタッド、ランナー等 ・ 図示(図面番号					
	ニル床シート、 ニル床タイル	材料・・・ビニル床シート【	JIS A 5705 (ビニル系床	:材) 】			
及	びゴム床タイ 張り (6.8.2)	種類の記号 FS	色柄無地		厚さ 2.0mm	備考	
	(6. 8. 2) (a)						
	I	ビニル床タイル【 種類の記号 半硬質ビニル床タイル	JIS A 5705 (ビニル系床 厚さ 2.0mm	材)]	備	考	
((6. 8. 2) (a)	種類の記号	厚さ 2.0mm	材)]	備厚さ	考 備考	
	(6. 8. 2) (a) (6. 8. 2) (b)	種類の記号 半硬質ビニル床タイル ・ 帯電防止床シート	厚さ 2.0mm 又は床タイル 性能		厚さ		
((6. 8. 2) (a) (6. 8. 2) (b) 6. 8. 2) (c) (1)	種類の記号 半硬質ビニル床タイル ・ 帯電防止床シート 種類 ・ 視覚障害者用床タ	厚さ 2.0mm 又は床タイル 性能 イル 形状 300×300×7.0		厚さ	備考	
((6. 8. 2) (a) (6. 8. 2) (b) 6. 8. 2) (c) (1) 6. 8. 2) (c) (2)	種類の記号 半硬質ビニル床タイル ・ 帯電防止床シート 種類 ・ 視覚障害者用床タ 種類 ビニル床タイル ・ 耐動荷重性床シー	厚さ 2.0mm 又は床タイル 性能 イル 形状 300×300×7.0		厚さ	備考	
((6. 8. 2) (a) (6. 8. 2) (b) 6. 8. 2) (c) (1) 6. 8. 2) (c) (2)	種類の記号 半硬質ビニル床タイル ・ 帯電防止床シート 種類 ・ 視覚障害者用床タ 種類 ビニル床タイル ・ 耐動荷重性床シー	厚さ 2.0mm 又は床タイル 性能 イル 形状 300×300×7.0		厚さ	備考	
((6. 8. 2) (a) (6. 8. 2) (b) (6. 8. 2) (c) (1) (6. 8. 2) (c) (2)	種類の記号 半硬質ビニル床タイル ・ 帯電防止床シート 種類 ・ 視覚障害者用床タ 種類 ビニル床タイル ・ 耐動荷重性床シー 種類 ・ 防滑性床シート又	厚さ 2.0mm 2.0mm 2.0mm 2.0mm 2.0mm 1.0mm 1		厚さ	大 人	
((6. 8. 2) (a) (6. 8. 2) (b) 6. 8. 2) (c) (1) 6. 8. 2) (c) (2) 6. 8. 2) (c) (3)	種類の記号 半硬質ビニル床タイル ・ 帯電防止床シート 種類 ・ 視覚障害者用床タ 種類 ビニル床タイル ・ 耐動荷重性床シー 種類 ・ 防滑性床シー	厚さ 2.0mm 又は床タイル 性能 イル 形状 300×300×7.0		厚さ	備考 備考	
((6. 8. 2) (a) (6. 8. 2) (b) 6. 8. 2) (c) (1) 6. 8. 2) (c) (2) 6. 8. 2) (c) (3)	種類の記号	厚さ 2.0mm 2.0mm 2.0mm 2.0mm 2.0mm 1.0mm 1	mm	厚さ	· 備考 · 備考 · · · · · · · · · · · · · · ·	

(株名 9.1)	8 カーペット敷き (6.9.3)(a)	織じゅうたん種別	パイルの形状			帯電性			品質の程度	
(8.9.3) (a) (b) (78.6.2 2) (c) (6.9.3) (c) (c) (6.9.3) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	(表6.9.1)							. /)	
(6.9.3) (c) - タフテットカーペット				併用				- (,	
(3.9.9 10		品質の程度欄に記載した商	品名は、品質の程度を	を示すための	の参考で	商品名で	ある。()	以下同様	€)	
(8,9.3) (c) トループ側面	(6. 9. 3) (b)	・ タフテッドカーペット								
(8.9.3) (a) - ループバイル		パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性					品質の程	
(6.9.3) (a) - タイルカーベット					- 1				. (
(6.9.3) (a) P - アドルバンチカーベット					,	• 20	ッハーエ	Z.	. (
(6.9.3)(d) (本6.9.2)										
(6.9.3) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	(6. 9. 3) (c)			性				備者		
(6, 9, 9) (c) (表 9, 2) (c) (表 9, 2) (c) (表 9, 2) (c) (c) (a) (a) (c) (a) (a) (c) (a) (a) (c) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a			• 人体帯電圧	-						
(6.9.3) (d) (表6.9.2) (d) (表6.9.2) (d) (表6.9.2) (d) (表6.9.2) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e										
(8.9.2) 担保			,							
(6.9.3)(4) 「			S A II O TIAL		 :+/		≪ 同 →	- ()	口無の知	
(6.9.3)(e) (6.9.4)(e) (6.9.4)(e) (6.9.4)(e) (6.9.4)(e) (6.9.3)(f) (6.9.4)(e) (6.10.3)(b)(f) (7.00)(f) (8.00)(f) ((表6. 9. 2)	程 規		<u> </u>				: (mm)		
(6.9.3)(f) 見切り、押え会物 - 適用する (材質、種類及び砂味 - 図示 (園面書号:)) (6.9.4)(c)			・ループパイル	.	()	• ()	• (
(6.9.3)(f) 見切り、押え会物 - 適用する (材質、種類及び砂味 - 図示 (園面書号:)) (6.9.4)(c)	(6 0 3) (a)	下勒 去	25番第2号 恒士8m	m . ()				
9 合成時能等度 (6.10.3) (0.10) (1) (2.50.10.4) (3.10.10) (1) (2.50.10.4) (5.10.3) (0.10) (1) (2.50.10.4) (10.10.3) (0.10) (1) (2.50.10.4) (10.10.3) (0						•	面番号:))	
9 合成時能等度 (6.10.3) (0.10) (1) (2.50.10.4) (3.10.10) (1) (2.50.10.4) (5.10.3) (0.10) (1) (2.50.10.4) (10.10.3) (0.10) (1) (2.50.10.4) (10.10.3) (0	(6,0,4),(5)	*** **								
9 合成樹脂塗珠 (6.10.3) (0.10) (1.00) (1.00) (1.00) (2.	(6. 9. 4) (e)	7,01.0.1.0	市松敷き・模	様流し・	()				
(6.10.3) (b) (1) (表 6.10.3) (b) (2) (c) (表 6.10.8) (c) (a) (a) (a) (a) (b) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a		階段部分)				
(6.10.3) (b) (1) (表 6.10.3) (b) (2) (c) (表 6.10.8) (c) (a) (a) (a) (a) (b) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a	0 会成樹脂涂度	弾性ウレタン樹脂玄涂庄の	什上げ種類 丁稈							
(6.10.3) (b) (2) (表 6.10.5) で (表 6.11.5) で				つや消し仕」	上げ					
(6.10.3)(c) (表6.10.8) - 横能モルタル仕上げ(・平滑 ・防滑)・悪原派し展へ仕上げ(・平滑 ・防海) ・ 横能モルタル仕上げ(・平滑 ・防海)・悪原型を採仕上げ(・平滑 ・防海) ・ 横を ・		-18+ \ H18h = 18+ - 11 :	1.51.54.7 1.51.54.7							
(表6.10.5) ~ (表6.10.8) ・ 樹脂モルタル仕上げ(・ 平滑 ・ 防清) ・ 薄陽型空床仕上げ(・ 平滑) ・ 村経 ・ アコーリング ・ 村経 ・ フローリング・ ・ 日経 ・ ()				骨) • [夏膜流し	,展べ什.	上げ (・	平滑	• 防滑)	
- 新聞め工法										
様り (6.11.4) (表6.11.2)	(表6.10.8)									
様料										
様料										
様料										
様料										
接り	10 フローリング	釘留め工法								
(後6.11.2) (後6.11.2) (複合フローリング	I	材料	種類	ij		樹	重			
(6.11.5) (表6.11.5) (表6.11.6) (表6.1										
(後 11.5) (表 6.11.5) (表 6.11.6)	(表6.11.2)		. ,	 A種	\dashv					
(6.11.5)										
(6. 11. 5) (表6. 11. 6) (表6. 12. 2) (表6. 12. 1) (表6. 12. 2) (表6. 12. 1) (表6. 13. 2) (表6. 13. 1) (表6. 13. 2) (表6. 13. 1) (表6. 13. 3) (e) (3) (6. 13. 3) (e) (3) (6. 13. 3) (e) (3) (6. 13. 3) (6. 14. 2) (5. 13. 5) (5. 14. 2) (5. 13. 5) (5. 13. 6) (6. 13. 3) (e) (3) (6. 13. 3) (6. 13. 5) (6. 13. 5) (6. 13. 6) (6. 13. 3) (e) (3) (6. 13. 3) (6. 14. 2) (6. 14. 2) (5. 14. 2) (5. 14. 2) (5. 15. 5) (5. 15. 5) (5. 15. 5) (5. 16. 16. 5) (6. 16. 16. 5) (6. 16. 16. 5) (6. 17. 5) (7. 17. 5) (7. 17. 5) (8. 18. 5) (9. 18. 5) (9. 18. 5) (9. 18. 5) (10. 18				2種						
接色、11.5 大きさ		阴湿处垤 四小(四面)	画 7							
(表6.11.5)					+1.1=		E 7			
・ フローリング (直張用)			-ド(直張用)	1	凹悝		序さ		Дее	
(直張用)			コック(直張用)							
・接合2種フローリング (直張用)			· Λ 쥶	. ,	tiù					
(値機用)				- 1						
(6.11.6)(2) (6.11.6)(2) (6.11.6)(2) 全装 ・ ウレタン樹脂ウニス塗り(1液形、B種)・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り・ 生地のままワックス塗り・ 生地のままワックス塗り・ ケー・ 大きの他ボード、その他ボード、その他ボード、その他ボード、その他ボード、その他ボード、その他ボード、その他ボード、その他ボード、その他ボード、その他ボード、では合いないり、(6.13.2)(表6.13.1) ・ 他粒せっこうボード・ ロックウール化粧吸音板・ ロックウール化粧吸音板・ けい酸カルシウム板・ タイブⅡ0.8FK (6.13.3)(e)(3) (6.13.3)(e)(3) 産音シール材・ シーリング材・ ジョイントコンパウンド 合板類の張付け・ A種・ B種 せっこうボードの目地工法・ 雑目処理・ 突付け・ 目透し 施工管所 品質 防火性能										
(6.11.6) (2) (6.11.6) (2) (6.11.6) (2) (6.11.6) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (5) (6.12.2) (5) (6.12.2) (6.13.2) (6.13.2) (6.13.2) (6.13.2) (6.13.2) (6.13.3) (a) (6.13.3) (b) (6.13.3) (c) (7) (8.13.3) (a) (1.3.3) (b) (1.3.4) (1.3.4) (1.3.4) (1.3.4) (1.3.5) (1.3.5) (1.3.5) (1.3.6) (1.3.6) (1.3.6) (1.3.6) (1.3.7) (1.3.8) (1.3.8) (1.3.9) (1.3.9) (1.3.9) (1.3.9) (1.3.9) (1.3.9) (1.3.9) (1.3.10) (1.3.10) (1.3.10) (1.3.10) (1.3.10) (1.3.10) (1.3.10) (2.3.10) (3.3.10) (4.3.10)			· C植							
 (6.11.6)(2) 塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形、B種) ・オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・(6.12.2)			 ノト (直張用)	• ()		()) -	()	
・ ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ ()		緩衝材 • 合成樹脂発泡	シート ・ 図示(図面番号:)				
・ ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ ()	(6. 11 6) (2)	塗装								
- 生地のままワックス塗り ・ ()	(0.11.0/(2/		塗り(1液形、B種)							
1 1 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1) (6.12.2) (表6.12.1) 1 2 せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1)										
1 1 量数き (6. 12. 2) (表6. 12. 1) 様別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種			坐 り							
(6. 12. 2) (表6. 12. 1) 1 2 せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6. 13. 2) (表6. 13. 1) ・ せっこうボード ・ 化粧せっこうボード ・ ロックウール化粧吸音板 ・ けい酸カルシウム板 ・ ケイブ II 0. 8FK (6. 13. 3) (e) (3) (6. 13. 3) (g) (1) (表6. 13. 5) (6. 13. 3) (g) (1) (表6. 13. 5) (6. 14. 2) (6. 14. 2)										
(表6.12.1)		種別 · A種 · B	植 · C種	D種						
ド、その他ボード及び合板張り (6. 13. 2) (表 6. 13. 1) ・ せっこうボード ・ せっこうボード ・ トラバーチン模様 ・ 12. 5 (不燃) ・ 12. 5 (不成) ・ 12.										
ド、その他ボード及び合板張り (6. 13. 2) (表 6. 13. 1) ・ せっこうボード ・ せっこうボード ・ トラバーチン模様 ・ 12. 5 (不燃) ・ 12. 5 (不成) ・ 12.		3144		lul.				()		
ド及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1) ・ せっこうボード ・ トラバーチン模様 ・ 小目模様 ・ 小目模様 ・ ロックウール化粧吸音板 ・ けい酸カルシウム板 ・ トラバーチン模様 ・ 小目模様 ・ 小月 ・ 本目模様 ・ けい酸カルシウム板 ・ 9.5(準不燃) ・ 3.5(準不燃) ・ 一タイプIIO.8FK (6.13.2)(h) 遮音シール材 ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド (6.13.3)(e)(3) 査検類の張付け ・ A種 ・ B種 ・ 継目処理 ・ 突付け ・ 目透し 13 壁紙張り (6.14.2) 施工箇所 品質 防火性能 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃		材種		ij	-	.				
(6.13.2) (表6.13.1) ・ 化粧せっこうボード ・ トラバーチン模様 ・ 9.5 (準不燃) ・ ルカリンウール化粧吸音板 ・ 音通 ・ 9 ・ はい酸カルシウム板 ・ タイプ II 0.8 FK (6.13.2) (h) 遮音シール材 ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド (6.13.3) (e) (3) (6.13.3) (g) (1) (表6.13.5) (表6.13.5) 施工箇所 品質 防火性能 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃		サッテネボード				壁.				
・ 化粧せっこうボード ・ トラバーチン模様 ・ 9.5 (準不燃) ・ 木目模様 ・ 9.5 (準不燃) ・ 本目模様 ・ 9.5 (準不燃) ・ 立体模様 ・ 9 ・ 立体模様 ・ 9 ・ 立体模様 ・ タイプⅡ0.8FK (6.13.2) (h) 遮音シール材 ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド (6.13.3) (e) (3) 合板類の張付け ・ A種 ・ B種 (6.13.3) (g) (1) (表6.13.5) せっこうボードの目地工法 ・ 総目処理 ・ 突付け ・ 目透し 加工箇所		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				7.7				
- 化粧せっこっホード - 木目模様 - 9.5(準不燃) - ロックウール化粧吸音板 - ヴェ体模様 - タイプⅡ0.8FK (6. 13. 2) (h) 遮音シール材 - シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド (6. 13. 3) (e) (3) を板類の張付け - A種 ・ B種 (6. 13. 5) はつこうボードの目地工法 - 縦目処理 ・ 突付け ・ 目透し 施工箇所 品質 防火性能 - 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃	(表6.13.1)		・・トラバーチン	模様	-					
<td 2"="" color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td></td><td>• A 種 • B 種</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td>	<td></td> <td>• A 種 • B 種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>		• A 種 • B 種							
13 壁紙張り (6.14.2) 施工箇所 品質 防火性能 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃		(6. 13. 3) (g) (1)	せっこうボードの目地工法							
(6. 14. 2) ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃	(表6.13.5)	・ 継目処理 ・ 突付	け ・ 目透し							
(6. 14. 2) ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃	13 壁紙張り	施工箇所		Í.			防火	性能		
		.55//	низ						燃	
							不燃	• 準不	燃	

	14 モルタル塗り (6.15.3)	既製目地材 ・ 使用 床の目地 ・ 図示)							
	①5 タイル張り (6.16.2) (6.16.3)	伸縮調整目地 位置 ・ 図示	:(図面番号:)							
		タイルの種類 施工箇所 形状寸法 階段 200×100	る区分			区分 II 類(せっ器)	Ⅲ類(陶器)	役物	標準・ 特注色		
	(6. 16. 3) (b) (1)	試験張り・ 行う 見本焼き・ 行う									
	16 セルフレベリ ング材塗り (6.17.2) (6.17.3)	・ せっこう系 ・ 塗厚()									
	17 断熱材 (9.5.2)	断熱材打込み工法 種類 ・ A種 ・ 種類 ・ ビーズ法ポリスチ		種別	厚。	<u>;</u> (ww)	施工箇	所]		
		・ 押出法ポリスチレ ・ A種硬質ウレタン ・ フェノールフォー	ンフォーム フォーム								
	(9. 5. 3)	断熱材現場発泡工法 種類 ・ A種 1 ・ A種 2 ・ A種 3	「吹付硬質ウレタンフ 厚さ[mm] ・ ()	・ 窓回り等 下等、部分	等の断熱材補値 ♪的に後張りる	施工箇所 多部分、ルー: としなければフ	フドレン回りの ならない箇所	D床版			
	1 材料 ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 (7.1.3)(b) ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:) 2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) ・ 図示(図面番号:)										
改 修	(表7.2.1) ~ (表7.2.7)	· 木部 · 鉄鋼面	· 地	- RAĀ		・ RC種 ・ RC種	ひび	割れ部の	補修		
工 事		・ 亜鉛めっき鋼面・ モルタル、プラス・ コンクリート、A・ コンクリート、押・ せっこうボード、	L Cパネル面 出成形セメント板面	- RAF - RAF - RAF - RAF	RB種RB種RB種RB種	RC種RC種RC種RC種RC種RC種	・ 行う ・ 行う ・ 行う				
	3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)~ (表7.3.4)	錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面	i · B種 · C和 · A種 · B · A種 · E	種 · C							
	4 合成樹脂調合ペ イント塗り(SOP) (7.4.2)	塗料種別・ 1 種別下地)							
	(7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~ (表7.4.3)	・ 木部・ 鉄鋼面・ 亜鉛めっき鋼面	· A種 ·	B種 · C和 B種 · C和							
	5 クリヤラッカー 塗り(CL) (7.5.2) (表7.5.1)	種別 木部 ・ A種 ・	B種								
	6 アクリル樹脂系 非水分散形塗料 (NAD)	種別 - A種 - E	種								
	(7.7.2) (表7.7.1)										
	(表7.7.1) 7 耐候性塗料塗り (DP) (7.8.2)~	上塗り等級 ・ 1級(フッ素系 下地 ・ 1級の		コン系) ・ 種別 ・ B種		ウレタン系)					
	(表7.7.1) 7 耐候性塗料塗り (DP)	• 1級(フッ素系	· A種 · A種 · A-		· C種 · C種 - 2種 - 2種	ウレタン系)					

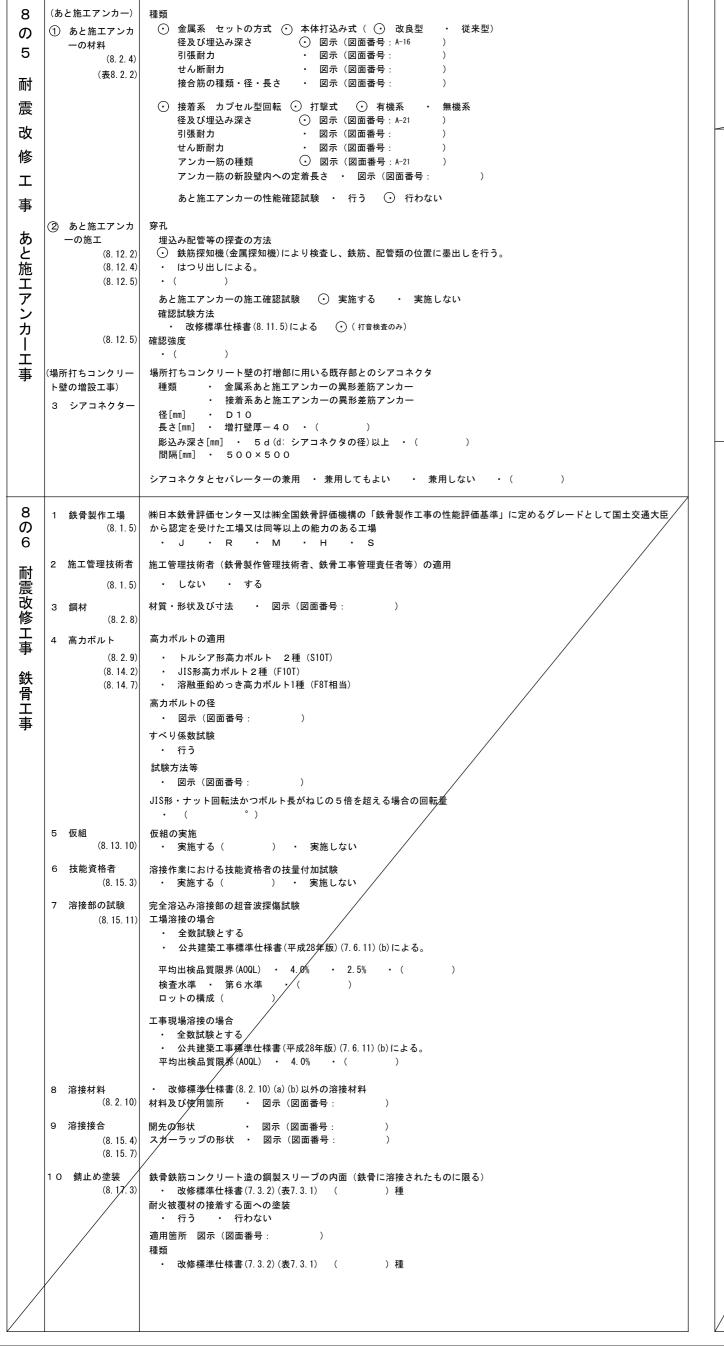
- 級建築士事務所 アートテックエンジニアー級建築士事務所			作図年月日	エ϶ネネホ	図面番号	
-級建築士事務所 アートテックエンシニアー 級 建 梁 士 事 務 所				津市愛宕会館外部階段設置その他工事	A-04	
			縮尺	図面名称	A-04	
〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 一級建築士登録第195780号 TEL(059)222-0534 FAX(059)222-0544 三重県登録第1-1283号 笹原 寛				特記仕様書-4	(原図A2)	

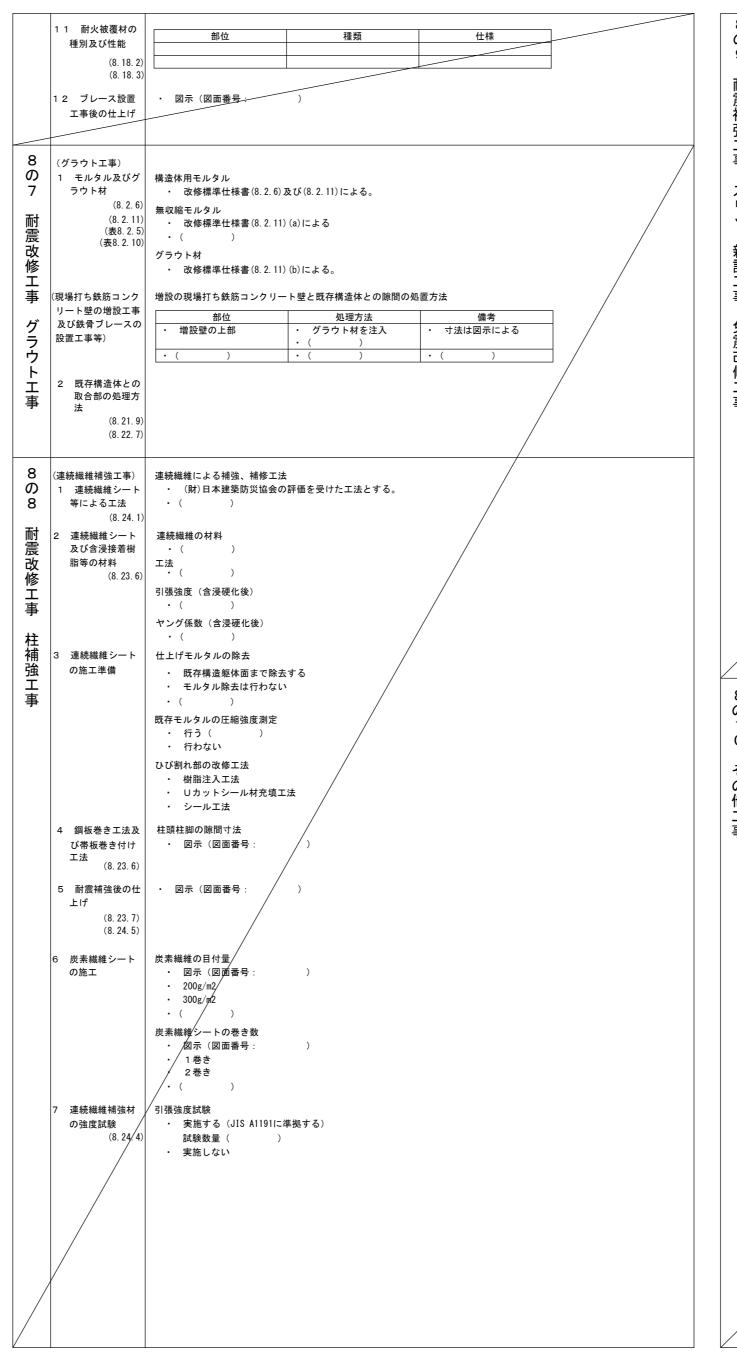


8	1 鉄筋	材料 改修標準係	土様書(表8.2.1)による				
の	(8. 2. 1) (表8. 2. 1)	種別 • SD295A	圣(mm))			
3	(2)	• SD345 • SD390					
耐		• ()					
震	② 溶接金網 (8.2.2)	網目の形状、寸注 網目の形状、寸注		(mm)			
改		100 × 100	6 φ				
修	3 加工 (8.3.2)	90°未満の折曲(ずの内法直径 ・ 図	示(図面番号:)		
エ	4 鉄筋の継手及び		径		部位		
事	定着 (8.3.4)	重ね継手がス圧接	· D16以T · D19以上				
鉄			の重ね継手の長さ				
筋			士様書(8.3.4)(c)(1)によ	たる			
エ		継手位置					
		各部配筋図示(図					
事		先組み工法等					
		・ 柱・梁主角	筋の継手を同一箇所に設	ける			
		鉄筋の定着長さ ・ 改修標準例	土様書(表8.3.4)による				
			面番号:)				
		帯筋組立の形 ・ 図示(図i	面番号:)				
	5 鉄筋のかぶり厚	軽量コンクリー	トで土に接する部分				
	さ及び間隔 (8.3.5)	・ 無し ・ 有り 適月	用箇所(
		最小かぶり厚さ	() mm				
		耐久性上不利な語 ・ 無し	部分(塩害を受けるおそ)	れのある部分等)			
		・ 有り 適原 最小かぶり厚さ					
	6 各部配筋	図示(図面を	番号:)				
	7 ガス圧接	圧接完了後の試験					
				1. 6			
	(8.3.8)		・行う・行	わない			
	(現場打ち鉄筋コンク リート壁の増設工事	割裂補強筋の適原 種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所
	(現場打ち鉄筋コンク	割裂補強筋の適原 種類	用 材料 ・鉄筋コンクリート用 棒鋼	材種 ・ R235 ・ ()	• 6Ф • 9Ф	スパイラルの径(mm) ()	適用箇所 ・図示 (図面番号:)
	(現場打ち鉄筋コンク リート壁の増設工事 及び鉄骨ブレースの 設置工事等) 8 割裂補強筋	割裂補強筋の適用種類・スパイラル筋	刊 材料 ・鉄筋コンクリート用 棒鋼 ・ ()	材種 ・ R235 ・ ()	• 6Ф • 9Ф • ()	スパイラルの径 (mm) () スパイラルのピッチ (mm) ()	・図示
	(現場打ち鉄筋コンク リート壁の増設工事 及び鉄骨ブレースの 設置工事等)	割裂補強筋の適原 種類	村料 ・鉄筋コンクリート用 棒鋼 ・ () ・鉄筋コンクリート用 棒鋼(異形鉄筋)	材種 ・ R235 ・ ()	• 6Ф • 9Ф	スパイラルの径 (mm) () スパイラルのピッチ (mm) () 壁内方向筋 ()	・図示
	(現場打ち鉄筋コンク リート壁の増設工事 及び鉄骨ブレースの 設置工事等) 8 割裂補強筋 (8.21.6)	割裂補強筋の適用種類・スパイラル筋	H 材料 ・鉄筋コンクリート用 棒鋼 ・ ()	材種 - R235 - () - ()	· 6Φ · 9Φ · ()	スパイラルの径 (mm) () スパイラルのピッチ (mm) () 壁内方向筋	・図示
	(現場打ち鉄筋コンク リート壁の増設工事 及び鉄骨ブレースの 設置工事等) 8 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7)	割裂補強筋の適所 種類 ・スパイラル筋 ・はしご筋 ・ 機械式継手	刊 材料 ・鉄筋コンクリート用 棒鋼 ・ () ・鉄筋コンクリート用 棒鋼(異形鉄筋)	材種 ・ R235 ・ () ・ ()	· 6Φ · 9Φ · ()	スパイラルの径 (mm) () スパイラルのピッチ (mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋	・図示
	(現場打ち鉄筋コンク リート壁の増設工事 及び鉄骨ブレースの 設置工事等) 8 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 9 鉄筋の機械式継 手及び溶接継手 (8.4.2)	割裂補強筋の適用 種類 ・スパイラル筋 ・はしご筋 ・ 機械式継手 種類 工法	村料 ・鉄筋コンクリート用 棒鋼 ・ () ・鉄筋コンクリート用 棒鋼(異形鉄筋)	材種 ・ R235 ・ () ・ ()	・ 6Φ ・ 9Φ ・()	スパイラルの径 (mm) () スパイラルのピッチ (mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 ()	・図示 (図面番号:)
	(現場打ち鉄筋コンク リート壁の増設工事 及び鉄骨ブレースの 設置工事等) 8 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 9 鉄筋の機械式継 手及び溶接継手	割裂補強筋の適所 種類 ・スパイラル筋 ・はしご筋 ・ 機械式継手 種類 工法 修正方法	刊 材料 ・鉄筋コンクリート用 棒鋼 ・ () ・鉄筋コンクリート用 棒鋼(異形鉄筋) ・ ()	材種 ・ R235 ・ () ・ ()	・ 6Φ ・ 9Φ ・()	スパイラルの径 (mm) () スパイラルのピッチ (mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 ()	・図示 (図面番号:)
	(現場打ち鉄筋コンク リート壁の増設工事 及び鉄骨ブレースの 設置工事等) 8 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 9 鉄筋の機械式継 手及び溶接継手 (8.4.2)	割裂補強筋の適用 種類 ・スパイラル筋 ・はしご筋 ・ 機械式継手 種類 工法	刊 材料 ・鉄筋コンクリート用 棒鋼 ・ () ・鉄筋コンクリート用 棒鋼(異形鉄筋) ・ ()	材種 ・ R235 ・ () ・ ()	 6Φ 9Φ () 10 () 品質の確認 鉄筋相互の 品質の確認	スパイラルの径 (mm) () スパイラルのピッチ (mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 ()	・図示 (図面番号:)
9	(現場打ち鉄筋コンク リート壁の増設工事 及び鉄骨ブレースの 設置工事等) 8 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 9 鉄筋の機械式継 手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3)	割裂補強筋の適所 種類 ・スパイラル筋 ・はしご筋 ・ 機械式 種類法 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	利料 ・鉄筋コンクリート用 棒鋼 ・ () ・鉄筋コンクリート用 棒鋼(異形鉄筋) ・ ()	材種 ・ R235 ・ () ・ ()	 6Φ 9Φ () 10 () 品質の確認 鉄筋相互の 品質の確認	スパイラルの径(mm) () スパイラルのピッチ(mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 () のあき () のあき () のあき ()	・図示 (図面番号:)
8 の	(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事等) 8 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 9 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3)	割裂補強筋の適所 種類 ・スパイラル筋 ・はしご筋 ・ 機械式 種類 工法 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	利料 ・鉄筋コンクリート用 棒鋼 ・ () ・鉄筋コンクリート用 棒鋼(異形鉄筋) ・ ()	材種 ・ R235 ・ () ・ ()	 6Φ 9Φ () 10 () 品質の確認 鉄筋相互の 品質の確認	スパイラルの径(mm) () スパイラルのピッチ(mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 () のあき () のあき () のあき ()	・図示 (図面番号:)
$\boldsymbol{\Phi}$	(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事等) 8 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 9 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3) (コンクリートエ事ー般事 コンクリートの種類及び強度	割裂補強筋の適所 ・スパイラル筋 ・はしご筋 ・はしご筋 ・ 機械式 ・機種工修 ・溶工修 ・溶工修 ・ 溶工修 ・ コンクリー ・ 通コ ・ 通コ ・ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	利料 ・鉄筋コンクリート用 棒鋼 ・ () ・鉄筋コンクリート用 棒鋼(異形鉄筋) ・ () () () () () () ()	材種	 6Φ 9Φ () ・ 10 () 品質の確認 鉄筋相互の 鉄筋相互の 鉄筋相互の	スパイラルの径(mm) () スパイラルのピッチ(mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 () のあき () のあき () のあき ()	・図示 (図面番号:)
の	(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事等) 8 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 9 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3)	割裂補強筋の適所 種類 ・スパイラル筋 ・はしご筋 ・はしご筋 ・ 機種類法正 を溶エ修 ・溶エ修 ・溶工を ・ 溶工 ・ コンク強度 ・ コンク強度 「N/mm2]	利料 ・鉄筋コンクリート用 棒鋼 ・ () ・鉄筋コンクリート用 棒鋼(異形鉄筋) ・ () () () () () () を が が が が が が が が が が が が が が が が が が	材種	 6Φ 9Φ () 10 () 品質の確認 鉄筋相互の 品質の確認	スパイラルの径(mm) () スパイラルのピッチ(mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 () のあき () のあき () のあき ()	・図示 (図面番号:)
の 4	(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設エ事等) 8 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 9 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3) (コンクリートエ事ー般事 コンクリートの種類及び強度 (8.1.3)	割裂補強筋の適所 種類 ・スパイラル筋 ・はしご筋 ・はしご筋 ・機模式 ・溶は ・溶は ・溶は ・溶は ・溶は ・溶は ・溶は ・溶は ・溶は ・溶は	利料 ・鉄筋コンクリート用 棒鋼 ・ () ・鉄筋コンクリート用 棒鋼(異形鉄筋) ・ () () () () () () () () ()			スパイラルの径(mm) () スパイラルのピッチ(mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 () のあき () のあき () のあき ()	・図示 (図面番号:)
の 4 耐	(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設エ事等) 8 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 9 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3) (コンクリートエ事ー般事 コンクリートの種類及び強度 (8.1.3)	割裂補強筋の適所 種類 ・スパイラル筋 ・はしご筋 ・はしご筋 ・ 機種類法 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	用 材料 ・鉄筋コンクリート用 ・() ・鉄筋コンクリート用 ・() () () () () () () () () ()	材種		スパイラルの径(mm) () スパイラルのピッチ(mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 () のあき () のあき () のあき ()	・図示 (図面番号:)
の 4 耐震	(現場打ち鉄筋コンク リート壁の増設エスの 設置工事等) 8 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 9 鉄筋の機械式継 手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3) (コンクリートエ事ー 般事コンクリートの 種類及び強度 (8.1.3) (8.1.4)	割裂補強筋の適所 種類 ・スパイラル筋 ・はしご筋 ・はしご筋 ・機類法で を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	利料 ・鉄筋コンクリート用 ・() ・鉄筋コンクリート用 ・棒鋼(異形鉄筋) ・() (()) (()) (()) (()) (()) (()) (()) を別 重別 重別 重別 基礎、土間コン ・の設計基準強度	材種		スパイラルの径(mm) () スパイラルのピッチ(mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 () のあき () のあき () のあき ()	・図示 (図面番号:)
の4 耐震改修工	(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事等) 8 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 9 鉄筋の機械式継手 (8.4.2) (8.4.3) (コンクリートエ事ー般事コンクリートの種類及び強度 (8.1.3) (8.1.4)	割裂補強筋の適所 種類 ・スパイラル筋 ・はしご筋 ・ 機械類 ・ 溶接法 ・ 溶接法 ・ 溶接 ・ 溶接 ・ 溶接 ・ 溶接 ・ 溶接 ・ 溶接 ・ 溶接 ・ 溶接	利料 ・鉄筋コンクリート用 ・ () ・鉄筋コンクリート用 棒鋼(異形鉄筋) ・ () () () () () () () (スパイラルの径 (mm) () スパイラルのピッチ (mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 () のあま () のあき () mm	・図示 (図面番号:)
の4 耐震改修	(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事等) 8 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 9 鉄筋の機械式継手 (8.4.2) (8.4.3) (コンクリートエ事ー般事コンクリートの種類及び強度 (8.1.3) (8.1.4)	割裂補強筋の適所 種類 ・スパイラル筋 ・はしご筋 ・ 機械類 ・ 溶接 ・ 溶接 ・ 溶接 ・ 溶接 ・ 溶接 ・ 溶接 ・ 溶接 ・ 溶 ・ に ・ 溶 ・ に ・ 溶 ・ に ・ 溶 ・ に ・ 溶 ・ に ・ の ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に	利料 ・鉄筋コンクリート用 ・() ・鉄筋コンクリート用 棒鋼() ・鉄筋コンクリート用 棒鋼()) ((スパイラルの径 (mm) () スパイラルのピッチ (mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 () のあま () のあき () mm	・図示 (図面番号:)
の4 耐震改修工	(現場打ち鉄筋コンク リート壁の増設エスの 設置工事等) 8 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 9 鉄筋の機械式継 手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3) (1.3) (1.3) (1.4) (1.3) (1.4)	割裂補強筋の適所 種類 ・スパイラル筋 ・はしご筋 ・はしご筋 ・機類類法を ・溶接法 ・溶接法 ・溶接法 ・溶接と ・ の ・ は ・ の ・ は ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の	利料 ・鉄額 ・ (・鉄筋コンクリート用 ・ (・鉄筋(異形鉄所) ・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (スパイラルの径 (mm) () スパイラルのピッチ (mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 () のあま () のあき () mm	・図示 (図面番号:)
の4 耐震改修工事 コン	(現場打ち鉄筋コンクリンク事及が増加している。 (現場打ち鉄筋コンク事及が増加している。 (8. 21. 6) (8. 22. 7) (8. 4. 2) (8. 4. 3) (8. 4. 3) (8. 4. 3) (8. 1. 3) (8. 1. 4) (8. 9. 1) (8. 9. 2) (表8. 9. 1)	割裂補強筋の適所 種類 ・スパイラル筋 ・はしご筋 ・はしご筋 ・機類類法を ・溶接法 ・溶接法 ・溶接法 ・溶接と ・ の ・ は ・ の ・ は ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の	利料 ・鉄飾鋼 ンクリート用 ・ () ・鉄筋コンクリート用 ・ () ・鉄筋(異形鉄筋)・ ()) (スパイラルの径 (mm) () スパイラルのピッチ (mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 () のあま () のあき () mm	・図示 (図面番号:)
の4 耐震改修工事 コンク	(現場打ち鉄筋コンク リート壁の増設エスの 設置工事等) 8 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 9 鉄筋の機械式継 手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3) (8.1.3) (8.1.4) (8.9.1) (8.9.2) (表8.9.1)	割裂補強筋の適所	利料 ・鉄飾鋼 ンクリート用 ・ () ・鉄筋コンクリート用 ・ () ・鉄筋(異形鉄筋)・ ()) (スパイラルの径 (mm) () スパイラルのピッチ (mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 () のあま () のあき () mm	・図示 (図面番号:)
の4 耐震改修工事 コン	(現場打ち鉄筋コンク事及と (現場打ち鉄筋 コンク事及と (現場下・) (表記・) (コンクリート)	割裂補強類 ・スパイラル筋 ・ 機種工修 溶工修 溶工修 か ・ 強強			 6Φ 9Φ () 10 () 高数筋 質筋 の相互の の相互の の相互の の相互の がまます。 スラ 15 気乾積 質量 	スパイラルの径 (mm) () スパイラルのピッチ (mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 () のあま () のあき () mm	・図示 (図面番号:)
の4 耐震改修工事 コンク	(現場打ち鉄筋 コンク事及 1 1 2 2 1 3 1 4 2 1 3 1 4	割裂補種類 - スパイラル筋 - ・は			 6Φ 9Φ () 10 () 高質筋 の相互の 3 3 5 6 6 7 8 8 9 0 0	スパイラルの径 (mm) () スパイラルのピッチ (mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 () のあま () のあき () mm	・図示 (図面番号:)
の4 耐震改修工事 コンクリー	(現場打ち鉄筋 コンク事及と 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	割裂補種類 - スパイラル筋 - ・は			 6Φ 9Φ () 10 () 高質筋 の相互の 3 3 5 6 6 7 8 8 9 0 0	スパイラルの径 (mm) () スパイラルのピッチ (mm) () 壁内方向筋 () 壁面外方向筋 () のあま () のあき () mm	・図示 (図面番号:)

	1		
④ 混和材料 (8.2.5)	I .	中のアルカリ総量を規制) 3 骨材を使用) い場合は、Aとし、その試験は、施工着手前。 試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会い。 を行うこと。 ず細骨材 オ	、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信 のもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤー
⑤ 調合管理強度 (8.2.5) (8.8.3) (8.10.2)	構造体強度補正値 (S) • 3 N/mm2		
⑥ 型枠 (8.2.7) (8.7.8)	材料 ・ 複合合板 (厚さ・・ スリーブ ・ 改修標準仕様書(8.2. ・ 改修標準仕様書(8.2. ・ 材種 ()	7) (g) (2) (i) による	
7 暑中コンクリー ト (8.10.2)	構造体強度補正値(S))	
8 無筋コンクリー ト (8.11.1)	構造体強度補正値(S) ・ 18N/mm2 ・ (スランプ ・ 15cm ・18cm	· ()	
 (現場打ち鉄筋コンク	部位別のコンクリートの打設	工法の指定	
リート壁の増設工事 、溶接金網巻き工法 及び溶接閉鎖フープ 巻き工法) 9 コンクリートの 打込み工法等 (8.21.8)	補強工法 現場打ち鉄筋コンクリート壁	打設工法 ・流込み工法 改修標準仕様書 (8. 21. 8) (a) (1) 及び(b) ・圧入工法 改修標準仕様書 (8. 21. 8) (a) (2) 及び(c)	部位 ・全ての増設壁 ・図示 (図面番号:) ・ () ・全ての増設壁 ・図示 (図面番号:) ・ ()
(8. 23. 5)	の増設工事	・工法指定なし・()・流込み工法	・全ての増設壁 ・図示(図面番号:) ・図示(図面番号:) ・() ・全ての増設壁
	鉄筋コンクリート柱の溶接金	改修標準仕様書 (8. 21. 8) (a) (1) 及び(b) ・圧入工法 改修標準仕様書 (8. 21. 8) (a) (2) 及び(c)	・図示(図面番号:) ・全ての増設壁) ・図示(図面番号:)
	網巻き工法及び溶接閉鎖フー プ巻き工法	・工法指定なし ・ ()	・ () ・全ての増設壁 ・図示 (図面番号:) ・ () ・図示 (図面番号:)
(8. 23. 6)	柱頭柱脚の隙間部間の型枠		
	・ 発泡プラスチック保温 ・ () 柱頭柱脚の隙間寸法 ・ 図示(図面番号:	は材等を埋込む)	
10 世訊駐丁惠後の) • 60mm • ()	
1 0 増設壁工事後の 仕上げ (8.21.10) (8.23.7)) 图示(図面番号:		

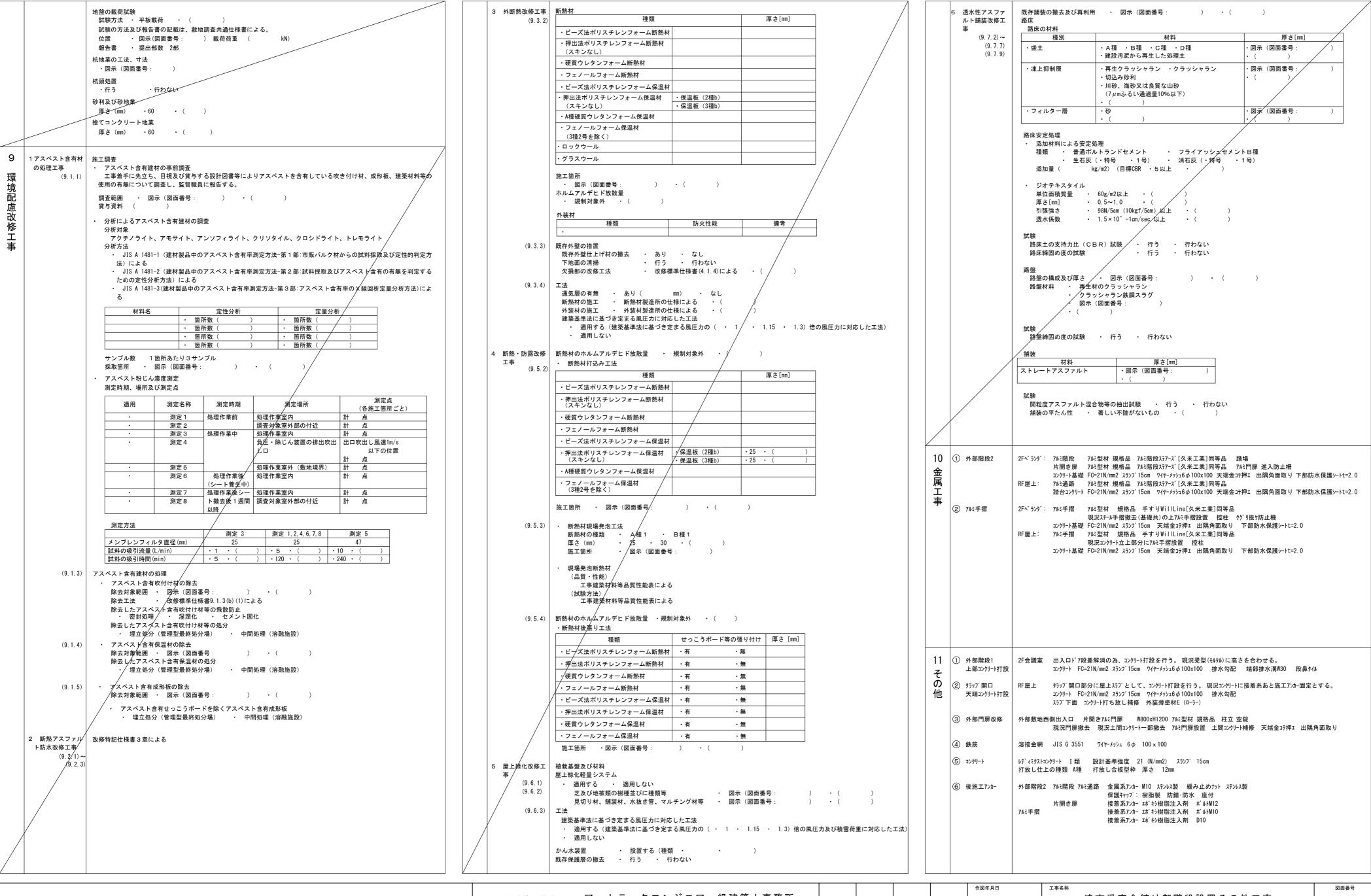
のはなしまなで、 マートニックエンジョマー 処み第十 東政武			作図年月日 	エサームボ 油土平中人給は如此の乳架でのルエ市	図面番号	
- 級建築±事務所 アートテックエンジニアー級建築士事務所				津市愛宕会館外部階段設置その他工事		
			縮尺	図面名称	A-05	
〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 一級建築士登録第195780号 TEL (059) 222-0534 FAX (059) 222-0544 三重県登録第1-1283号 笹原 寛				特記仕様書−5	(原図A2)	



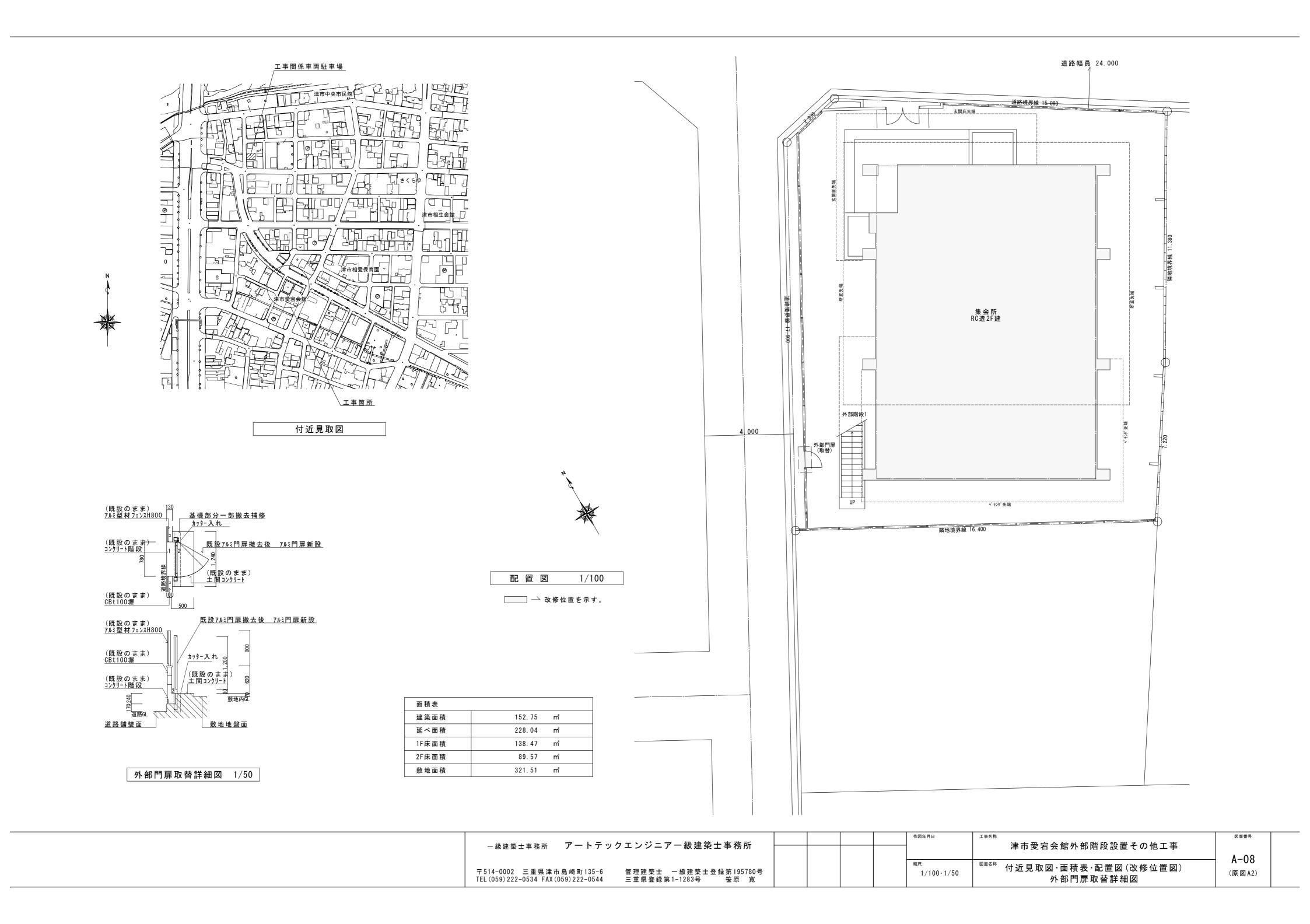


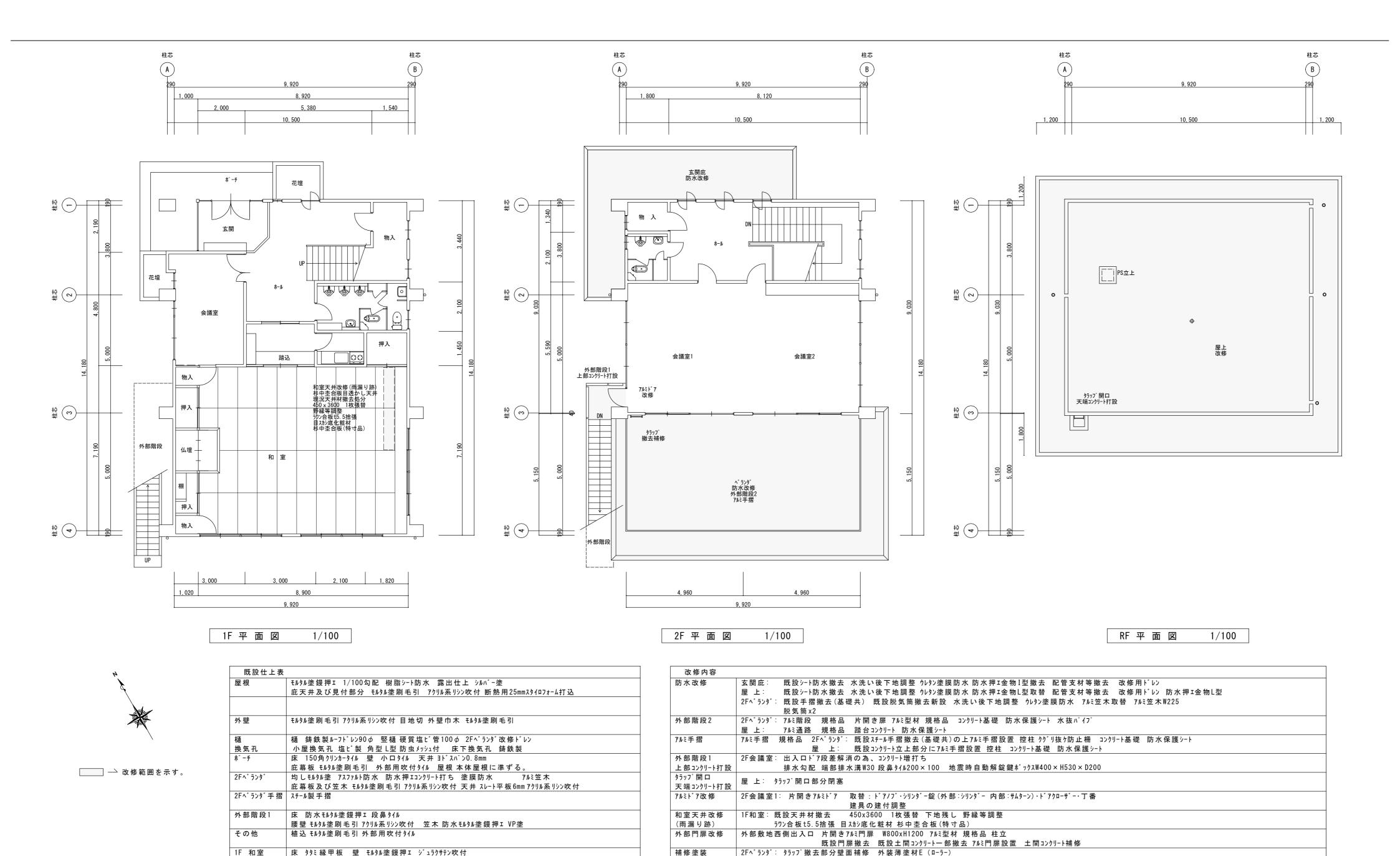
8	(耐震スリット新設工	付着強度試験
の 9	事)	実施する (JIS A6909に準拠する)試験数量 ()
	1 スリットの種類 (8.25.1)	- 中性 1 かい
耐震補強工事	(8. 25. 2)	耐震スリットの種類及び形状
展補		完全スリットの形状
強		一般型 一面せん断型 一面せん断型 1記号
エ		形状
*		. ()
ス		既存鉄筋の処理 ・既存鉄筋はつり出し ・切断してよい
リッ		
 		部分スリットの形状
新設工事		片側スリット 両面スリット 両面スリット
取 工		形状 ・ 図示(図面番号:) ・ 図示(図面番号:)
事		幅W (mm)
伍		目地部の残存厚さ ・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ts (mm) ・ ()
免震改修工		既存鉄筋の処理 ・ 存置する ・ 存置する
改		
1珍 丁		
事	2 スリットの施工	スリット部の配管等の調査
		範囲 ・ スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去範囲全て。
		- 図示(図面番号:) - ・ ()
		方法 ・ 鉄筋探査機(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
		スリットの逃げ位置 壁上端部 ・ 梁との接合部 ・ ()
		型工物が ・ 栄との接合部 ・ () 壁の粧きわ部 ・ 柱の仕上げを逃げたきわ部 ・ ()
		撃 大端部 ・ 床仕上げ上部 ・ 床体上部 ・ ()
		撤去部の補修
		・ 図示(図面番号:) 充填材
		・ 耐火材 使用箇所 () 仕様 ()
		· 遮音材 使用箇所 () 仕様 ()
	(8. 26. 1) ~ (8. 26. 17)	免震改修、制震改修に関する仕様は、図示する。
	(8. 20. 17)	
8	1 基礎工事	既存杭の撤去
の 1	(8. 28. 2) (8. 28. 3)	・ 図示(図面番号:) 埋戻し及び盛土の材料及び工法
ó		· A種 · B種 · C種 · D種
7		建設発生土の処理
その		・自由処分 ・処分地指定 処分地 ()
他		・処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km
工事		山留めの撤去
尹		・撤去 ・存置
	2 地業工事	杭の施工監理
	(8. 28. 4)	杭工事特記仕様書による。
		適用基準
		本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。 国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」(平成28年3月4日)
		施工記録
		受注者は、杭の施工期間中は、1 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、
		工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、 必ず監督員の確認を受けること。
		なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、
		施工計画書に明記しておくこと。
		根拠資料 共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料(施工記録の原本、
		チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等)は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。
		保管期間は契約書第31条第4項又は第5項(第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。)の規定による引渡しを受けた日から10年とする。
		また、発注者から循求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。
		試験杭及び試験掘
		・ 試験杭 位置、本数及び寸法は図示(図面番号:)による。
		・ 試験掘 位置、本数及び寸法は図示(図面番号:)による。
		杭の支持地盤
		支持地盤の位置、種類 ・ 図示(図面番号:) ・ ()
		水平方向のずれ
		() mm以下
		杭の載荷試験 試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・ ()
		試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
	[位置 ・ 図示(図面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 ・ 提出部数 2部

- 級建築士事務所 アートテックエンジニアー級建築士事務所			作図年月日	T T A A A A A A A A A A A A A A A A A A	図面番号	
-級建築士事務所 アートテックエンジニアー級 建築士事務所				津市愛宕会館外部階段設置その他工事	A-06	
〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 一級建築士登録第195780号			縮尺	│ 図面名称	(原図A2)	
TEL(059)222-0534 FAX(059)222-0544 三重県登録第1-1283号 笹原 寛						



- 級建築士事務所 アートテックエンジニアー級建築士事務所 津市愛宕会館外部階段設置その他工事 A-07
〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 - 級建築士登録第195780号 TEL (059) 222-0534 FAX (059) 222-0544 三重県登録第1-1283号 笹原 寛 (原図A2)





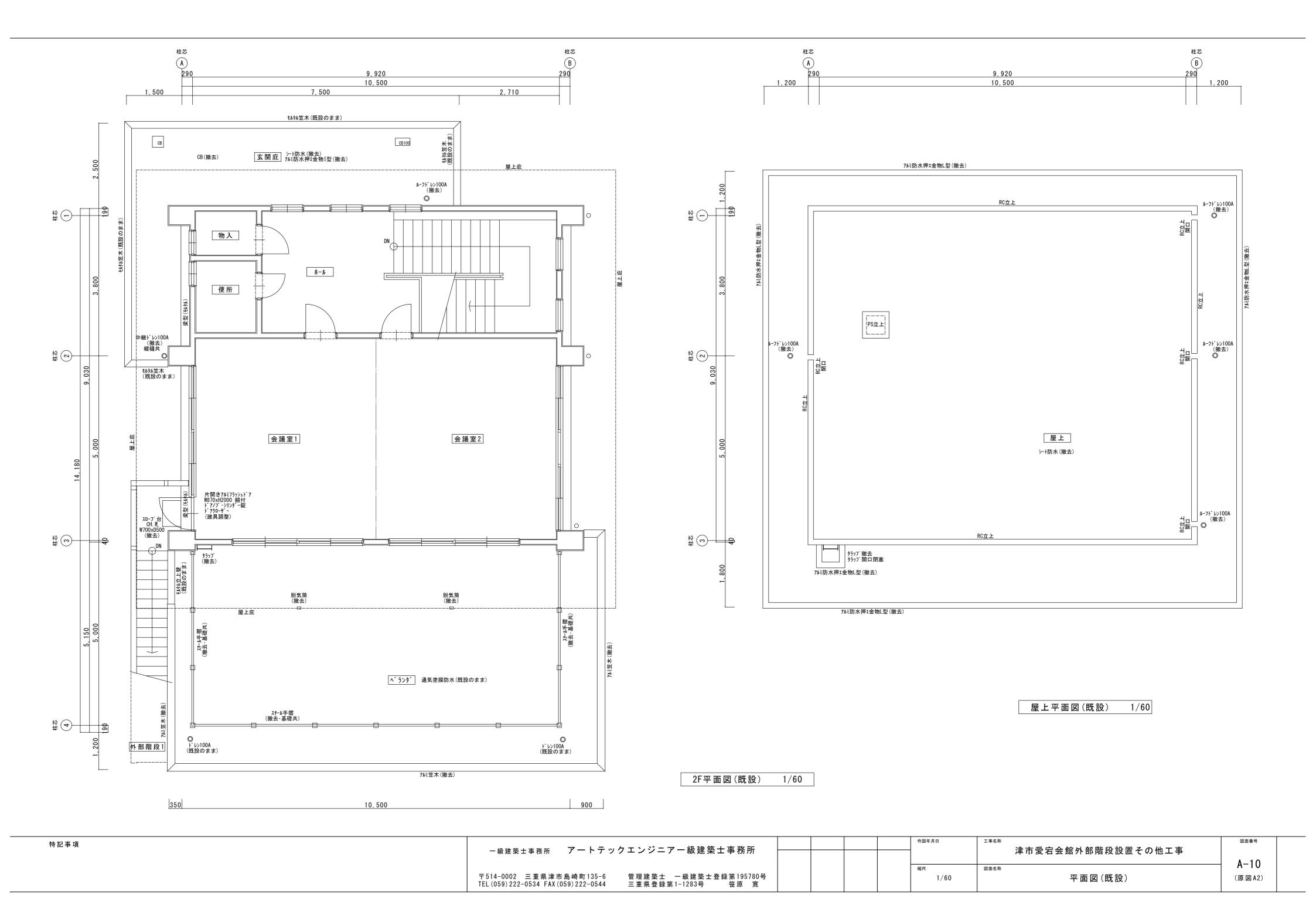
特記事項			1	作図年月日	工事名称		図面番号	
1) IL 7 X	│ _{一級建築士事務所} アートテックエンジニアー級建築士事務所					津市愛宕会館外部階段設置その他工事		
		1 1				产业交往公司 / 邮格权依置() 他工 于		
		1 1 1	<u> </u>	4 5			A-09	
		1 1 1	1	稲尺	図面名称	,	1	
	〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 一級建築士登録第195780号	1 1		1/100		平面図(改修位置図)・仕上表	(原図A2)	
	TEL (059) 222-0534 FAX (059) 222-0544 三重県登録第1-1283号 笹原 寛							

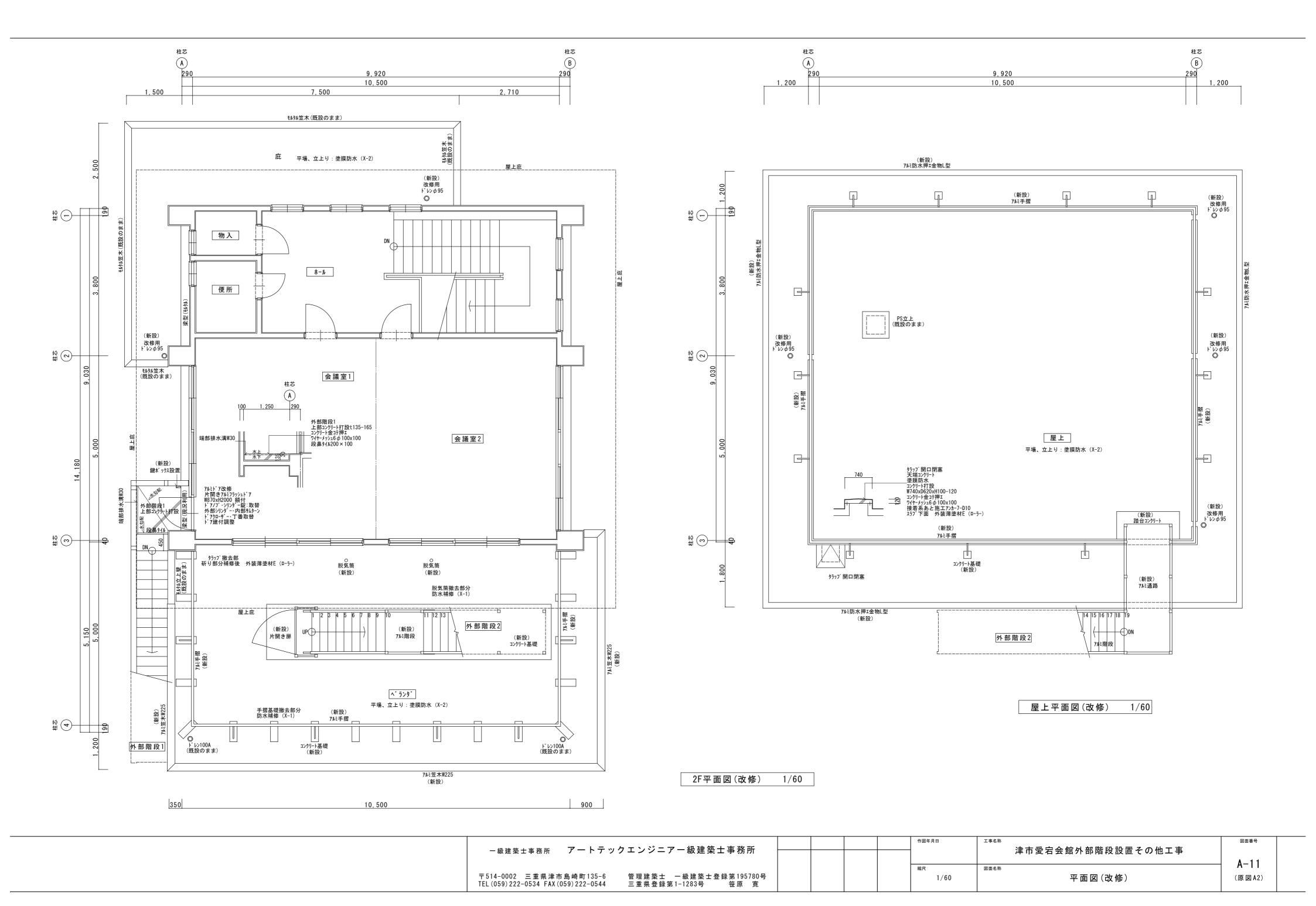
補修塗装

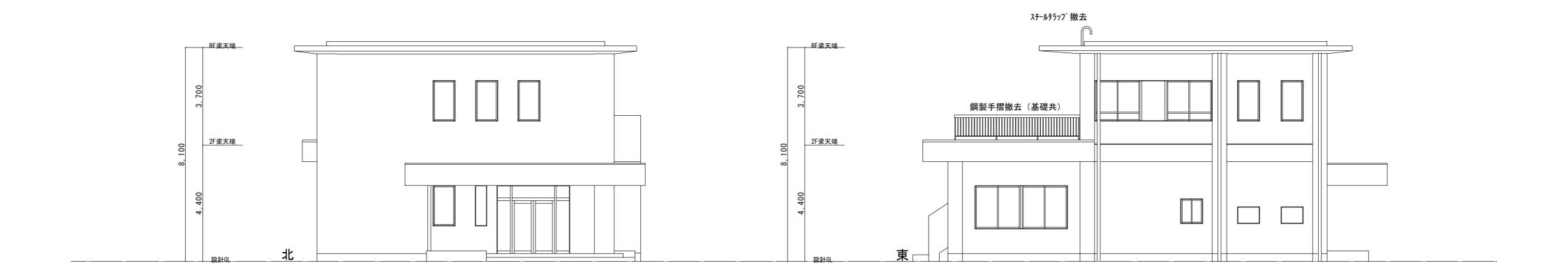
天井 杉貼杢合板目スカシ張 中央竿縁

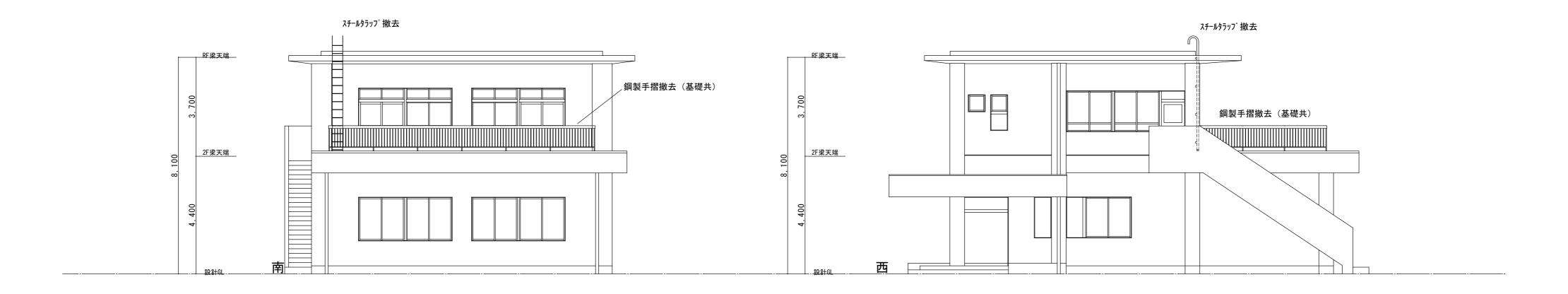
2Fベランダ: タラップ撤去部分壁面補修 外装薄塗材E (ローラー)

RF屋上: タラップ開口 天端コンクリート スラブ下面 コンクリート打ち放し補修 外装薄塗材E (ローラー)



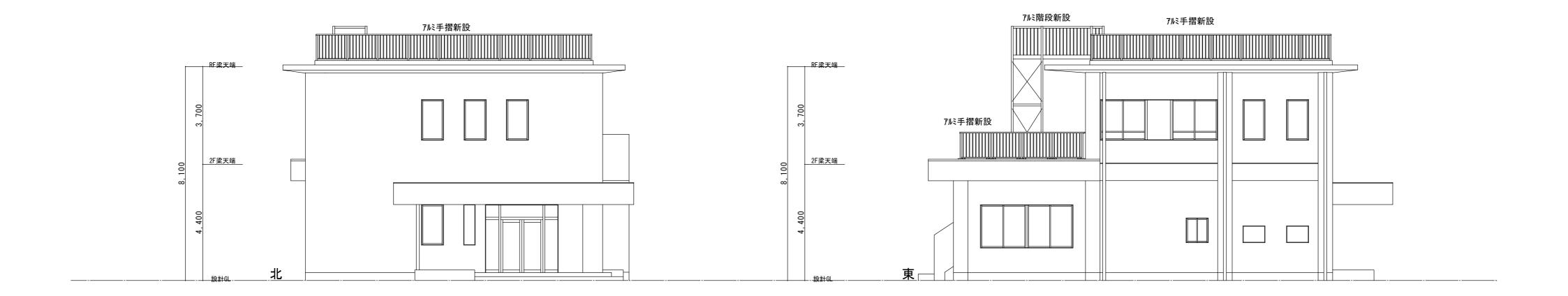


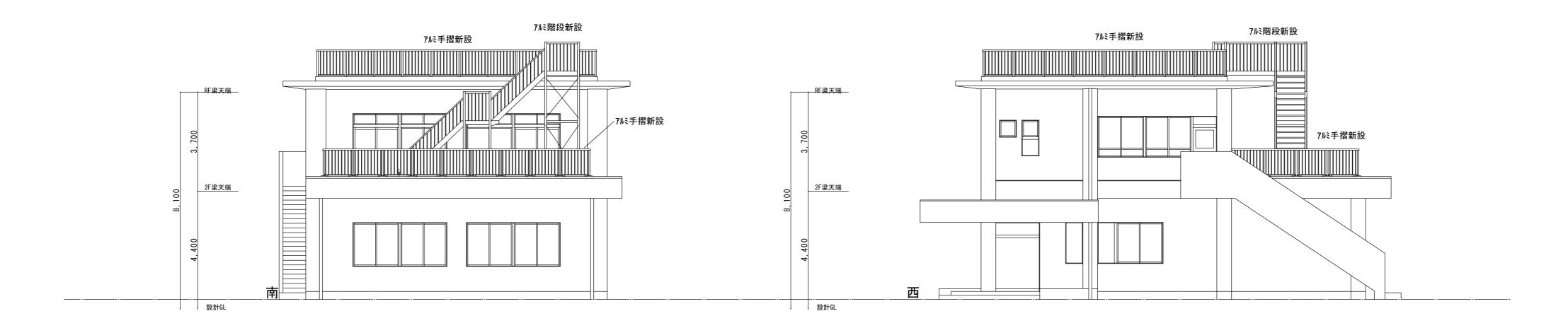




立面図(既設) 1/100

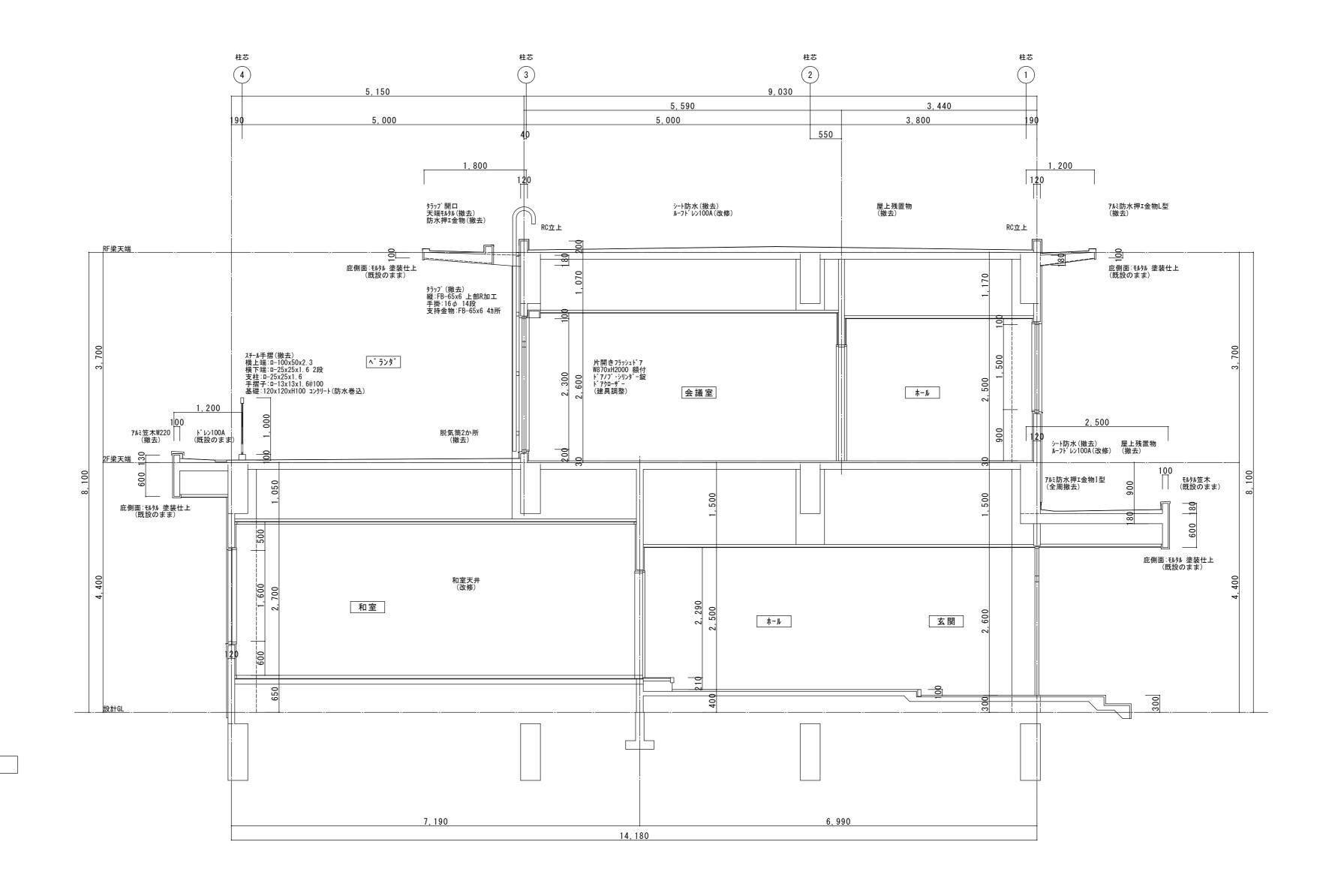
- 級建築士事務所 アートテックエンジニアー級建築士事務所		作図年月日	津市愛宕会館外部階段設置その他工事	図面番号
〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 一級建築士登録第195780号 TEL(059)222-0534 FAX(059)222-0544 三重県登録第1-1283号 笹原 寛		縮尺 1/100	立面図(現況)	─



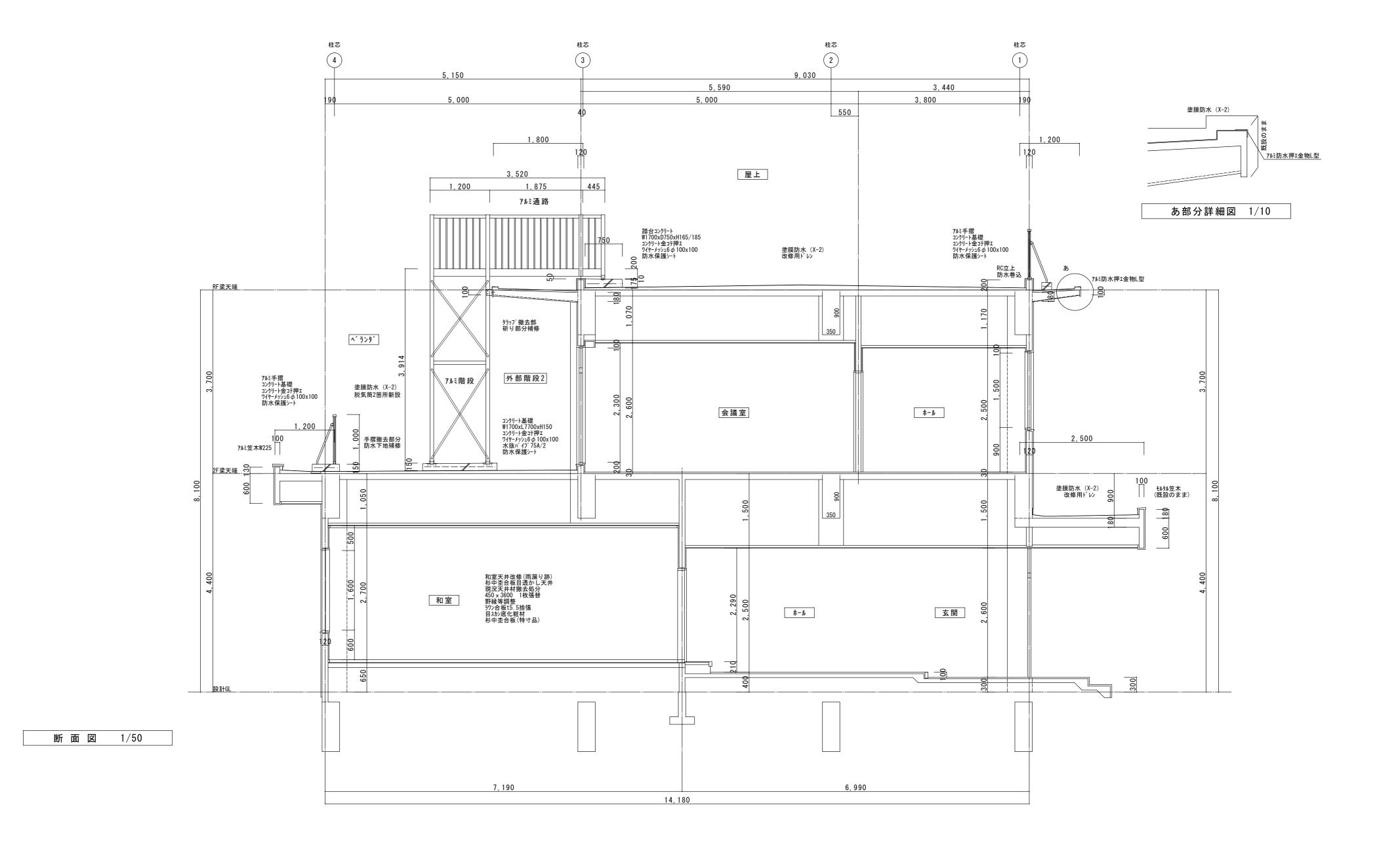


立面図(改修) 1/100

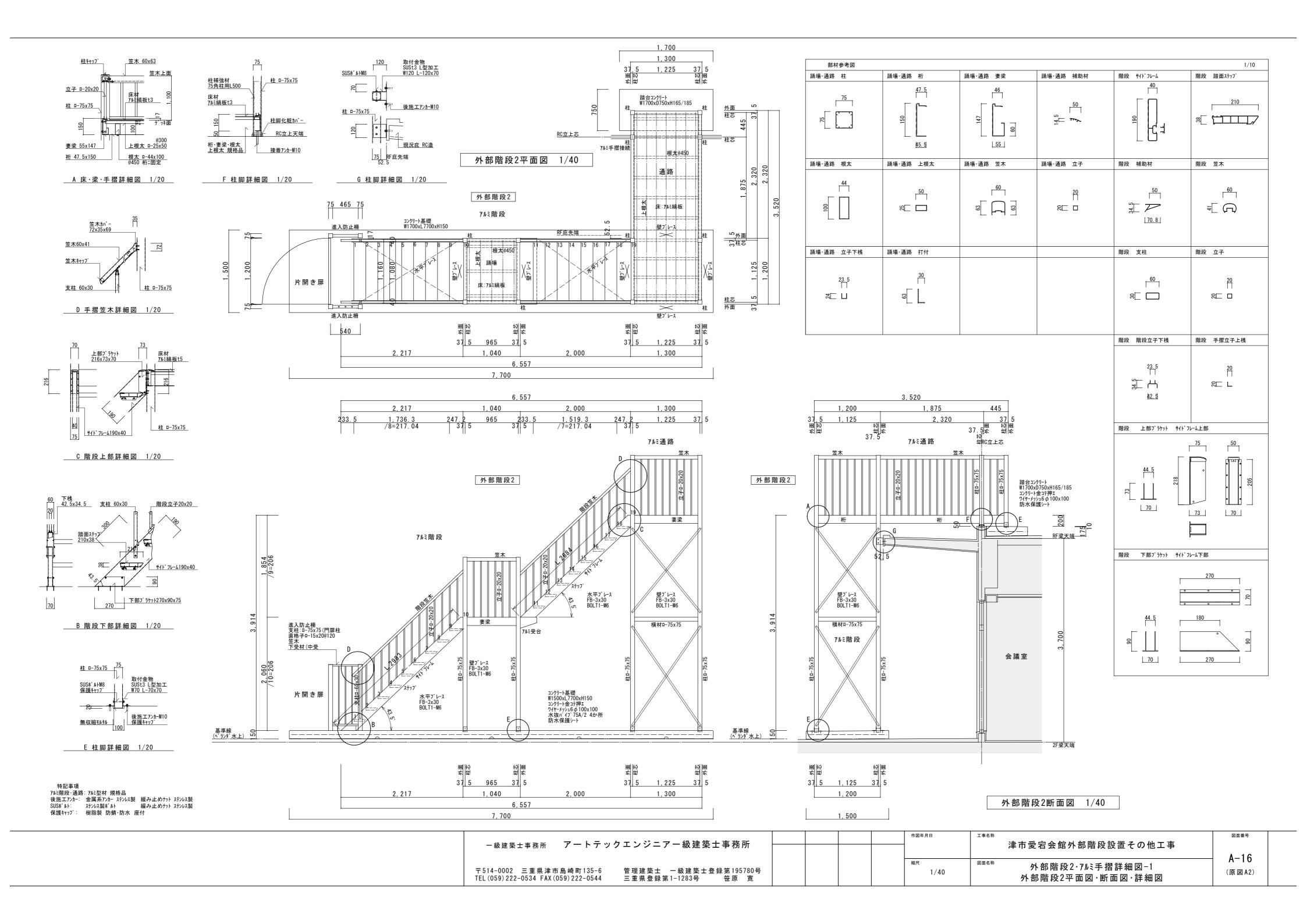
- 級建築士事務所 アートテックエンジニアー級建築士事務所		作図年月日	ェ _{車名称} 津市愛宕会館外部階段設置その他工事	図面番号	
〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 一級建築士登録第195780号 TEL (059) 222-0534 FAX (059) 222-0544 三重県登録第1-1283号 笹原 寛		縮尺 1/100	立面図(改修)	A-13 (原図A2)	

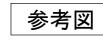


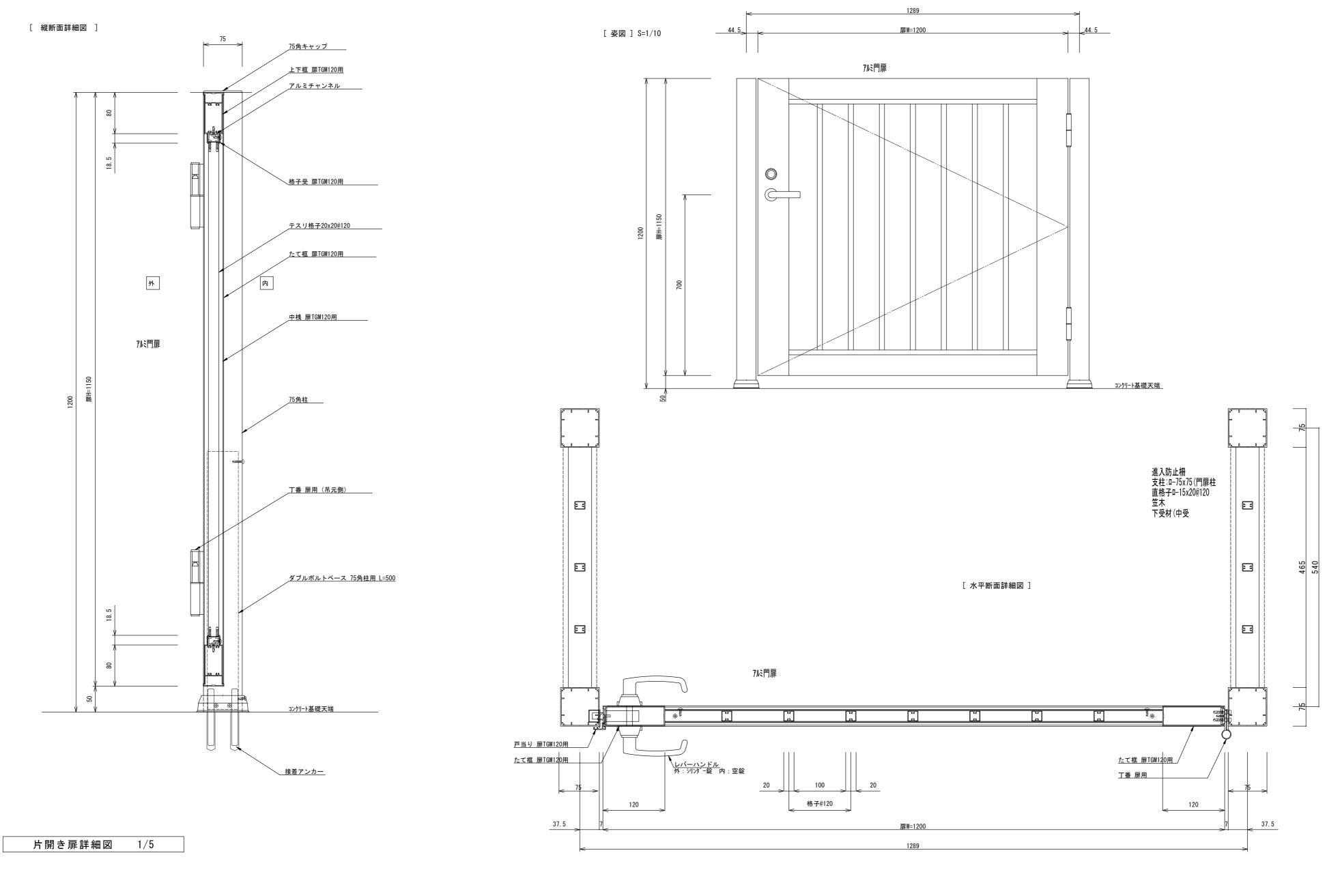
断 面 図 1/50



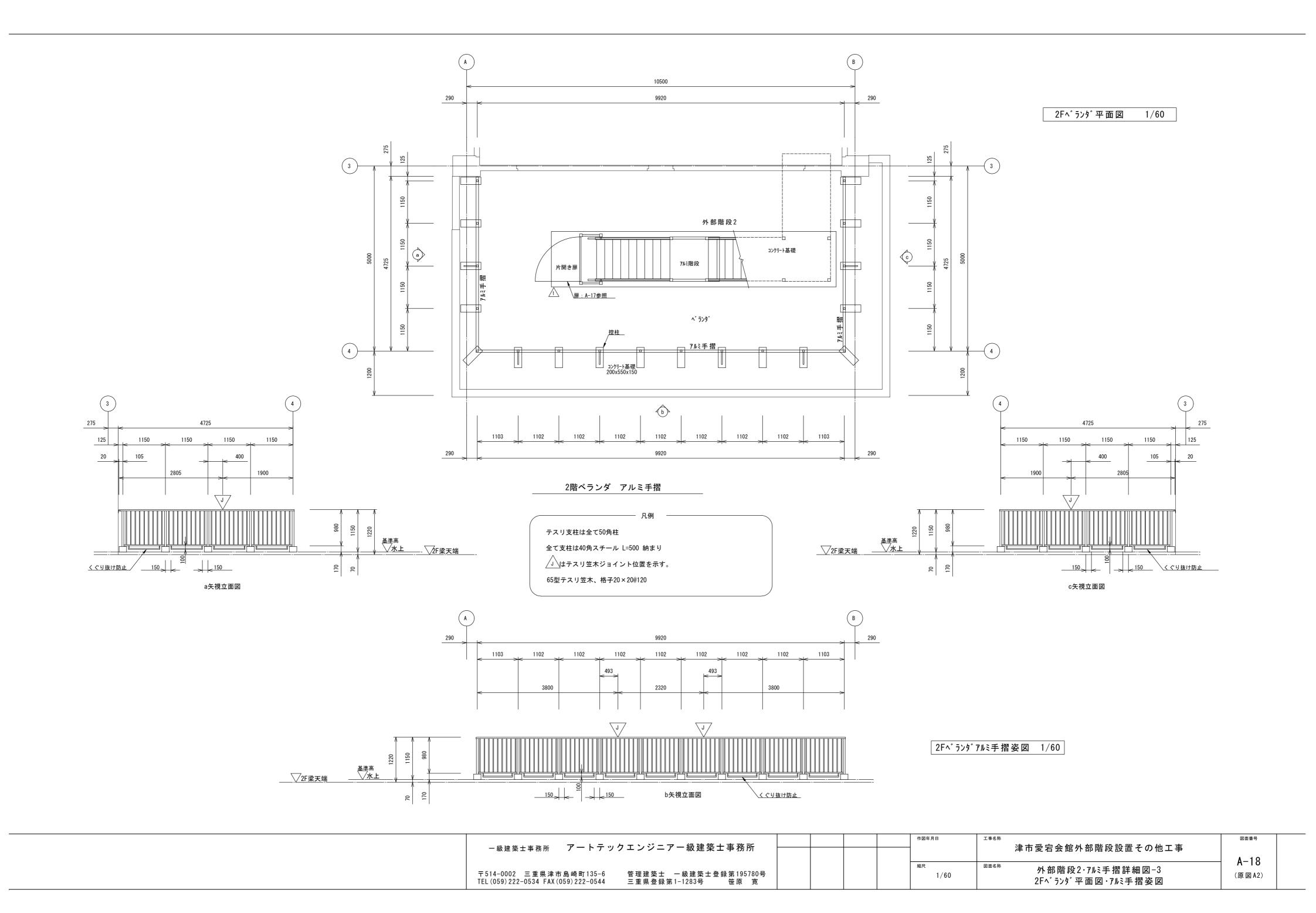
—————————————————————————————————————	- 級建築士事務所 アートテックエンジニアー級建築士事務所		作図年月日	津市愛宕会館外部階段設置その他工事	図面番号
	〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 一級建築士登録第195780号 TEL (059) 222-0534 FAX (059) 222-0544 三重県登録第1-1283号 笹原 寛		縮尺 1/50	断面図(改修)	- A -15 (原図A2)

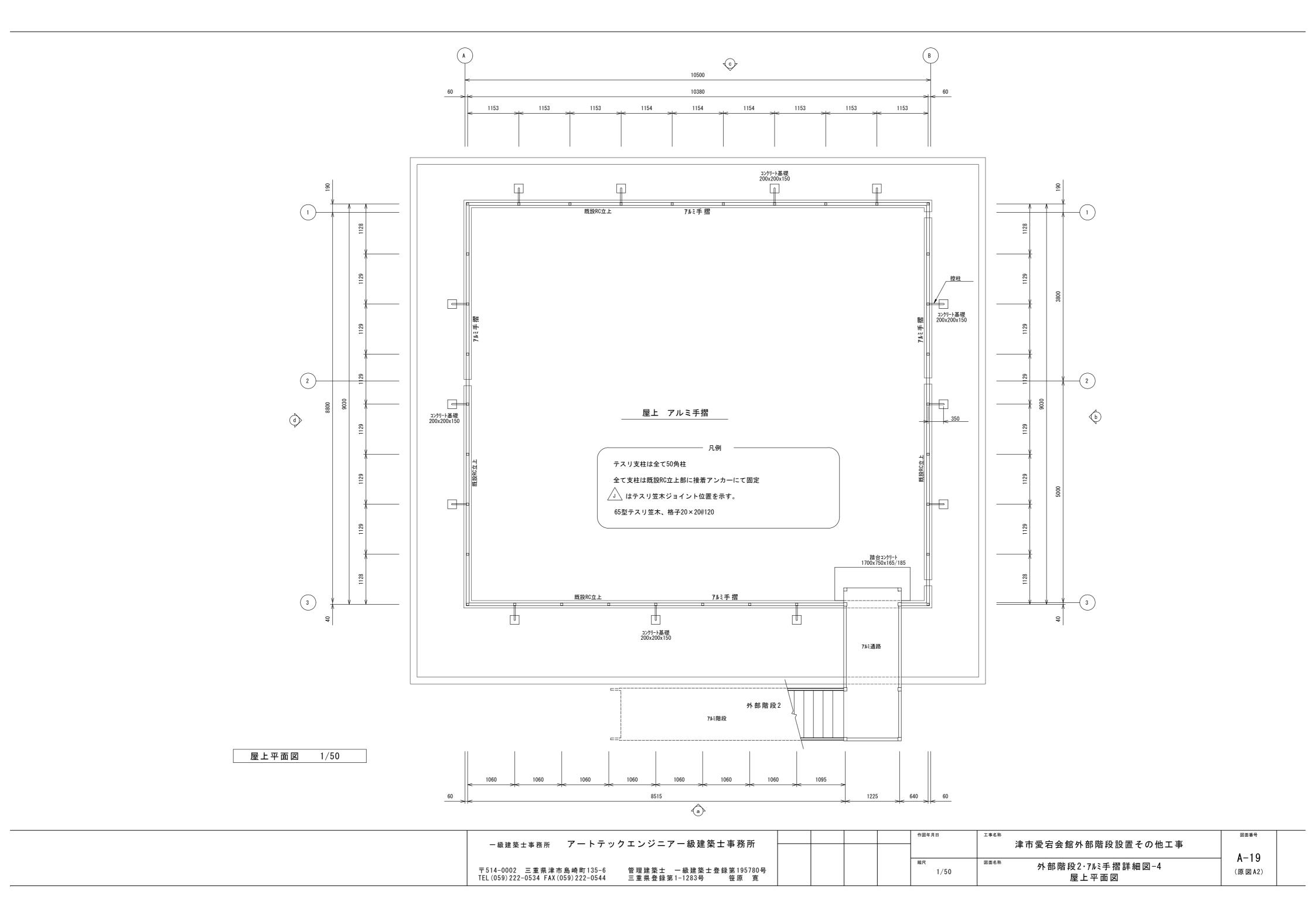


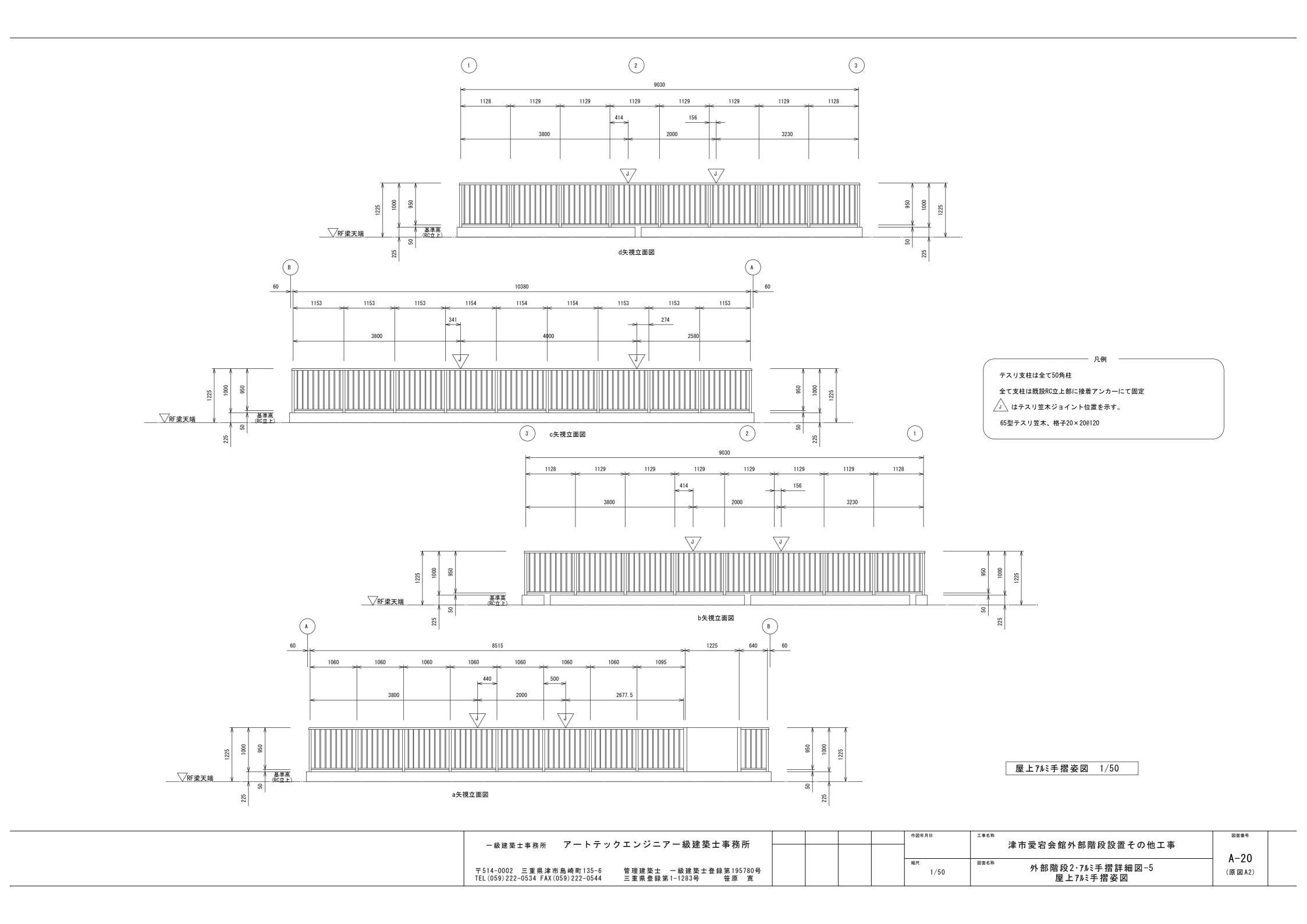




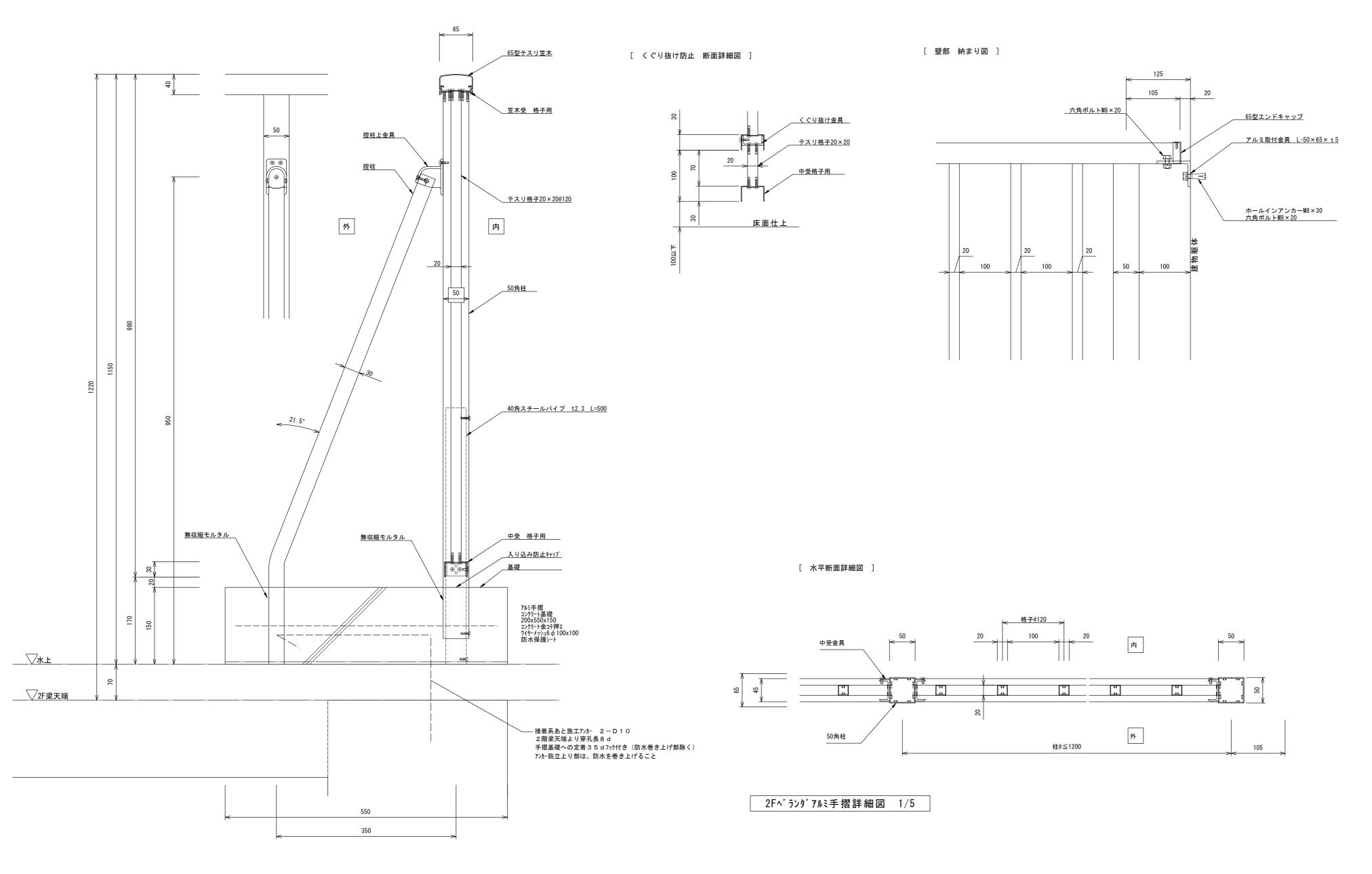
│ │ _{一級建築士事務所} アートテックエンジニアー級建築士事務所			作図年月日	^{工事名称} 津市愛宕会館外部階段設置その他工事	図面番号
〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 一級建築士登録第195780号 TEL (059) 222-0534 FAX (059) 222-0544 三重県登録第1-1283号 笹原 寛		_	縮尺 1/5	^{図面名称} 外部階段2·アルミ手摺詳細図-2 外部階段2片開き扉詳細図	A-17 (原図A2)





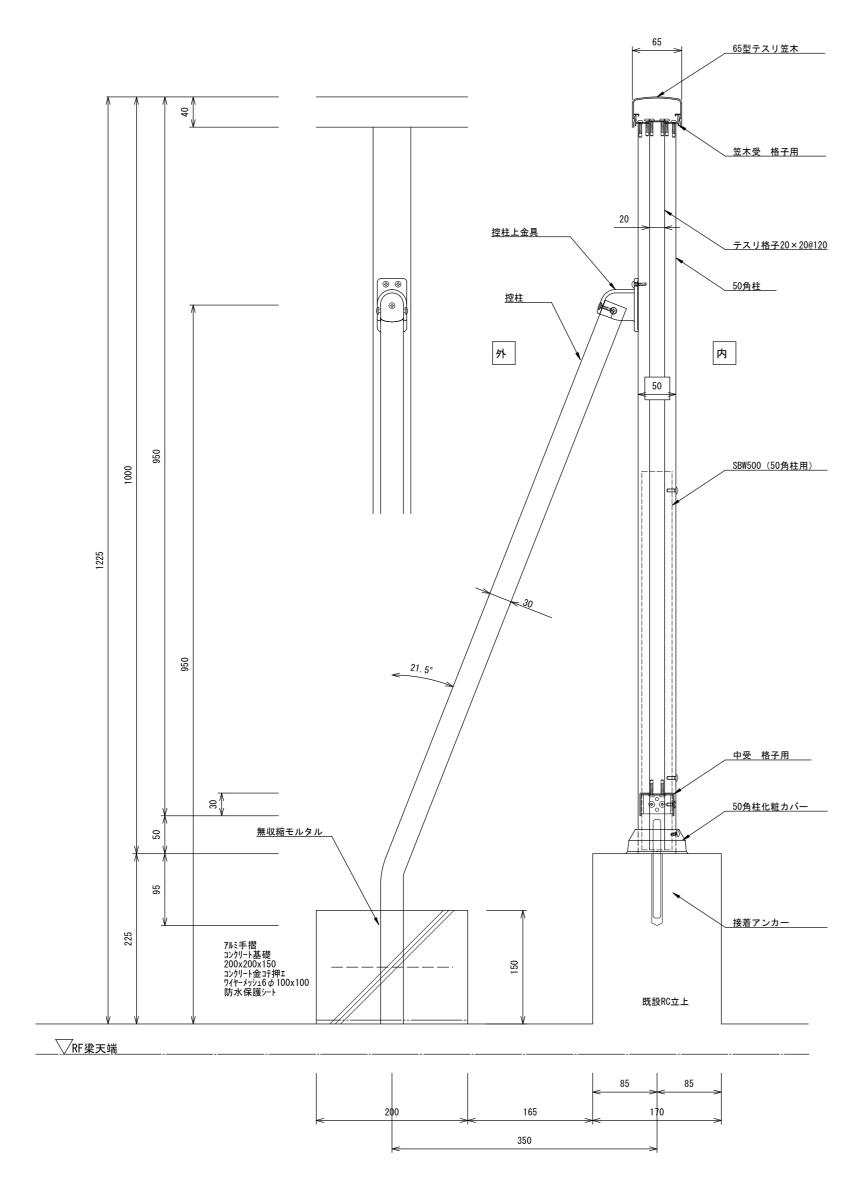


[縦断面詳細図]



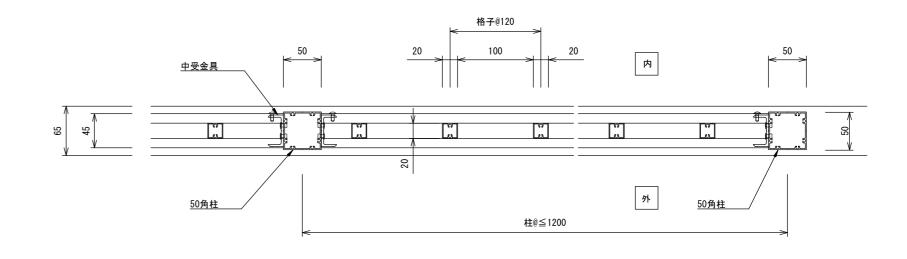
- 級建築士事務所 アートテックエンジニアー級建築士事務所		作図年月日	^{工事名称} 津市愛宕会館外部階段設置その他工事	図面番号
〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 一級建築士登録第195780号 TEL(059)222-0534 FAX(059)222-0544 三重県登録第1-1283号 笹原 寛		縮尺 1/5	^{図面名称} 外部階段2·アルミ手摺詳細図−6 2Fベランダアルミ手摺詳細図	A−21 (原図A2)

[縱断面詳細図]

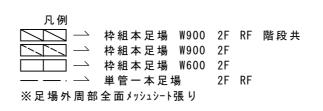


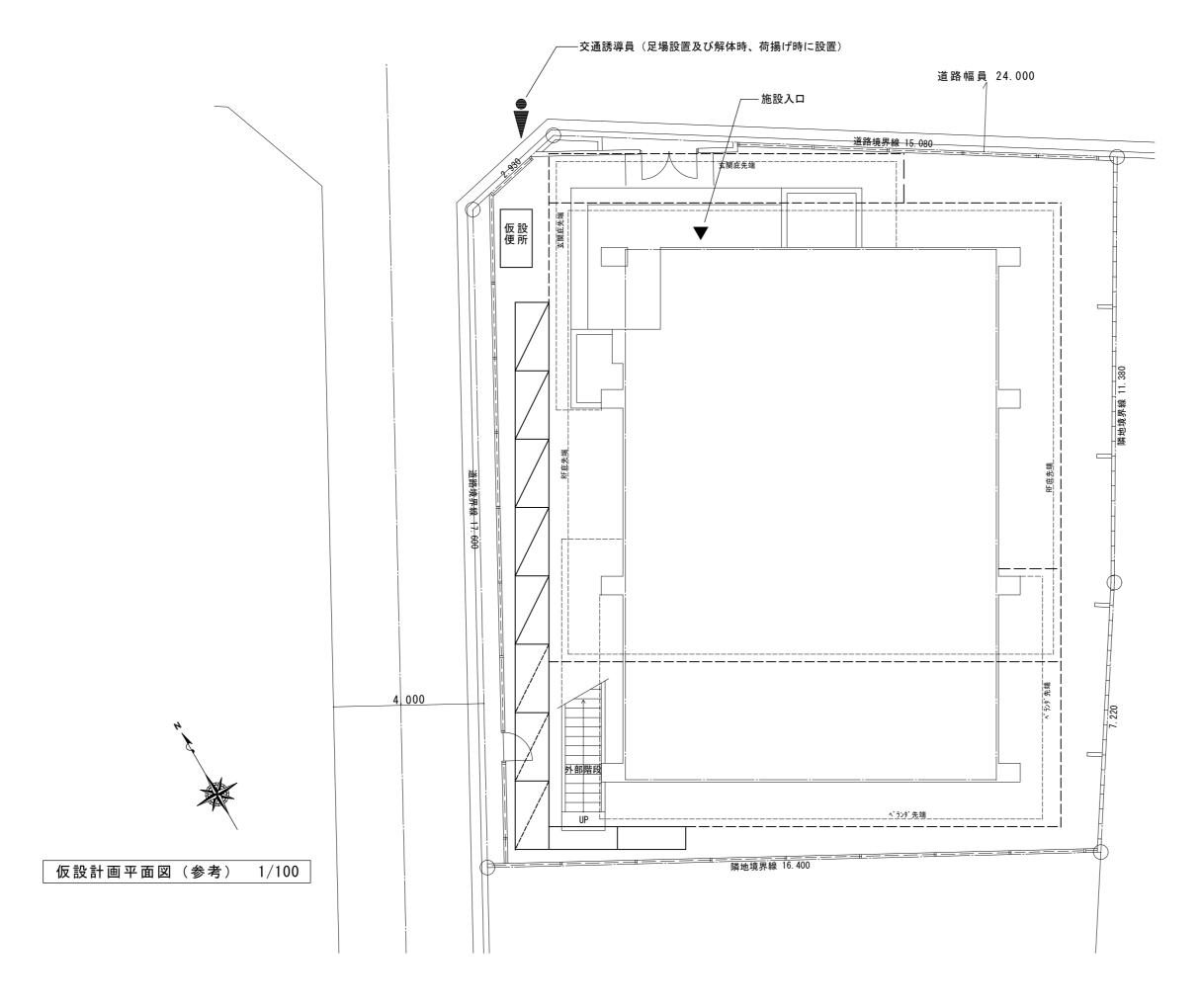
RF屋上アルミ手摺詳細図 1/5

[水平断面詳細図]



- 級建築士事務所 アートテックエンジニアー級建築士事務所		作図年月日	T 事名称 油 士 禹 宁 仝 紵 別 如 昳 仍 乳 実 ス の 仲 T 車	図面番号
ー級建築士事務所 アートテックエンジニアー級 建築士 事務 所			津市愛宕会館外部階段設置その他工事	Δ-22
〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 一級建築士登録第195780号 TEL(059)222-0534 FAX(059)222-0544 三重県登録第1-1283号 笹原 寛		縮尺 1/50	^{図面名称} 外部階段2·7ルミ手摺詳細図−7 屋上7ルミ手摺詳細図	(原図A2)





- 級建築士事務所 アートテックエンジニアー級建築士事務所		作図年月日	_{工事名称} 津市愛宕会館外部階段設置その他工事	図面番号
一般建衆工事務所 アード アクエンノーア 一般 建 未 工 事 物 内		縮尺	神川変石云師が即陷技改直での他工事 図m2Aħ	A-23
〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 一級建築士登録第195780号 TEL(059)222-0534 FAX(059)222-0544 三重県登録第1-1283号 笹原 寛		1/100	外部仮設計画図(参考)	(原図A2)

ā設備工事特記仕様書					Ⅱ. 共通仕様			1	2. 施工仕様	
					1. 適用	 載されていない事項については下記による。 (最新のものを適用)	20. 発生材の処理等	(1)引き渡しを要するもの ()	下記の該当する項目を通	適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。 T
工事概要 1. 工事名称 津市愛宕会館外部	『階段設置その他工事				国土交通省大臣官房官			上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。 (2)特別管理産業廃棄物	項 目	特 記 事 項
2. 工事場所 津市 愛宕町 地	也内				国土交通省大臣官房官			・変圧器 ・コンデンサ ・その他 ()	1. 既設設備等の調査	既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着工前に充分な調査 を行うこと。
					国土交通省国土技術政	(策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修「建築設備耐震設計・施工指針」 基準を定める省令(電気設備技術基準)		現場内の監督員の指定する場所へ保管するものとする。 なお施工に際して、PCB等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合は、監督員に報告し	1	(1)地中埋設管路 1)項 目 ・埋設配管 ・構造物 ・その他 ()
				用途区分	・電気工事業の業務の適 ・電気工事士法			対応を協議するものとする。 (3) 現場内において再利用を図るもの	1	2)調査範囲 ・埋設ルート ・その他 ((2)貫通及びはつり
建物概要	構	造	延べ面積(m)	消防法施行令別表第一	・労働安全衛生法	所轄署指導要領を含む。)		・発生士 ・その他 ((A) Tight + Tight + O	1	1)項目・鉄筋・配管・その他(2)調査範囲・施工部分・その他(
本 館	RC	2階	228. 04 m²	(1) 🗆	・電力会社供給約款 ・その他関連法令、関連			(4)再資源化を図るもの ・コンクリート境 ・建設発生木材 (5)発注者へ引き渡すものについては「現場発生品額書」を提出すること。	1	(3) 既設との取合い
								(5) 発注有へ引き返りものについては『現場完生品調書』を提出すること。 また、再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。 (6) 引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2)調査範囲 ・施工部分 ・その他 ()
					2. 一般共通事項 下記の該当する項目を適	I用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。		源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、 監督員に報告すること。 (マニフェストA、B2、D、E票を提示すること。)	2. 施工前の測定等	改修工事にあたっては、工事範囲の既設機器の動作確認及び絶縁測定等を着工前に行い、監督員に報告する こと。
					項目	特 記 事 項	21. 官公署への手続き		3. 耐震施工	(1)想定される地震に対応するものとする。
					1. 一般事項	(1)工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に入念	21. 日五省、00万机区	なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。 ・消防設備関係 ・電気工作物関係 ・受電関係 ・通信関係 ・建設工事関係	. 7477 # #	(2)耐震計算書を監督員に提出するものとする。
計						かつ誠実に施工すること。 (2)設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤 記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することで将来不具合が発生しうる		- その他(4. 耐震基準	(1)適用 耐震措置の計算及び施工方法は、最新版の「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(建設大臣官房 中央機能を終われている。
4. 工事種目		•	(3	延べ面積は建築基準法による表記)		記及び記載編化等に起因する问題無及び疑義、設計図書のとのりに肥工することで将来不具占が完工とする と予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。 なお、設計図書のとおりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講じる	22. 消防法関係の 手続き	(1)消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事) ・別途工事	1	官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針」(独立行政法人建築研究所監修)による。 (2)設計用水平地震力
主な工事種目は、下記の〇印の	ついたものである。					こと。 (3) 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。		(2)防火対象物使用開始届出書 書類の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。	1	(2) 放訂用ハヤ吧辰刀 機器の重量に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用水平震度は次による。
工事種目		エ 事	場所	f		なお、調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工 を行うこと。	23. 工事用仮設物	構内への設置 ・できる (施設管理者と協議) ・できない	1	設計用標準水平震度(Ks)
	本館				2. 施工中の安全確保	低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 (に騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。	24. 工事用電力、水、	(1)本工事に必要な工事用電力、水等の費用は受注者の負担とする。	1	耐震安全性の分類
電力 電灯設備 設備	0				及び環境保全	PART TAL PROPERTY OF THE PARTY	その他	(2)本工事で新規受電または既設電気回路に接続し、通電した時から工事の範囲の電力料金も本工事に含まれる。 また、本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の設定及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。	1	設 置 場 所 機器種別 特定の施設 一般の施設
動力設備					3. 足場	設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省 平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場と	25. 工事中等の保安管	新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気保安管理等に かかる費用は本工事に含まれる。	1	重要機器 一般機器 重要機器 一般機器
雷保護設備						り、「働きやすい文化窓ののと場に関する基準」に適合するチャッ、中され及び幅本の機能を有すると場と し、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2) 手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。	理 26. 搬入計画	がかる賃用は今上争に含まれる。 大型機器、重量物等の搬入前に、搬入経路の有効寸法 (扉、天井高さ、搬入経路上の曲がり等) 、障害物	1	上層階、屋上及び塔屋 機器 2.0 1.5 1.5
接地設備						+ 9 り が 直 プ	24. 加入八日四	へ至城命、重車が守め、成人和日間の有別が法(床、人方向で、成人和日上の曲がり守)、降音物 (足場等)、養生方法、運送車両、揚重機械、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の処置、受入検査 の方法等を記載し監督員に提出する。	1	防振支持の機器 2.0 2.0 1.5
受変電設備					税	本土争には性未廃来物が作当方が訂上されていないため、交注者が味が対象となった場合には元成年度の金 年度の4月1日から8月31日までの間に三重県産業廃棄物税支払い請求書に産業廃棄物税納付証明書を添付し て当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。	27. 製品確認	の方法等を記載し監督員に使出する。 発注者及び受注者の協議により仕様を決定し、製作するような規格品でない製品並びに監督員が指定する製	1	水槽類 2.0 1.5 1.5
電力 直流電源設備 貯蔵						なお、この期間を超えて請求することはできない。 また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。		品については、試験及び検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認をするものと する。	1	中間階 機器 1.5 1.0 1.0 0.6
設備 交流無停電電源設備					5. 電気工作物の種類	また、性未施来が処理集計 (マーノエヘトの数単の集計)を起えて開来することはできない。 ●一般電気工作物 ・事業用電気工作物	28. 機材等の検査及び	(検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督員の指示による。	1	防振支持の機器 1.5 1.5 1.0
電力平準化用蓄電設備					5. 电気工作物の性類 6. 電気工事士	●一般电気上下初 ・自家州电気上下初 ・事未州电気上下初 電気工事士法の区分により施工するものとし、契約電力が500kW以上の電気工作物においても、第一種電	試験	機関の新作性類 原口 板棒 均同的物体和デネテレンに不安となりナチェー	1	水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6
分散電源エネルギーマネジメントシステム	1					电丸工争工法の区がにより施工するものとし、契利電力からUUKM以上の電丸工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。	29. 完成確認及び完成 検査時等の電源確保	機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。	1	1階及び地下階 機器 1.0 0.6 0.6 0.4
発電 ディーゼル発電設備 設備					7. 有資格者の配置	(1)消防設備の工事に従事する者は、当該設備に関する甲種消防設備士の資格を有する者とする。 (2)電話設備、その他施工に資格が必要なものにあっては、関係法令に基づいた有資格者を配置し、施工する	30. 完成時の操作説明	タイマ、総合盤、動力盤等操作の必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。 また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。	1	防振支持の機器 1.0 1.0 0.6
ガスエンジン発電設備						ものとする。	31. 不正軽油の使用の	また、必要に応して保作説明書、保作注息事項書を作成し、機関に偏えるものとする。 市工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材の搬出入車両を含む。)並びに建	1	水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6
ガスタービン発電設備						電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める 事項を記載した標識を掲げなければならない。	禁止	設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。	5. はつり	
太陽光発電設備					律			受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は 下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。	5. 14.39	(2)溝はつり及び補修 ・なし ・あり
風力発電設備					9. 電気主任技術者との調整	自家用電気工作物等で電気主任技術者が選任されている施設で工事を行う場合は、電気保安技術者を選任し、 電気主任技術者に工事内容の説明を行い、指導を受けるものとする。		受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は 下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならな	6. あと施エアンカー	性能確認試験及び施工確認試験・行う・行わない
その他発電設備						また、工事期間中の電気工作物の保安業務も行う。		l'o	7. 基礎の配線ピット	基礎に配線ピットを設ける場合、ピットの寸法は敷設するケーブルの曲げ半径、条数、将来増設時の作業性 事故時の対応、排水等に配慮する。
通信 構内情報通信網設備					10. 現場事務所等に備 え付ける図書	下記の図書(最新版のもの)を備え付ける。 ① 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械	32. その他	設計図書に定められていない事項は監督員に報告し、指示を受けるものとする。	8. 配管・配線の	建物引込部の配管の耐震処置 ・行う ・行わない
情報 構内交換設備 設備						設備工事編) ② 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図」(電気設備工事編・機械設備工事編)				建物のエキスパンションジョイント部の配線の耐震処置 · 行う · 行わない
情報表示設備						③ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編 機械設備工事編)			9. 最上階の埋込配管	最上階のコンクリート屋根スラブへの埋込配管は、原則として行わない。
映像・音響設備						④ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事監理指針」、「電気設備工事監理指針」、「機械設備 工事監理指針」、「			10. 露出配管	(1) 雨線外など水気のある場所に施設する場合は、U字配管を行わない。 (2) 壁面配管で人が容易に触れるおそれのある部分 (2 m以下) の配管には、突起のない支持金物又は保護だ
拡声設備	0					⑤ 工事写真の撮り方ー建築設備編ー ⑥ その他、監督員の指示する図書及び工事の容量計算等に必要な図書			1	(2) 室面配音で入が各物に限れるおそれのある部分(2 mg ド)の配音には、天庭のない文符並物文は保護ル パーを使用する。 (3) 通路部分では床配管を避け、天井配管の場合は原則2.1 m以上とする。
誘導支援設備					11. 施工計画等	受注者は施工に先立ち、次の書類を提出し監督員と打合せを行う。			1	(4)監督員の指示がある場合は、上記に係わらずその指示に従う。
テレビ共同受信設備						なお、書類の作成においては、関連する関係者と充分に調整すること。 ① 総合施工計画書			11. 合成樹脂管	(1)合成樹脂管の管端には、ブッシングを取り付ける。
テレビ電波障害防除設備						包含工事の場合は、電気設備工事施工計画書とする。 ② 工種別施工計画書 (施工要領書)			11. 口从同用目	(2)原則として屋外の露出には使用しない。 (PF管)
監視カメラ設備						各種工種ごとに作成し、停電及び搬入計画書も作成する。 ③ 施工図(プロット図、平面図、展開図、各種詳細図)			12. 金属製電線管等の塗	: (1)露出配管、露出ボックス、鋼製プルボックス等のうち下記の部分には、塗装を施す。 1)屋外、屋内(電気室、機械室、EPS、居室、廊下)、その他建築意匠上必要な箇所。
駐車場管制設備						主要機器、重量機器、3kg超過吊器具類等については、固定方法、吊り方法等の詳細図を作成し、充分な耐震性能を確保する施工方法を提案すること。			ax	2) 図面に特記なき場合は、溶融亜鉛メッキ鋼材製のポール及びアームは塗装しなくてもよい。ただし、図面に指示がある場合はその指示による。
防犯・入退室管理設備						④ 耐震計算書、幹線計算書等 ⑤ 照度分布図、センサ動作範囲図など			1	3) 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を充分に塗布すること。(監督員が指示した場所は除く。)
自動火災報知設備					12. 品質計画	品質計画については、監督員の承諾を受けること。			1	に空切りなして。(無自員が指示した場所は味べ。) 4)仮枠貫通部の金属配管には鯖止め塗装を施すこと。 (2)塗装はエッチングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて調合ペイント2回塗りとす
自動閉鎖設備					13. 測定機器の校正等	試験に使用する計測器類は2年以内の校正証明書(写)又は有効期限内の精度保証書(写)等を提出する。			1	(2) 塗装はエッテングノフィマー「種のドルル理のブル、
非常警報設備					14. 機器類の能力等	機器類の能力、容量等(電動機出力は除く)は原則として表示された数値以上とする。			13. 導入線	通線を行わない配管及び配線引抜き後に空となった配管には、導入線(φ 1.2mm以上の樹脂被覆鉄線等) を挿入する。ただし、長さ1m以下の部分は省略することができる。
ガス漏れ火災警報設備					15. 工程表	関連業者間にて十分協議し実施工程表、月間工程表を作成して監督員に提出すること。			14 225= 167	
中央監視制御設備						なお、月間工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。			14. ボックス類	位置ボックス及びジョイントボックス類は、図面に特記なき場合、原則として金属製とする。
医療関係設備					16. 工事写真	営繕工事写真撮影要領(平成28年版)に従い撮影すること。			ス	軽量間仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。
構内配電線路					17. 施工条件	監督員及び関係部局と協議調整し決定すること。 1) 施工可能日			16. プルボックス	(1)屋外形及び特別に製作された特殊形状又は大きいもの(一辺が600mm以上のもの)は、製作図を提出すること。
構内通信線路						・指定なし ・指定なし ・一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等)			1	(2)屋外形プルボックスと露出配管等の接続部は、カップリング溶接等による。ただし、既設プルボックスに接続する場合は防水パテ等でシーリングを行う。
その他						・一 印信にのり (派到・城自寺1-末、里域版八寺八巡海、戸電1-末寺/ ・指定あり 指定日 (・施設の休業日 ・打ち合わせによる ・その他 ())			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(3)屋外形プルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコーキングを行う。
						2)施工可能時間帯 ・指定なし			17. ボルト・ナット類	屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの ・ステンレス ・溶融亜鉛メッキ仕上げ
						・一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等) ・指定あり			18. ケーブル及び配線	(1)表示
						指定時間(・()時~()時 ・打ち合わせによる ・その他()) 3)概成工期				下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札(ケーブル種別及びサイズ、行き先、用途等を表示。)を取り付ける。
						・適用する(工事期日より()日前) ・適用しない 4)その他			1	 ケーブル分岐部分 プルボックス内
)			1	③ マンホール及びハンドホールごと (2)ケーブル余長
					18. 事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。			1	1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数 ・2箇所 ・4箇所
						なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。			1	2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数 ・2箇所 ・4箇所 ・() 箇所
					19. 建設副産物	(1)請負額1億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は工事の着			10 吉圧上 ゴッギナヤ	
						「			13. 高圧ケーノル端末処 理	: 高圧ケーブルの端末処理部、直線接続部等に処理者銘板(屋内外共で、線名、作業日、氏名等を表示。)を 取り付ける。
						おさいにようであった。 また、工事が変更な完了した場合には「再生資源利用実施書」(建設資材を搬入した場合)及び「再生 資源利用促進実施書」(建設副産物を搬出した場合)を作成し、監督員に提出する。			1	
						なお、計画書及び実施書の提出とともにJACICが運営する「建築副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せて行う。			1	
						タスカも所をく行う。 (2)請負額1億円以上の工事について、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に従い、再資源化 等が完了した後に報告書を提出すること。			1	
						マルル』 した終に依日日と使出するした。			1	
									1	
									1	

(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)			作図年月日	I 事名称 キナ平ウム約は如此の記案でのルフェ	図面番号	
ー _{級建築士事務所} アートテックエンジニアー級建築士事務所				津市愛宕会館外部階段設置その他工事	E-01	
〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 一級建築士登録第195780号 TEL(059)222-0534 FAX(059)222-0544 三重県登録第1-1283号 笹原 寛			縮尺	^{図面名称} 電気設備工事特記仕様書−1	(原図A2)	

20. 配線器具の設置	(1)特殊コンセントはプラグ付とする。 (2)電源の種類により色を区別する。 (3)配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁枠を使用する。 (4) ブレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。	なお、詳細については、	
	(5)カバープレートは、原則として新金属製とする。 なお、器具を実装しない位置ボックスには用途表示をすること。 (6)フロアプレートは、水平高低調整型(空転防止リング付)とする。	項 目	特記事項
21. 照明器具の設置	(1)コードペンダント以外の放電灯及び水気のある場所の器具は接地する。なお、金属配管の場合は、配管を利用してもよい。(乾燥した場所のコンパクト形器具(27W以下)を除く。) (2)接地線は電灯配線と同一太さのケーブルの1芯(緑色)を使用する。ただし、監督員の指示により1.6mmの絶縁電線(緑線)を添えることもできる。 (3)照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承諾を得ること。 (4)照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形AA級とする。 (5)天井下地材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。	1. 電灯設備 (1)既設等との取り合い (2)機器類	●一般照明器具 ・照明制御装置 ●外灯(単独設置) ●コンセント等 ・分電盤、制御盤等 ・その他()
22. 照明改修の際の測定	(6)パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。 対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。 測定箇所 (測定回数 () 回	(3)一般照明器具	1) 形式 ●公共型 ●一般型 2) 灯具・・H f 蛍光灯 ● L E D 灯・H I D 灯・その他(3) 用途・屋内用 ●屋外用・防災用 4) 環境 ●普通地域・塩害地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。
23. 分電盤、制御盤、キュービクル等	(1)図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。 また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。 (2)屋外キャビネットで露出配管をボックスに接続する場合は、カップリングを溶接等行い接続部から雨水等 が浸入しない方法とする。ただし、既設ボックスに接続する場合はロックナットとボックスの間にゴムパッ キン等を取付け、接続部からの雨水等が浸入しないようにする。	(4)照明制御装置	6) 蛍光灯の点灯管にグローランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) HIDコンプを使用する下面開放形器具及びランプの破損による飛散により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。 1) センサ類 ・明るさセンサ ・人感センサ ・タイマ ・調光スイッチ
24. 受変電設備、発電設 備の設置場所	(1)保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (3)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。	(5)外灯(単独設置)	・その他(2)調光方式 ・連続調光 ・段階調光 ・ON/OFF制御 ・その他() 1)照明用ポール
25. 発電設備の燃料配管	(1)フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。 (2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。		①材質 ・アルミニウム製 ●鋼製 ・溶融亜鉛メッキ ・その他() ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ●本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他()
26. 電波関係の計算及び 測定	電界強度測定結果による計算書を提出 ・施工前 ・躯体上がり時 ・その他 ((2)測定の実施 1)項目 全受信チャンネルの電界強度、受像画質、等価 C / N、ビット誤り率の測定及び映像写真の撮影を行う。 2)測定時期		3) 灯具 ・水銀灯 ・ナトリウム灯 ・Hf蛍光灯 ●LED灯 ・その他(
	・施工前 ・躯体上がり時 ・施工後 ・その他() 3)報告書提出部数 ・2部 ・()部	(6)コンセント等	7)接地 ・単独接地 (・本工事 ・別途工事 ・既設利用) ●共用 ・その他 () ・一般型 ●防水型 ・ハイテンションアウトレット (・固定型 ・上下動型 (アップ式を含む))
27. 土工事	(1) 埋戻しの材料及び工法 ・ 日種 (材料:根切り土の中の良質土 / 工法:機器による締固め) ・ その他 (ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。 (2) 特記なき地中埋設配管の深さは、GL—600m以上とする。 (3) 根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。 (4) 機械掘削は根切り底を乱さないようにする。	(7)分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A 4 サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランブ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。
28. ハンドホール、マン ホール		2. 動力設備	
	① 地耐力は、建築基準法施行令第93条の短期応力度とする。 ② 衝撃係数は、設置場所に応じた衝撃係数とする。 3)高さ900mmを超えるものにあっては、タラップ付とする。	(1)既設との取り合い (2)機器類	・無し ・盤改造 ・配線接続 ・その他 () ・ ・分電盤、制御盤等 ・その他 ()
	なお、タラップの取付は450mm間隔以内とし、原則として接地を施すこと。	(3)負荷設備	
29. 地中配線路の表示杭	下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ① 建物への引込口及び送出口付近 ② マンホール・ハンドホール付近	(4)負荷設備への接続	
	③ 地中線路の曲折箇所④ 道路横断箇所⑤ 直線部分では30m程度に1個	(5)電動機等の接地	・専用接地 ・金属管接地 (7.5 kW以下)
		(6)電動機等の力率の 改善 は	
		(7)保護継電器	過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、
		(C) / J-Game Wall-in V	施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A 4 サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランブ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。
		3. 雷保護設備 (1)避雷針	1) 受雷部 ・突針 ・棟上導体 ・笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ・引下げ導線 ・建築構造体利用 3) 接地極 ・接地極埋設 ・建築構造体利用 ・測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 ② 測定回数 ・3回 ・ () 回 5) 接地極埋設標を設置する。
		(2)雷サージ保護	1) 耐雷トランス ・設置 (・単相用 ・動カ用) ・設置しない 2) SPD ・低圧用 (・クラス I ・クラス I) ・通信用 (・カテゴリC 2 ・カテゴリD 1) 3) 低圧用 SPD クラス I の性能 別図による 4) 通信用 SPD カテゴリD 1 の性能 別図による
		(3)電源回路の保護(4)通信回線の保護	1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。 電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため
		4. 接地設備 (1)接地工事	通信用SPDを設置する。 1) 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種
		(2)接地抵抗の測定	2) 施工 ・各種単独 ・共用有り() 1) 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法
		(3)接地極埋設標	2) 測定回数 ・3回 ・() 回 接地には接地極埋設標を施工し、接地極の位置がわかるようにする。
		【受変電設備】	
		5. 受変電設備	高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。
		(1)既設との取り合い	・無し ・改造(機器取替、追加等を含む) ・増設 ・配線接続 ・その他()
		(2)機器類	・盤類 ・交流遮断器 ・断路器 ・避雷器 ・負荷開閉器 ・変圧器 ・進相コンデンサ ・直列リアクトル ・配線用遮断器 ・電磁接触器 ・その他(
		(3)盤類	1) 形式 ・キュービクル式配電盤 (JIS C 4620) ・高圧スイッチギア (JEM 1425) (・C X ・CW ・PW ・MW) ・開放形配電盤 ・その他 () 2) 中通路 ・有 ・無 3) 特記事項 ()
		(4)交流遮断器	真空遮断器 (VCB) ① 操作方式 ・手動ばね操作 ・電動ばね操作 ・電磁操作 ② 引外し方式 ・電流引外し ・コンデンサ引外し ・直流電圧引外し

(5)断路器	1) 形式 ・3極単投 ・単極単投 (避雷器用に限る) 2) 操作方式 ・適方手動操作 ・フック棒操作 (避雷器用に限る)	
(6)負荷開閉器	1) 形式 ・配電盤用 ・引込柱用 ・地中引込用 2) 配電盤用 ① 操作方式 ・フック棒操作 ・遠方手動操作 ・電動操作	
	② 限流ヒューズ ・有(ストライカ付き) ・無 ③ 引外し装置 ・ストライカ引外し ・電圧引外し ・無 3)引込柱用 ① 本体及び制御箱の材質 ・ステンレス製 ・鋼製	
	② 保護装置 過電流蓄勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ③ 避雷器 ・内蔵 ・無	
(7)変圧器	4) 地中引込用 保護装置は、過電流蓄勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする 1) 形式 ・油入 ・モールド	
	2) 設置方式 ・屋外型 ・屋内型 3) ダイヤル温度計 ・有(・最大値指針 有 ・最大値指針 無) ・無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合は必須とする	
(8)進相コンデンサ	1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド ・ガス入 2) その他 ① 内部異常を検知して動作する保護接点を設けること ② 放電装置を附属又は内蔵すること	
(9)直列リアクトル (進相コンデンサ用)	1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド 2) 容量 ・6% ・13% 3) その他 内部異常を検知して動作する警報接点を設けること	
(10) 設備不平衡	高圧受電の三相3線式における不平衡の制限は、設備不平衡率が30%以下となるようにする。	
(11)キュービクル等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A 4 サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランブ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。	
(12) 基礎	・本工事 (・2 1 N/mm2) ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ()	
(13)配線ピット及び蓋	1) 施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他() 2) ピット蓋の加工が必要な場合は、本工事にて行うこと。	
(14) 設置場所	・屋内・屋外(・地上・屋上)	
電力貯蔵設備】		
. 直流電源設備 (1)用途	・非常用照明器具電源・受電変設備制御電源・その他()	
(2)容量	() kVA	
(3)整流装置	1) 出力電圧	
(4)蓄電池	1)種類 ・鉛蓄電池(・HS ・MSE ・長寿命形MSE) ・アルカリ蓄電池(・AH ・AMH)	
	・その他() 2)最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・一5℃ ・()℃	
. 交流無停電電源設備		
(1)用途(2)容量	() kVA	
(3)給電方式	・常時インパータ給電方式 ・ラインインタラクティブ方式 ・常時商用給電方式	
(4)整流装置等	・その他() 整流装置、インバーター装置は、接続する負荷の特性を配慮し選定する。	
(5)蓄電池	1) 種類 ・鉛蓄電池 (・HS ・MSE ・長寿命形MSE) ・アルカリ蓄電池 (・AH ・AMH)	
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
(6)性能	停電補償時間())	
. 電力平準化用蓄電設備		
(1)用途(2)機能	() ・ピークシフト機能 ・ピークカット機能 ・商用停電時のバックアップ機能	
(3)蓄電池	1)種類 ・リチウム二次電池 ・鉛蓄電池 ・ニッケル水素蓄電池 2)容量 () 3)期待寿命 () 4)充放電回数 () 5)放電時間 () 6)補機類 ・製造者標準 ・その他(
(4)性能	1)交流入出力電気方式 ・三相3線式(・200V ・() V)	
	・単相3線式 (200/100V) ・単相3線式 (・200V ・100V ・()V) 2) 自立運転 ・する ・しない 3) 系統連系 ・する ・しない	
(5)計測表示	遠方監視用接点 ・設けない ・設ける (詳細は別図による)	
(6)状態・警報表示 公勘電道	移報用の遠方監視用接点の搭載を必須とする。	
. 分散電源 エネルギーマネジメントシステム	仕様詳細は別図による。	
(発電設備)). 燃料式発電設備		
(1)用途	1) 用途 ・防災電源専用(防災認定品) ・防災電源兼用(防災認定品) ・一般用2) 区分 ・常用 ・非常用	
(2)設置場所	・屋内・屋外(・普通地域・塩害地域)	
(3)機器	・発電装置 ・燃料槽 ・給油ボックス ・燃料移送ボンプ ・その他()	
(4)発電装置	1)種類 ・ディーゼル発電装置 ・ガスエンジン発電装置 ・ガスタービン発電装置 2)形式 ・簡易形 ・オープン式 ・キュービクル式 (・8 5 dB (A) /1m ・7 5 dB (A) /1m) 3)始動時間 (停電検出後) ・1 0 秒以内 ・4 0 秒以内 ・ 4)連続運転時間 ・2 時間以上 ・1 0 時間以上 ・2 4 時間以上 ・7 2 時間以上	
	・その他() 5)発電機 ① 電気方式 ・三相3線式(・6.6kV ・200V ・()V)	
	・単相3線式(200/100V) ・単相2線式(・200V ・100V ・()V) ② 定格周波数 60Hz	
	② 定格周波数 6 UHz ③ 定格出力 () kVA 6)原動機 ① 定格出力 ・() kW 以上 ・() ps 以上 ② 冷却方式 ・ラジェター方式 ・冷却水循環式 ・その他()	
(5)燃料	1) 種類 ・軽油 ・灯油 ・A重油 ・その他()	
	2) 引渡時燃料 ・満タン ・指定なし ・その他(1) 形式及び容量 ・パッケージ搭載タンク() リットル	
(6)燃料槽	・燃料小出槽 () リットル ・主燃料槽 () リットル 2) 燃料小出槽 ・屋外型 (・ステンレス製 ・鋼製) ・屋内型 (・ステンレス製 ・鋼製)	
(6)燃料槽	3) → 鮮剉 構	
(6)燃料槽	3) 主燃料槽 ① 設置場所 ・屋内 ・屋外 (地上) ・地下埋設 (・タンク室内埋設 ・直埋設) ② 形式 ・二重磬タンク ・一重穀タンク	
(6)燃料槽	① 設置場所 ・屋内 ・屋外 (地上) ・地下埋設 (・タンク室内埋設 ・直埋設) ② 形式 ・工重設タンク ・一重殻タンク ・その他 () ③ 設置工事 ・本工事 ・別途工事 ・その他 (
(6)燃料槽(7)給油ボックス	① 設置場所 ・屋内 ・屋外 (地上) ・地下埋設 (・タンク室内埋設 ・直埋設) ② 形式 ・二重数タンク ・一重数タンク ・その他 ()	
	① 設置場所 ・屋内 ・屋外 (地上) ・地下埋設 (・タンク室内埋設 ・直埋設) ② 形式 ・二重数タンク ・一重数タンク ・一重数 を ンク ・その他 () ③ 設置工事 ・本工事 ・別途工事 ・その他 () ④ タンク室工事 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()	

11. 太陽光発電設備 (1)機器	
(2)太陽電池アレイ	- 「特報処理装置 ・その他(
(3)パワーコンディシ	2) 架台は、JIS C 8955 大陽電池アレイ用支持設計標準」による。 1) 出力電気方式 ・三相3線式(・200V ・ () V)
ョナ及び系統連系保 護装置	・単相3線式(200/100V) ・単相2線式(・200V ・100V ・()V)
	2) 定格周波数 60Hz 3) 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他(4) 設置方式 ・壁掛型 ・自立型 ・その他(1)
	4 改画/7式 ・壁掛空 ・日立空 ・てい他(5 機能 ・系統連系(・高圧連系 ・みなし低圧連系 ・低圧連系) ・自立運転
	・その他 (6) 系統連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。
(4)情報処理装置	1) 装置 ・データ処理装置 ・データ表示装置 ・気温計 ・日射計 ・その他 (
	2) 記録作成 ・日報 ・月報 ・年報 ・その他 ()
(5)仕様詳細	仕様詳細は「太陽光発電設備特記仕様書」による。
12. 風力発電設備	
(1)機器	・風車発電装置 ・制御装置 ・系統連系保護装置 ・支持構造物 ・情報処理装置 ・その他 ()
(2)風車発電装置 (3)制御盤	発電能力 定格出力 () kW 1) 出力電気方式 ・三相3線式 (・200V ・ () V)
(-)4501	・単相3線式(200/100V) ・単相2線式(・200V ・100V ・()V)
	2) 定格周波数 60Hz 3) 設置場所 ·屋内 ·屋外 ·その他(4) 設置方式 ・壁掛型 ・自立型 ・その他(
	5)機能 ・系統連系 (・高圧連系 ・みなし低圧連系 ・低圧連系) ・自立運転
	・その他(6) 系統連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。
(4)支持構造物 (5)情報処理装置	自重、積載荷重、積雪、振動、衝撃等に対し、安全が確保されたものとする。 1)装置 ・データ処理装置 ・データ表示装置 ・風速計 ・風向計 ・気温計
(3) 旧秋龙垤衣巨	「
(6)仕様詳細	・その他() 仕様詳細は「風力発電設備特記仕様書」による。
13. その他発電設備	() の仕様詳細は別図による。
【通信・情報設備】 14. 構内情報通信網設備	
(1)インターフェース	1) LAN ・1000BASE-T ・無線LAN (・その他 (
(2)機器	2)WAN (・スイッチ ・ルータ ・メディアコンバータ ・ファイヤウォール ・時刻同期装置
(∠)%交命	・ ネットワーク管理装置 ・ 機器収納ラック ・ アウトレット ・ その他 (各機器の仕様詳細は別図による。
(3)ケーブル	1) 幹線系 ・UTP ・光ファイパ ・その他(2) 支線系 ・UTP ・光ファイパ ・その他(3) フロア系 ・UTP ・その他(
(4)アウトレット	・ローテンションアウトレット(・固定型 ・上下動型(アップ式を含む)) ・壁コンセント ・その他()
15. 構内交換設備 (1)機器	- ・
(2)交換装置	1)種別 ・構内交換装置(・デジタルPBX ・IP-PBX ・VoIPサーバ
	・その他()) ・ボタン電話装置 ・その他()
	2) 局線応答方式・局線中継台方式 ・分散中継台方式 ・ダイヤルイン方式 ・ダイレクトインダイヤル方式 ・ダイレクトインライン方式
	・その他(3)保安用接地 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他(4)大引電館(MDE) - 本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他(4)大引電館(MDE) - 本工事 ・別途工事 ・
	4) 本配電盤 (MDF) ・自立フレーム (・片面形 ・両面形) ・交換機一体型 ・壁掛型 ・その他 () 5) 電源装置 ① 形式 ・別置型 ・一体形 ・その他 (
(3)電話機	② 停電補償時間 ・3 0 分以上 ・ () 以上 ・一般電話機 ・ J P電話機
(○/电前位)	- 一版電話機 ・多機能電話機 ・ I P 電話機 ・デジタルコードレス電話機 (P H S 方式) ・ I P コードレス電話機 (無線 L A N 方式) ・ その他 ()
(4)端子盤類	1) 端子盤 ・中継端子盤 (IDF) ・室内端子盤 2) 中継端子盤には10P以上の接続端子板スペースを見込む。
(5)アウトレット	- ・
16. 情報表示設備	
(1)設備 (2)マルチサイン装置	・マルチサイン装置 ・出退表示装置 ・時刻表示装置 ・警報等表示装置 1)機器 ・操作制御部 ・情報表示盤 ・その他 ()
(Z)×ルナサイン装直 	2)通信方式 ・TCP/IP ・その他(3)操作制御部 イメージスキャナ ・有
(2)中沿車二井零	4) 情報表示盤 ・発光ダイオード式 ・液晶式 ・その他 () 1) 機器 ・制御装置 ・出退表示盤 ・その他 ()
(3)出退表示装置	1) 機器 ・制御装直 ・出返表示盤 ・その他(2) 出退表示盤 ・発光ダイオード式 ・液晶式 ・その他(
(4)時刻表示装置	1)機器 ・親時計 ・子時計 ・電源装置 ・単独時計 ・その他 () 2)親時計 ① 形式 ・壁掛型 ・ラックマウント型 (ラック架組込) ・ B が と受信 ・ F M 放送受信 ・ F W 表現 中間 ・ F W 表現 ・ F W 表現 中間 ・ F W 和 を F W を M を M を M を M を M を M を M を M を M を
	③ 回線数 ()回線 ④ 機能 ・電子チャイム ()曲 ・時報 ・プログラムタイマ
	(引渡し時は機器の説明及びプログラムの入力を行うこと。) 3) 子時計 ① 方式 ・アナログ式 ・デジタル式 ② 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他(
	4) 電源装置 運転可能時間 (・10時間 ・ () 時間) 5) 単独時計 ① 方式 ・アナログ式 ・デジタル式
(5)警報等表示装置	1)機器 ・表示盤 ・検出装置 ・その他(2)表示盤 ①表示方式 ・表示窓式 ・その他() ************************************
	2)表示盤 ①表示方式 ・表示窓式 ・その他 (2)施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 (3)検出装置 ①検出方式 ・電極 ・無電圧接点 ・その他 (2)施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()
	4) 図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。
I	

(1) サゲーナなる フーレニックエンジーフー処建筑上東政正		作図年月日	ᆂᆂᆥ	図面番号	
- 級建築士事務所 アートテックエンジニアー級建築士事務所			津市愛宕会館外部階段設置その他工事	E-02	
		縮尺	図面名称] L-02	
〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 一級建築士登録第195780号 TEL(059)222-0534 FAX(059)222-0544 三重県登録第1-1283号 笹原 寛			電気設備工事特記仕様書-2	(原図A2)	

7. 映像・音響設備 (1)設備	· 映像機器 · 音響機器 · 操作装置	23. 駐車場管 (1)機器
(2)映像機器	1)表示機器 ・プロジェクタ (・前面投射式 ・背面投射式)	
	・スクリーン (・反射マット形 ・反射ビーズ形 ・反射ストライブ形 ・透過形 ・その他 ()) ・スクリーン巻上装置 (・電動式 ・手動式) ・ 液晶ディスプレイ	(2)管制盤
	2) 付属機器 ・録画再生装置(・HDD ・Blu-ray/DVD ・その他((1) (5.7)
(0) 立郷地田	・カメラ ・パソコン ・その他の機器 () 1) 増幅器 ① 出力 () W	(4)信号灯
(3)音響機器	1) 哲幅器 () ロガ · ステレオ · モノラル (3) 出カインピーダンス · Lo形 · Hi 形 (2) 付属機器 · グラフィックイコライザー · オーディオミキサー · 電源制御器	(5)発券機
	2) 付属機器 ・グラフィックイコライザー ・オーティオミキザー ・電源制御器 ・録音再生装置 (・CD ・メモリオーディオ ・その他 ()) ・ラジオチューナー (・FM ・AM ・その他 ()) ・有線マイクロホン	(6)カーゲ 24. 防犯・入
	・無線マイクロホン (・電波式 (・アナログ ・デジタル) ・赤外線式) ・ たの他の機器 () 3) スピーカ ・天井分散配置方式 ・集中配置方式 ・併用方式 ・その他()	備 (1)設備
(4)操作装置	1) 形状 ・卓型 ・キャビネットラック型 ・その他() 2) 設置 ・固定式 ・可動式 ・その他()	(2)防犯装
8. 拡声設備 (1)機器	・増幅器 ・付属機器 ・操作装置 ●スピーカ ・その他()	
(2)增幅器	・非常放送兼用(仕様は非常放送装置を参照) ・専用 出力 () W	
(3)付属機器	出カインピーダンス ・Lo形 ・Hi形 ・オーディオミキサー ・リモコンマイク ・電源制御器 ・録音再生装置(・C D ・メモリオーディオ ・その他())	(3)入退室
	・アナウンスレコーダ(・チャイム ・独自メッセージ ・プログラムタイマ ・その他 ())	
	・有線マイクロホン ・無線マイクロホン(・電波式(・アナログ ・デジタル) ・赤外線式) ・ラジオーナー(・FM ・AM ・その他())	
(4)操作装置	・スピーカ切替装置 ・その他の機器(・卓型 ・キャビネットラック型 ・壁掛型 ・その他(
(5)スピーカ	・非常放送兼用(仕様は非常放送装置を参照) ●専用 結線 ● 1 W ・ 3 W ・ () W インピーダンス ・ Lo形 ●Hi 形	25. 自動火災
9. 誘導支援設備	1 プローザンス ・LOD ● IT TO 1	(1)機器
(1)設備 (2)音声誘導装置	・音声誘導装置 ・インターホン ・トイレ等呼出装置 1) 検出方式 ・磁気式 ・無線式 ・画像認識式 ・その他()	(2)受信機
(2)百户誘导表直	2) 設置場所 ・屋外 (防雨形) ・屋内 3) 機能 ・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する ・タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする	(3)副受信
	・その他(4)機器・制御装置・・送信機・・受信機・・その他() 5)制御装置・・壁掛型・・卓上形・複合盤組込・・その他() 6)送信機・・壁掛形・・卓上形・埋込形・・その他()	(4)中継器
(3)インターホン	7) 受信機 ・スピーカ式 ・イヤホン式 ・その他 () 1) 用途 ・内部受付用 ・外部受付用 ・夜間訪問用 ・身体障害者用 ・保守用	(5)発信機
	・その他(2)機能 ・音声通話 ・映像モニタ 3)通話網 ・親子式 ・相互式 4)通話方式 ・同時通話式 ・交互通話式 5)機器 ・親機 ・子機 ・その他((6)感知器
	6) 親機	
	①形状 ・壁掛形 ・卓上形 ・埋込形 ・その他 () ②送受話器 ・電話機形 ・マイク形 ・その他 ()	26. 自動閉鎖 (1)機器
(4)トイレ等呼出装置	1) 用途 ・トイレ呼出 ・受付呼出 ・非常通報 ・その他() 2) 機器 ・親機 ・呼出スイッチ ・警報装置 ・その他((2)連動制
	3) 親機 ・壁掛型 ・卓上型 ・複合盤組込 ・その他() 4) 呼出スイッチ ・押ボタン式 ・引紐式 ・その他() 5) 警報装置 ・光 ・音声 ・ブザー ・ベル ・その他()	(3)感知器
0. テレビ共同受信設備 (1)受信放送	・UHF ・BS ・CS ・FM ・CATV ・その他()	
(2)機器	・増幅器 ・混合器 ・分波器 ・分岐器 ・分配器 ・機器収容箱 ・アンテナ ・その他 ((4)自動閉
(3)アンテナ	1)放送 ・UHF ・BS ・CS ・FM ・その他() 2)マスト ・地上波用(・壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他() ・衛星用(・壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他()	(5)自動開
	・衛星用 (・壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他 ()) ・その他 () 3)自立用基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()	27. 非常警報 (1)設備
 テレビ電波障害防除設備 (1)対象戸数 	() 戸	(2)非常放
(2)機器	・増幅器 ・混合器 ・分波器 ・分岐器 ・分配器 ・機器収容箱 ・アンテナ ・ヘッドエンド装置 ・その他()	
(3)アンテナ	1) 放送 ・UHF ・BS ・CS ・FM ・その他() 2) マスト ・地上波用(・壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他()) ・衛星用 (・壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他())	
0 5515	・ 第 全用 (・ 空 山 収	
2. 監視カメラ設備 (1)機器	・カメラ ・モニタ装置 ・録画装置 ・ハウジング ・旋回装置 ・その他()	(3)非常べ
(2)伝送方式	・アナログ伝送方式 ・ネットワーク伝送方式 ・その他(サイレン
(3)カメラ	1) 色方式 ・白黒 ・カラー 2) 駆動方式 ・固定式 ・遠隔可動式 3) 撮影条件 ・昼間 ・薄明時 ・夜間	28. ガス漏れ 備 (1)機器
(4)モニタ装置	4)設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他(1)色方式 ・白黒 ・カラー 2)モニタ ・液晶 ・PC ・その他((2)受信機
(5)録画装置	3) 設置 ・自立型 ・卓上型 ・壁掛型 ・その他 ()) 1) 記憶媒体 デジタル記憶媒体とする。	/
	2) 記憶容量 (**) 3) 時刻補正機能 ・FM放送受信 (・アンテナ設置 ・既設利用) ・長波標準電波受信 (・アンテナ設置 ・既設利用)	(3)副受信(4)検知器

23. 駐車場管制設備 (1)機器	・管制盤 ・検知器 ・信号灯 ・警報灯 ・発券機 ・カーゲート ・カードリーダ ・その他()
(2)管制盤	1)機能 ・入場管理 ・退場管理 ・発券管理 ・その他 () 2) 形式 ・自立型 ・壁掛型 ・卓上型 ・その他 ()
(3)検知器	1) 方式 ・赤外線式 ・超音波センサ式 ・ループコイル式 ・その他()
	2) 検知器外箱 ・ステンレス製 ・鋼製 3) 検出対象車両 四輪軽自動車以上 4) 検出対象速度 ・2~40km/h ・その他(
(4)信号灯・警報灯	1) 方式 ・発光ダイオード式 ・その他 (2) 警報音 ・音声 ・ブザー ・その他 (3) 外箱 ・ステンレス製 ・鋼製
(5)発券機	1)発行券 ・磁気式 ・I Cカード式 ・その他() 2)発券方式 ・入場時発行 ・事前発行 ・その他()
(6)カーゲート	- パー式 (・グラスファイバー製 ・アルミ製 ・鋼製 (防錆処理)) ・その他 ()
24. 防犯・入退室管理設 備	
(1)設備	・防犯装置・入退室管理装置
(2)防犯装置	1)機器 ・センサ ・制御装置 ・その他() 2)センサ ・パッシブセンサ ・赤外線センサ ・画像センサ ・マグネットセンサ
	・ガラス破壊センサ・その他() 3)制御装置 ① 形式・自立型・壁掛型・卓上型・複合盤組込・その他() ② 時刻補正機能・FM放送受信 (・アンテナ設置・既設利用)・長波標準電波受信(・アンテナ設置・既設利用)
	・その他() 4)機能 ・警報 ・記録 ・監視カメラ連動制御 ・センサ入切制御 ・その他()
(3)入退室管理装置	1)機器 ・制御装置 ・認識部 ・電気錠 (・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用)
	・セキュリティゲート ・その他() 2)制御装置 ① 形式 ・自立型 ・壁掛型 ・卓上型 ・複合盤組込 ・その他()
	② 時刻補正機能 ・ F M 放送受信 (・ アンテナ設置 ・ 既設利用) ・ 長波標準電波受信(・ アンテナ設置 ・ 既設利用) ・ その他()
	③ 基本機能 施解錠制御、許可・不許可設定、設定データバックアップ機能、こじ開け警報 の搭載は必須とする。
	④ 特記機能 ・遠隔施解錠制御 ・スケジュール設定制御 ・記録機能 ・照明空調制御 ・ 防災防犯インテグレーション機能 ・その他 ()3)認識部 ・パイオメトリックス () ・暗証番号 ・磁気カード ・ I Cカード
	・その他(4)セキュリティゲート 仕様詳細は別図による。
25. 自動火災報知設備 (1)機器	双层梯 可双层梯(字二件架) 古领即 路污棉 瞪和即
	 ・受信機 ・副受信機(表示装置) ・中継器 ・発信機 ・感知器 ・その他(
(2)受信機	1)型式 ・P型1級 ・P型2級 ・R型 2)回線数 ・()回線数 ・()アドレス 3)試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4)盤形式 ・複合盤組込 ・自立型 ・壁掛型 ・その他()
(3)副受信機 (表示装置)	1)盤形式 ・自立型 ・壁掛型 ・その他(2)回線数 ・()回線 ・()アドレス 3)表示装置の仕様詳細は別図による。
(4)中継器	試験機能・自動試験機能・遠隔試験機能
(5)発信機	1) 型式 ・アドレス付 ・P型 1級 ・P型 2級 2) 消火栓ポンプ起動特記なき場合は、発信機連動方式とし、発信機表面に「消火栓起動」等の文字を
	併記する。
(6)感知器	1) 型式 ・アドレス付 ・一般型 2) 種類 ・熟感知器 ・煙感知器 ・炎感知器
	2 / 世級 ***
26. 自動閉鎖設備 (1)機器	・連動制御器 ・感知器 ・自動閉鎖装置 ・自動開錠装置
(2)連動制御器	- その他 ()) 1) 制御対象 ・防火戸 ・防火シャッター ・防排煙ダンパー ・非常口等の扉
	- その他 () 回線 (連方復帰機構 () 回路)
(3)感知器	3) 設置 ・単独(・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機等との複合盤 1) 型式 ・アドレス付 ・一般型
	2) 種類 煙感知器(・2種 ・3種) 3) 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4) 設置場所 ・屋内(・一般 ・防水 ・防爆 ・防食 ・その他())
(4)自動閉鎖装置	・屋外(・防水 ・その他()) 1)方式 ・電磁式 ・ラッチ式 ・その他()
(5)自動開錠装置	2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 (1) 方式 ・電気錠 ・その他 (
27. 非常警報設備	2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()
(1)設備	・非常放送装置・・非常ベル
(2)非常放送装置	1) 消防法基準適合マーク品とする。 2) 機器 ・増幅器 ・スピーカ ・非常用リモコンマイク ・その他 ()
	3) 増幅器 ① 出力 () W ② 出力インピーダンス ・Lo形 ・Hi形 ③ 形式 ・ロングラック型 ・スタンダードラック型 ・壁掛型 ・その他(④ 機能 ・マイク放送 ・自動火災報知設備連動放送 ・緊急地震速報設備連動放送
	・その他() ⑤ 用途 ・拡声設備兼用 ・非常放送専用
	4) スピーカ ① 結線 ・1W ・3W ・() W ② インピーダンス ・Lo形 ・Hi形 ③ 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他 ()
	(4) 用途・拡声設備兼用・非常放送専用 5) 非常用リモコンマイク
(3)非常ベル(自動式	型式 ・壁掛形 ・ラック収納形 ・卓上形 ・その他 () 1) 機器 ・起動装置 ・非常ペル ・表示灯 ・その他 ()
サイレンを含む)	2) 設置 ・単独設置 ・機器収容箱に組込 ・消火栓ボックス (別途) に組込 ・その他 ()
28. ガス漏れ火災警報設備	
(1)機器	・受信機 ・副受信機 ・中継器 ・検知器 ・警報器・その他()
(2)受信機	1)回線数 ()回線 2)種類 ・都市ガス用 ・液化石油ガス用
	3) 設置 ・単独(・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機などとの複合盤 ・その他()
(3)副受信機	設置 ・単独(・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機などとの複合盤 ・その他()
(4)検知器	1) 動作 ・単独(単独動作) ・連動(受信機に伝送) 2) 定格電圧 ・AC100V ・DC24V(受信機等から供給) ・その他() 3) ガス検知出力信号 ・有電圧出力方式 ・無電圧接点方式

【中央監視制御設備】 29. 中央監視制御設備 (1)監視制御対象設備	・動力設備 ・受変電設備 ・発電設備 ・火災報知設備
	・その他(
(2)既設との取り合い	・無し・盤改造・配線接続・その他(
(3)機器	・監視操作装置 ・信号処理装置 ・記録装置 ・伝送装置 ・端末装置 ・その他(
(4)機能	仕様詳細は別図による。
(5)監視操作装置	1) 形式 ・壁掛型 ・自立型 ・卓型 ・その他(2) 表示装置 ・液晶ディスプレイ ・その他(3) 操作装置 ・タッチパネル ・キーボード ・マウス ・その他(
(6)信号処理装置	1) 形式 ・壁掛型 ・自立型 ・卓型 ・ラック型 ・卓上型 ・その他(2) 設置 ・単独 ・監視操作装置に組込 ・その他(
(7)記録装置	1) 形式 ・壁掛型 ・自立型 ・卓型 ・ラック型 ・卓上型 ・その他(2) 設置 ・単独 ・監視操作装置に組込 ・その他(3) 装置 ・ブリンタ ・記録メディア(・その他(
【医療関係設備】	Cole
30. 非接地電源用分電盤 (1)機器	・絶縁変圧器 ・絶縁監視装置 ・電流監視装置 ・ 医用接地センタボディー ・その他(
(2)仕様詳細	仕様詳細は別図による。
31. ナースコール設備	
(1)形式 (2)仕様詳細	・基本形ナースコール装置 ・携帯形ナースコール装置 ・情報表示形ナースコール装置 ・病床ユニッ 仕様詳細は別図による。
【構内配電線路】	
32. 構内配電線路	
(1)配線方式	・地中線式 (・直埋 ・管路) ・架空線式 (・直接 ・ちょう架線添架) ・建築物等添架式 (・露出配管 ・隠蔽配管 ・その他 ()
(2)建柱	・その他(1)施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・その他(
(4) 建恒	1) 施工 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	3) 支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板 ・支線(保護ガード ・有 ・無) 4) 装柱材料 ・有(電力仕様) ・無 5) 銘板 ・有 ・無
(3)装柱機器 (高圧用)	1)機器 ・開閉器 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子 ・その他(
(同江州)	2)耐環境性 - 一般用 ・ 耐塩用 3)開閉器 仕様は 5. 受変電設備 (6)負荷開閉器 による。
(4)装柱機器	1)機器 ・開閉器 ・開閉器箱 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子
(低圧用)	・その他 (2) 耐環境性 ・一般用 ・耐塩用
(5)ハンドホール、 マンホール	1) 形式 ・ブロック式 ・現場打ち 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 (3) ケーブル支持金物の取付 ・2箇所 ・4箇所 ・()箇所
(6)鋳鉄蓋	1) 鋳鉄蓋の刻印は「強電」、「電力」又は「高圧」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。
(7)地中ケーブル保護 材料	1)種類 ・FEP ・GLT (PEライニング管) ・VE ・HIVE ・SGP ・厚鋼電線管 ・その他(2)標示杭埋設 ・コンクリート製 ・鉄製 (アスファルト部分)
	3) 埋設標識シート ・2 倍長 ・その他(4) 埋設標識シートの表記は電力用であることがわかるものとする。
【構内通信線路】 33. 構内通信線路	
(1)用途	・電話用 ・拡声用 ・時刻表示用 ・火災報知用 ・非常警報用 ・インターホン用 ・テレビ共同受信用 ・防犯用 ・制御用 ・その他(
(2)配線方式	・地中線式 (・直埋 ・管路) ・架空線式 (・直接 ・ちょう架線添架) ・建築物等添架式 (・露出配管 ・隠蔽配管 ・その他 () ・その他 (
(3)建柱	1)施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・構内配電線柱に添架 ・その他(2)電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・パンザマスト
	その他(
	3)支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板 ・支線(保護ガード ・有 ・無) 4) 装柱材料 ・有 ・無 5) 銘板 ・有 ・無
(4)ハンドホール、 マンホール	1) 形式 ・ブロック式 ・現場打ち 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 (3) ケーブル支持金物の取付 ・2箇所 ・4箇所 ・()箇所
(5)鋳鉄蓋	1) 鋳鉄蓋の刻印は「弱電」又は「通信」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水バッキン付とする。
(6)地中ケーブル保護 材料	1)種類 ・FEP ・GLT(PEライニング管) ・VE ・HIVE ・SGP ・厚銅電線管 ・その他(
T-9 4'T	
【その他】	
34. 消火器	1) 設置 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事) ・別途工事 2) 消火器 種別 () 本 3) 消火器収納箱 材質 () 、数量 () 面
	3) 消火器収納箱 材質 ()、数量 () 面

	名 称	側点	取付高さ (mm)	備考
電力	接地端子盤	床上~下端		
	取引用計器	地上~窓中心	1,800~2,000	
	引込開閉器	床上~中心	1,800~2,000	
電灯	分電盤	床上~中心	1,500	上端 1,900mm
	スイッチ	床上~中心	1,300	O1,000mm
	コンセント (一般)	床上~中心	300	O400mm
	コンセント (和室)	床上~中心	200	
	コンセント (台上)	床上~中心	150	
	コンセント(WP)	床上~中心	1,000	
	コンセント (地下)	床上~中心	1,000	
	コンセント(土間)	床上~中心	500	
	ブラケット (一般)	床上~中心	2,100~2,300	
	ブラケット (鏡上)	鏡上端~中心	150	
	ブラケット(処理場)	床上~中心	2,500	
動力	壁掛型制御盤	床上~中心	1,500	上端 1,900mm
	手元開閉器	床上~中心	1,500	
	操作スイッチ	床上~中心	1,300	
電話	端子盤	床上~下端	300	
	保安器盤	床上~中心	2,000	
	壁位置ボックス	床上~中心	300	
	壁位置ボックス(和室)	床上~中心	200	
時計・拡声	壁掛型親時計	床上~中心	1,500	上端 1,900mm
	子時計	床上~中心	2,300	
	壁掛型スピーカ	床上~中心	2,300	2,500mm
	アッテネータ	床上~中心	1,300	
表示	表示器	床上~中心	2,300	
	壁付発信器	床上~中心	1,300	
	ベル・ブザー・チャイム	床上~中心	2,300	
インターホン	壁付インターホン	床上~中心	1,300	
	壁位置ボックス	床上~中心	300	
	壁位置ボックス(和室)	床上~中心	200	
	子機 (身障者用)	床上~中心	1, 100	
	呼出しボタン(身障者用)	床上~中心	800~950	便座先端から後方へ100〜200mm 2個目(高700mm、便座先端から前方400mm
	表示灯 (身障者用)	床上~中心	1,800	
テレビ	機器収容箱	床上~中心	2,000	
	直列ユニット	床上~中心	300	
	直列ユニット(和室)	床上~中心	200	
火災報知	受信機・副受信機	床上~中心	1,500	
	発信器	床上~中心	1,300	
	表示灯	床上~中心	1,800	
	ベル	床上~中心	2,300	

Ⅲ. 機器標準取付高さ 標準的な高さであり、詳細については監督員と協議する。 (〇印はパリアフリー対応)

参考資料:高齢者が居住する住宅の設計に係る指針(最終改正 平成21年国交省告示第906号) ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例 整備基準の解説等(平成25年4月 三重県)

- 級建築士事務所 アートテックエンジニアー級建築士	事務所		作図年月日	ェ _{事名称} 津市愛宕会館外部階段設置その他工事	図面番号		
〒514-0002 三重県津市島崎町135-6 管理建築士 一級建築士登録 TEL (059) 222-0534 FAX (059) 222-0544 三重県登録第1-1283号	第195780号 笹原 寛		縮尺	®面名称 電気設備工事特記仕様書-3	E-03 (原図A2)		

